SONY

4-243-237-**02**(1)

マイクロハイファイ
コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　MiniDisc　MDLP　NetMD

CMT-M333NT

主な特長

本機は、CD/MD/テープを搭載したデスクトップステレオです。MD1枚に最大4枚分収録可能なMD長時間ステレオ録音/再生モード（MDLP）や、MDに録音した曲をグループ単位で管理できるグループ機能に対応しています。
本機は、1枚のCDをそのまま録音するときや、プログラムした曲順で録音するときに、通常よりも高速（約4倍）で録音することができます。
本機は、USBケーブルでパソコンと接続し、パソコンのハードディスクやCD-ROMドライブで再生した曲を、本機のスピーカーで聞くことができます。また、付属の本機専用ソフトウェア（M-Crew、Net MD対応Sonic Stage）をインストールして、パソコンで本機を操作することもできます。

- 本機とパソコンの接続については、「本機とパソコンをつなぐ」（92ページ）をご覧ください。
- 付属のソフトウェアについては、インストールの前に必ず「付属のM-crewについて」（94ページ）と「付属のNet MD対応Sonic Stageについて」（94ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- ソフトウェアのインストール方法や簡単な使いかたについては、付属のCD-ROM内の『M-Crew取扱説明書』および『Net MD対応Sonic Stage取扱説明書』をご覧ください。
- ソフトウェアの詳しい使いかたについては、オンラインヘルプをご覧ください。

目次

主な特長 2

接続と準備

準備1：本機をつなぐ 6
準備2：時計を合わせる 9
準備3：ラジオ局を本機に記憶させる
（プリセット） 11

ここだけ読んでも使えます

CDを聞く 13
CDをMDやテープにそのまま録音する 15
MDを聞く 20
テープを聞く 22
テープをMDにそのまま録音する
（TAPE-MDシンクロ録音） 24
ラジオを聞く（プリセット受信） 27
ラジオを録音する（マニュアル録音） 30

CD

CDをくり返し聞く（リピート） 34
CDを順不同に聞く（シャッフル） 34
CDを好きな曲順で聞く（プログラム） 35
表示窓の使いかた 37
CDにディスク名を付ける
（ディスクメモ） 38

MD – 演奏

MDをくり返し聞く（リピート） 40
MDを順不同に聞く（シャッフル） 41
MDを好きな曲順で聞く（プログラム） 42
グループ内の曲を聞く 43
表示窓の使いかた 44

MD – 録音

録音の前にお読みください 45
曲をグループに分けて録音する
（グループ機能） 47
CDの好きな曲だけを録音する
（CD-MDシンクロ録音） 50
CDを高速で録音する
（高速CD-MDシンクロ録音） 52
マニュアルで録音する
（マニュアル録音） 54
6秒前の音から録音する
（タイムマシン録音） 55
長時間録音する 56
曲番を付ける 58
曲間をそろえて録音する
（スマートスペース） 59
録音レベルを調節する 61

MD – 編集

編集の前にお読みください 62
MDにディスク名や曲名を付ける（NAME） 63
グループ名を付ける（NAME） 66
新しいグループを作って録音した曲を登録する（CREATE） 67
グループ登録を解除する（RELEASE） 69
曲を消す（ERASE） 70
曲順を変える（MOVE） 73
1つの曲を2つに分ける（DIVIDE） 74
2つの曲を1つにする（COMBINE） 76
ひとつ前の操作を取り消す（UNDO） 77
録音後に録音レベルを変更する（S.F EDIT） 78

テープ – 録音

CDの好きな曲だけを録音する（CD-TAPEシンクロ録音） 81
MDを録音する 83
マニュアルで録音する（マニュアル録音） 85

その他の機能

好みの音にする 86
記憶させたラジオ局に名前を付ける 86
音楽を聞きながら眠る（スリープタイマー） 88
目覚ましとして使う（デイリータイマー） 88
タイマーを使って録音する（録音タイマー） 90

パソコンにつないで使う

本機とパソコンをつなぐ 92
つないだパソコンの音を聞く 92
付属のM-crewについて 94
付属のNet MD対応Sonic Stageについて 94

別売りの機器を使う

別売りの機器をつなぐ 96
市販の外部アンテナをつなぐ 98

その他

使用上のご注意 99
MDのシステム上の制約 101
ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）について 102
故障かな？と思ったら 104
自己診断表示機能（3桁または5桁の表示とメッセージが交互に出たら） 112
メッセージ一覧 114
保証書とアフターサービス 118
主な仕様 118
各部のなまえ 119
索引 125

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- システムステレオやミニディスクなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会 Tel. 03-5353-0336）

ステレオを聞くときのエチケット

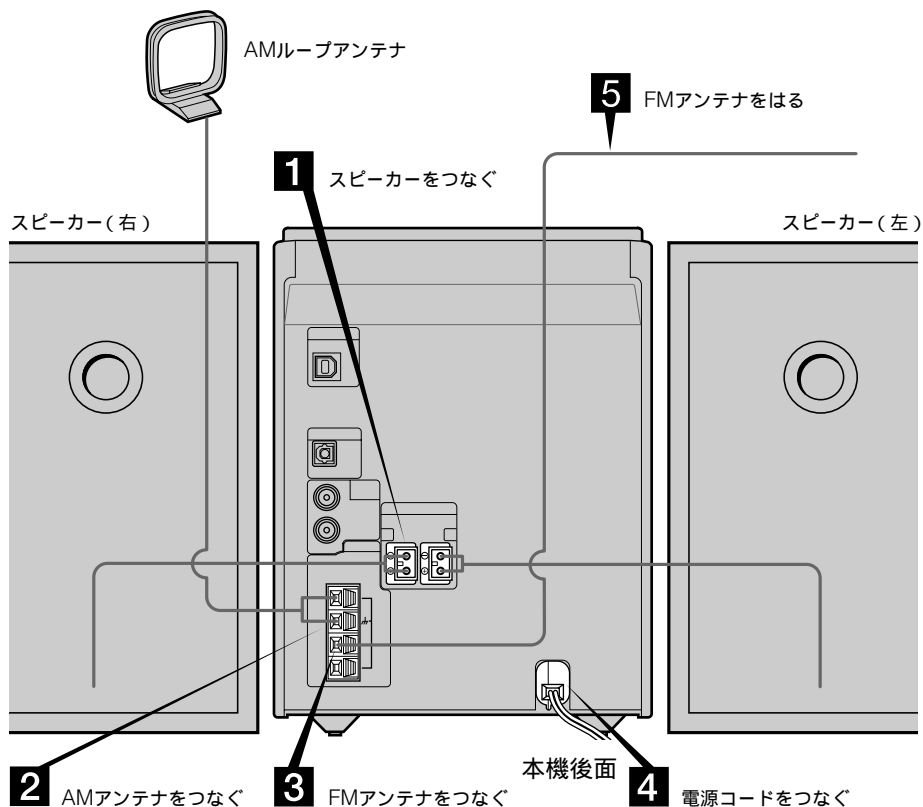
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

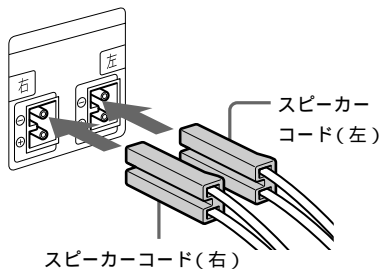
正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

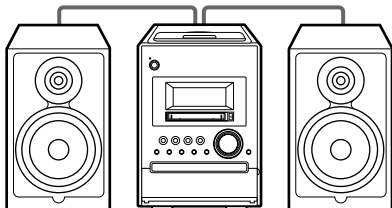
準備1：本機をつなぐ

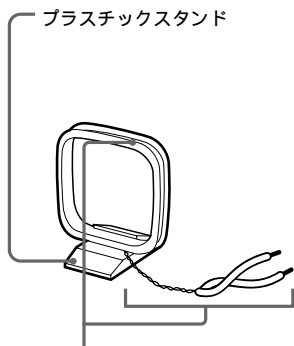
付属のアンテナやコードを1～5の順につなぎます。

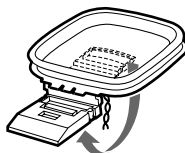
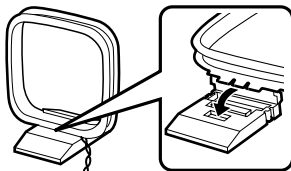
付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには、市販の外部アンテナの接続をおすすめします。

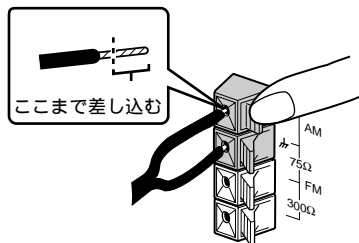
外部アンテナを含め、別売りの機器の接続については、96、98ページをご覧ください。

1 スピーカーをつなぐ

本機のスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぐ。

ご注意

- スピーカーコードはできるだけアンテナから離してください。ラジオ受信時の雑音の原因になります。
- 右端子につないだスピーカーを向かって右へ、左端子につないだスピーカーを左へ置いてください。

2 AMアンテナをつなぐ

付属のAMアンテナの構造

AMアンテナを組み立てる

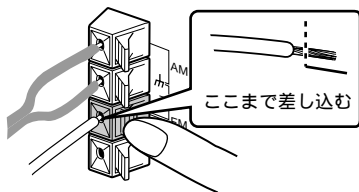
1 ループ（〰〰）になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。
2 スタンド状に組み立てる。
台を起こし、
溝にはめます

AMアンテナをつなぐ

1 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。

2 アンテナコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。
アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

次のページへ続く

3 FMアンテナをつなぐ

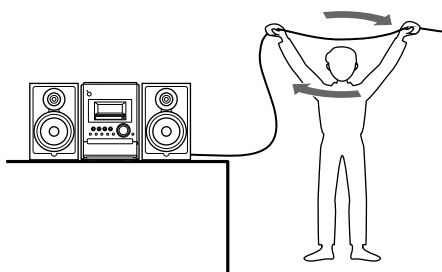
FMアンテナ端子へつなぐ。

ここまで差し込む

4 電源コードをつなぐ

すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。

5 FMアンテナをはる

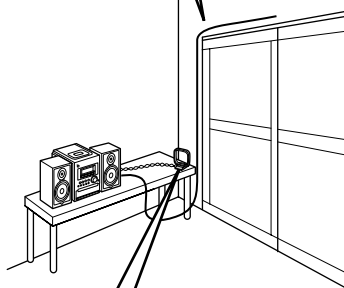
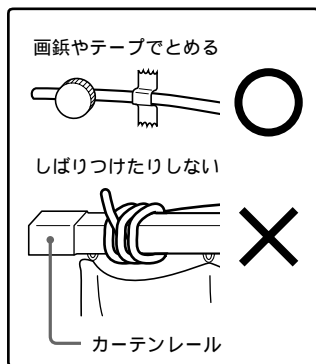
「準備3：ラジオ局を本機に記憶させる」（11ページ）の手順4でFM局を選んで受信したあと、次のようにアンテナを壁や天井に貼ってください。

1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。

壁に貼るときは、受信状態のよい面を探してください。

2 方向が決まったら、画鋲やテープで貼りつける。

画鋲やテープでとめる

しばりつけたりしない

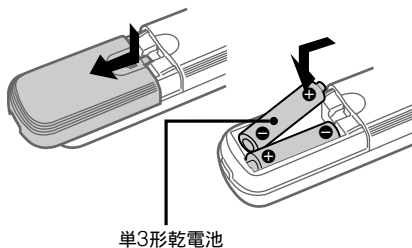
カーテンレール

AMアンテナは、できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や、向きを変えて受信しやすい状態を探します。

設置時のご注意

- 付属のアンテナは全体で受信しています。まっすぐに伸ばした状態が最も良い受信状態となりますので、余分に感じる部分も巻き取ったりせず、そのまま垂らしてお使いください。
- アンテナはできるだけスピーカーコードから離してください。ラジオ受信時の雑音の原因になります。
- 付属のアンテナは簡易アンテナです。窓の近くや窓の外に置くなどして、できるだけ受信状態のよい場所に設置してください。また、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のアンテナでは十分に受信できないことがあります。置き場所を変えても受信状態がよくならないときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（98ページ）。

リモコンに電池を入れる

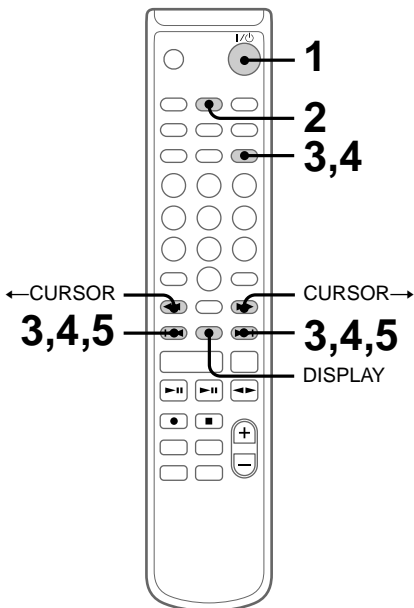
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

単3形乾電池

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

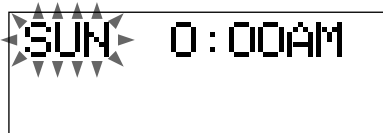
準備2：時計を合わせる

タイマー録音などのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。

1
2
3,4
←CURSOR
CURSOR→
3,4,5
3,4,5
DISPLAY

1 電源を入れる

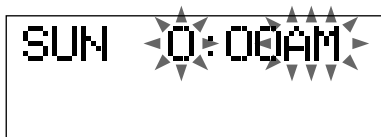
2 CLOCK/TIMER SET（クロック/タイマー セット）を押す

時計が表示され、「曜日」（ＳＵＮ）が点滅します。

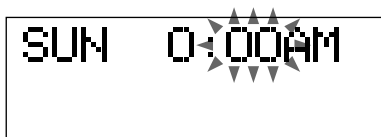
SUN 0:00AM

次のページへ続く

3 **⏮またはⅠ⏭を押して、「曜日」を合わせ、**ENTER/YES**または**CURSOR→**を押す**

「時」（0とAM）が点滅します。
（正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。）

SUN 0:00AM

4 **⏮または⏭を押して、「時」を合わせ、**ENTER/YES**または**CURSOR→**を押す**

「分」が点滅します。

SUN 0:00AM

5 **⏮または⏭を押して「分」を合わせ、**ENTER/YES**を押す**

時計が動き始めます。

設定の途中で間違えたときは

←CURSORまたはCURSOR→を押して変更したいところ（曜日、時、分）を点滅させ、合わせ直す。

設定した時刻を変更する

1 CLOCK/TIMER SETを押す。
2 ⏮または⏭をくり返し押して、「CLOCK SET」を表示させ、ENTER/YESを押す。
3 「時計を合わせる」の手順3〜5を行う。
電源が入っていないときも時刻を変更できます。その場合は「時計を合わせる」の手順2〜5を行います。

ちょっと一言
時計表示のコロン「：」は、0〜29秒のときに上の点が、30〜59秒のときに下の点が点滅します。

低消費電力待機モードに切り換える

電源を切った状態でも、本機は時計表示やタイマー動作、リモコン受信のために電力を消費しています。この消費電力を最低限におさえ、電力を節約することができます（**低消費電力待機モード**）。
低消費電力待機モードに切り換えると、表示窓の表示が消えます。時計として使用したいときは、通常のモードでお使いください。

➡ **電源を切った状態で**DISPLAY**を押して、時計表示を消す**

低消費電力待機モードに切り換わり、表示窓の表示が消えます。

表示を切り換える

電源が入っていないときは、DISPLAYを押すたびに表示窓の表示が次のように変わります。

時計表示＊ ←→ 低消費電力待機モード

＊ 時計が設定されていないときは「ーー：ーー」と表示されます。

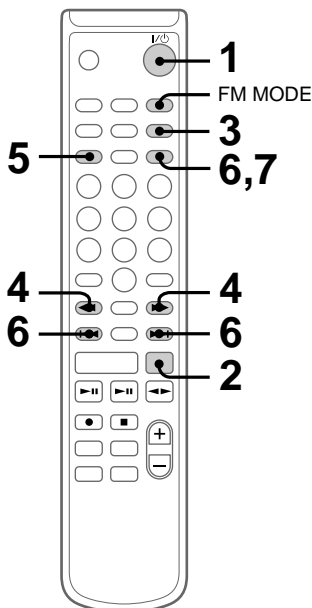
低消費電力待機モードを解除する

電源を切った状態でDISPLAYを押して、時計表示にする。

ちょっと一言
低消費電力待機モード時も、タイマーは働きます。

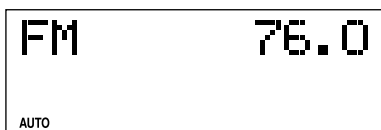
準備3：ラジオ局を本機に記憶させる

（プリセット）

FM放送を20局、AM放送を10局まで記憶（プリセット）させることができます。

1 電源を入れる

2 TUNER/BANDをくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

3 TUNING MODEをくり返し押して、「AUTO」を表示させる

FM　76.0

AUTO

4 ◀◀または▶▶を押す

周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」と「STEREO」（ステレオ放送のときのみ）が表示されます。

「TUNED」が出ずに止まらないときは

TUNING MODEをくり返し押して、「AUTO」や「PRESET」を消し、◀◀または▶▶をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

途中でやめたいときは

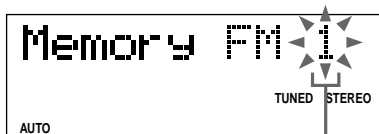
TUNING MODEを押してください。

5 MENU/NOを押す

6 I◀◀または▶▶Iをくり返し押して、「Memory?」を表示させ、ENTER/YESを押す

プリセット番号（記憶させる番号）が点滅します。ラジオ局はプリセット番号の1番から順に記憶されます。

Memory FM 1

TUNED STEREO

AUTO

プリセット番号

7 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、プリセット番号が点滅から点灯に変わり、ラジオ局が記憶されます。

8 手順2〜7をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

次のページへ続く

準備3：ラジオ局を本機に記憶させる（つづき）

電波の弱いラジオ局を受信する

手順3で「AUTO」や「PRESET」を消し、◀◀または▶▶をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

プリセットした番号に別のラジオ局を記憶させる

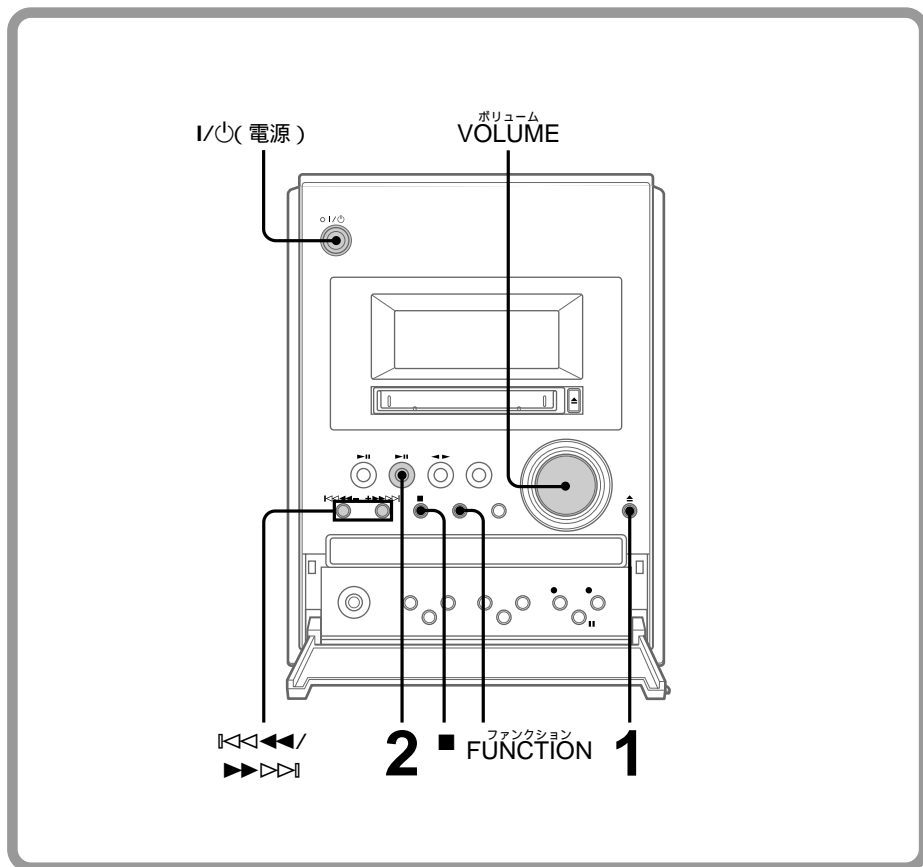
手順2からやり直します。手順6のあとで＋またはーをくり返し押して、別のラジオ局を記憶させたいプリセット番号を選び、手順7へ進んでください。

ちょっと一言

- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。
- 記憶させたラジオ局に名前を付けることができます （86ページ）。
- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、FM MODEをくり返し押して、「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。

CDを聞く

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源）
ボリューム
VOLUME
⏮◁◁◀◀/
▶▶▷▷⏭
2
■
ファンクション
FUNCTION
1

次のページへ続く

1 ≜CDを押して、CDを入れる

ディスクトレイが出てきます。

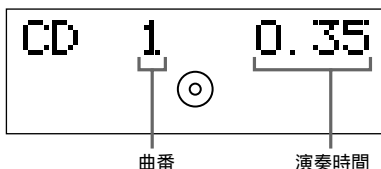
文字の書いてある面を上に、シングルCDは中央のくぼみに入れる

もう一度≜CDを押すとディスクトレイは閉まります。

2 CD►IIを押す

ディスクトレイが自動的に閉じて演奏が始まります。

CD 1 0.35

曲番　演奏時間

こんなときは	操作
演奏を止める	■を押す。
一時停止する	CD►IIを押す。 もう一度押すと演奏が再開されます。
曲を選ぶ	I◁◁または▷▷Iをくり返し押す。
曲中の聞きたい部分を探す	演奏中に◄◄または►►を押し続け、聞きたい部分で指を離す。 CDの終わりまでくると「OVER」と表示されます。
CDを取り出す	≜CDを押す。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

ちょっと一言

- CDがディスクトレイに入っているときは、CD►IIを押すだけで自動的に電源が入り、演奏が始まります（**ワンタッチプレイ**）。ただし、低消費電力待機モードのときは、CD►IIを押しても演奏は始まりません。
- 他の音源（ラジオなど）を聞いていても、CDがディスクトレイに入っているときは、CD►IIを押すとCDに切り換わり、演奏が始まります（**オートファンクション**）。
- 手順2で、曲番を選んでから聞くこともできます。
  1 I◁◁または▷▷Iをくり返し押して、聞きたい曲番を表示させる。
  2 CD►IIを押す。
  または、リモコンの数字ボタンを押します。
  押した曲番の演奏が自動的に始まります。10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

中古CD／レンタルCDをお使いのときは

シールなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるCDはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、本機の故障の原因になることがあります。

ご注意

- ディスクトレイを指で強く押して閉めると故障の原因になります。ディスクトレイは必ず≜CDを押して閉めてください。
- 他の音源を聞いているときに≜CDを押してディスクトレイを開閉すると、ディスクトレイにCDが入っていなくてもCDアイコンが点灯します。FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをCDに切り換えた後、しばらくするとCDアイコンが消えます。

CDをMDやテープにそのまま録音する

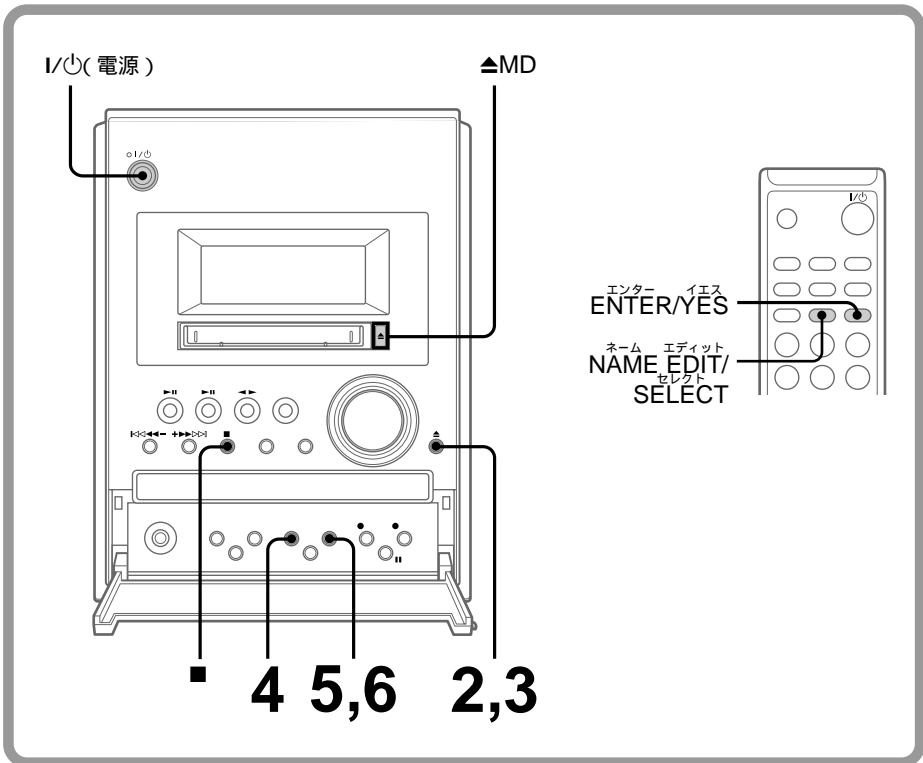
CDをそのままMD（ミニディスク）にデジタル録音したり、テープにアナログ録音したりできます。また、MDとテープに同時に録音することもできます。

MDに録音する

途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（70ページ）をご覧ください。

CDをそのまま録音する他に、CDの好きな曲だけを録音することもできます（50ページ）。

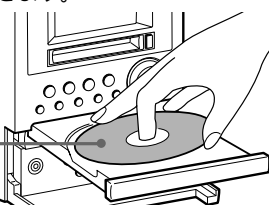
電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

次のページへ続く

1 録音用のMDを入れる

文字の書いてある面を上に、シャッターを右側にする

矢印の向きに差し込む

2 ≜CDを押して、CDを入れる

ディスクトレイが出てきます。

文字の書いてある面を上に、シングルCDは中央のくぼみに入れる

3 ≜CDを押して、ディスクトレイを閉める

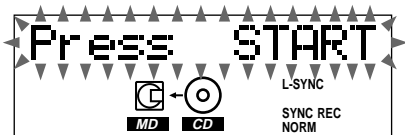
4 SYNCHRO MODE(シンクロ モード)をくり返し押して、「CD→MD SYNC(シンクロ)」を表示させる

5 ENTER/START(エンター/スタート)を押す

「NORMAL SPEED」が表示された後、「Press START」が点滅します。

MDが録音一時停止に、CDは演奏一時停止になります。

Press START

MD CD L-SYNC SYNC REC NORM

6 「Press START(プレス スタート)」が点滅しているのを確認してからENTER/START(エンター/スタート)を押す

録音が始まります。

録音が終わると、CD、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

ちょっと一言

- 高速で録音することもできます。詳しくは「CDを高速で録音する」(52ページ)をご覧ください。
- 長時間で録音することもできます。詳しくは「長時間録音する」(56ページ)をご覧ください。

ご注意

「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません(114ページ)。

録音途中でMDが終わってしまったときは

MD、CDとも自動的に停止します。

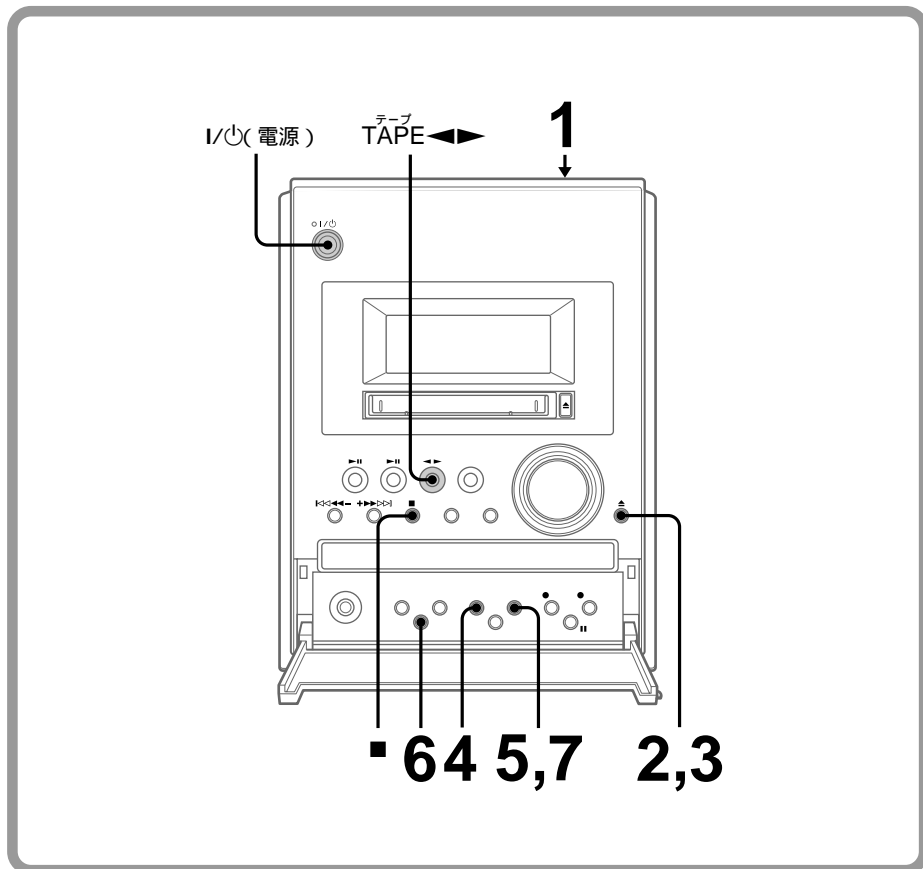
電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」または「STANDBY」が点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

テープに録音する

TYPE I（ノーマル）のテープが使えます。

CDをそのまま録音する他に、CDの好きな曲だけを録音することもできます（81ページ）。

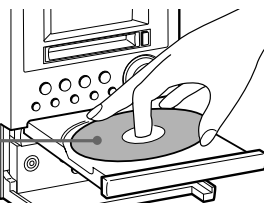
電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源）
TAPE◀▶（テープ）
1
■ 6 4 5,7 2,3

次のページへ続く

1 ≜PUSH OPEN/CLOSEを押して、録音用のテープを入れ、ふたを閉める

録音したい面を上にする

2 ≜CDを押して、CDを入れる

ディスクトレイが出てきます。

文字の書いてある面を上に、シングルCDは中央のくぼみに入れる

3 ≜CDを押して、ディスクトレイを閉める

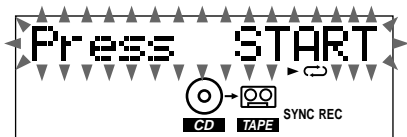
4 SYNCHRO MODEをくり返し押して、「CD→TAPE SYNC」を表示させる

5 ENTER/STARTを押す

「CD SYNCHRO」が表示された後、「Press START」が点滅します。

テープが録音一時停止に、CDは演奏一時停止になります。

Press START

CD TAPE SYNC REC

6 DIRECTIONをくり返し押して、録音する面を選ぶ

片面録音するときは⇄を、両面録音するときは⇄（または⇄）を表示させます。

ちょっと一言

- 反対面から録音したいときは、手順6でTAPE◄►を押して、◄を表示させます。
- 両面録音のときは、上の面から録音を始めてください。反対面から始めると、反対面の終わりで録音が止まります。
- 両面録音を選ぶと、曲の途中でテープの上の面が終わってしまっても、反対面にその曲の頭から録音し直します。

ご注意

「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクやテープが入っていないか、またはそのテープには録音できません（117ページ）。

録音途中でテープが終わってしまったときは

テープ、CDとも自動的に停止します。

7 「Press START」が点滅しているのを確認してからENTER/STARTを押す

録音が始まります。
録音が終わると、CD、テープとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

MDとテープに同時に録音する

CDをそのままMDとテープに同時に録音できます。

1 「MDに録音する」（15ページ）の手順1と「テープに録音する」（17ページ）の手順1〜3を行う

2 SYNCHRO MODEをくり返し押して、「DUAL SYNC」を表示させる

3 「テープに録音する」（17ページ）の手順5〜7を行う

録音を止める

■を押す。

ちょっと一言

- 録音途中でMD、テープのどちらかが終わってしまっても、もう一方は録音を続けます。
- 両面録音を選ぶと、曲の途中でテープの上の面が終わってしまっても、反対面にその曲の頭から録音し直します。またその場合、MDも同様にその曲の頭から録音し直す場合があります。

ご注意

「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクやテープが入っていないか、またはそのMDやテープには録音できません（114、117ページ）。

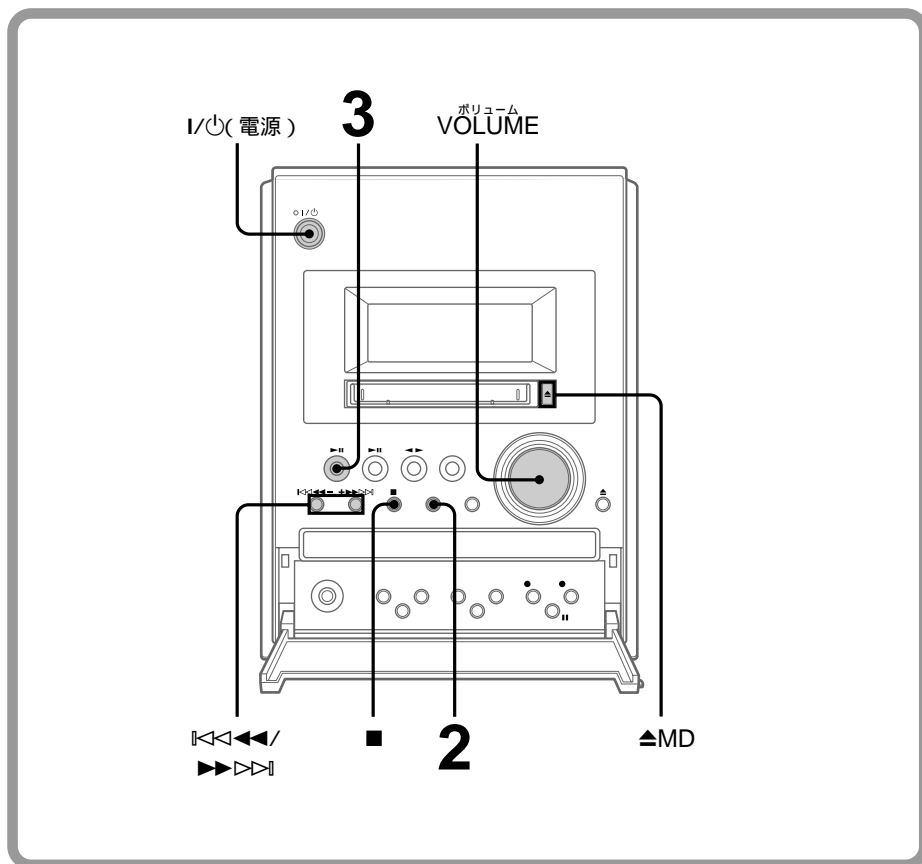
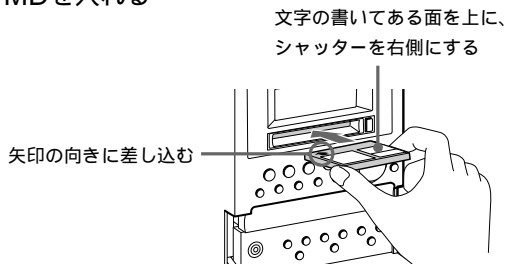
MDを聞く

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源）
3
VOLUME（ボリューム）
⏮◁◀◀/▶▶▷⏭
■
2
⏏MD

1 MDを入れる

文字の書いてある面を上に、シャッターを右側にする

矢印の向きに差し込む

2 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

3 MD►❚❚を押す

演奏が始まります。

曲番　演奏時間

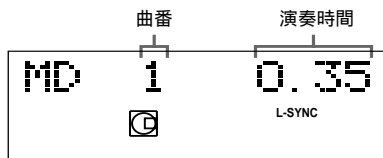
MD 1 0.35

L-SYNC

こんなときは	操作
演奏を止める	■を押す。
一時停止する	MD►❚❚を押す。 もう一度押すと演奏が再開されます。
曲を選ぶ	⏮◁または▷⏭をくり返し押す。
曲中の聞きたい部分を探す	演奏中に◀◀または▶▶を押し続け、聞きたい部分で指を離す。
MDを取り出す	⏏MDを押す。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

MDを入れる前に

電源が入っているときは、表示窓からMDアイコンが消えていることを確認してください。MDアイコンが点灯している場合は、別のMDが入っています。

⏏MDを押して、取り出してください。

ちょっと一言

- MDが中に入っているときは、MD►❚❚を押すだけで自動的に電源が入り、演奏が始まります（**ワンタッチプレイ**）。ただし、低消費電力待機モードのときは、MD►❚❚を押しても演奏は始まりません。
- 他の音源（ラジオなど）を聞いていても、MDが中に入っているときは、MD►❚❚を押すとMDに切り換わり、演奏が始まります（**オートファンクション**）。
- 手順3で、曲番を選んでから聞くこともできます。
  1 ⏮◁または▷⏭をくり返し押して、聞きたい曲番を表示させる。
  2 MD►❚❚を押す。
  または、リモコンの数字ボタンを押します。
  押した曲番の演奏が自動的に始まります。10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

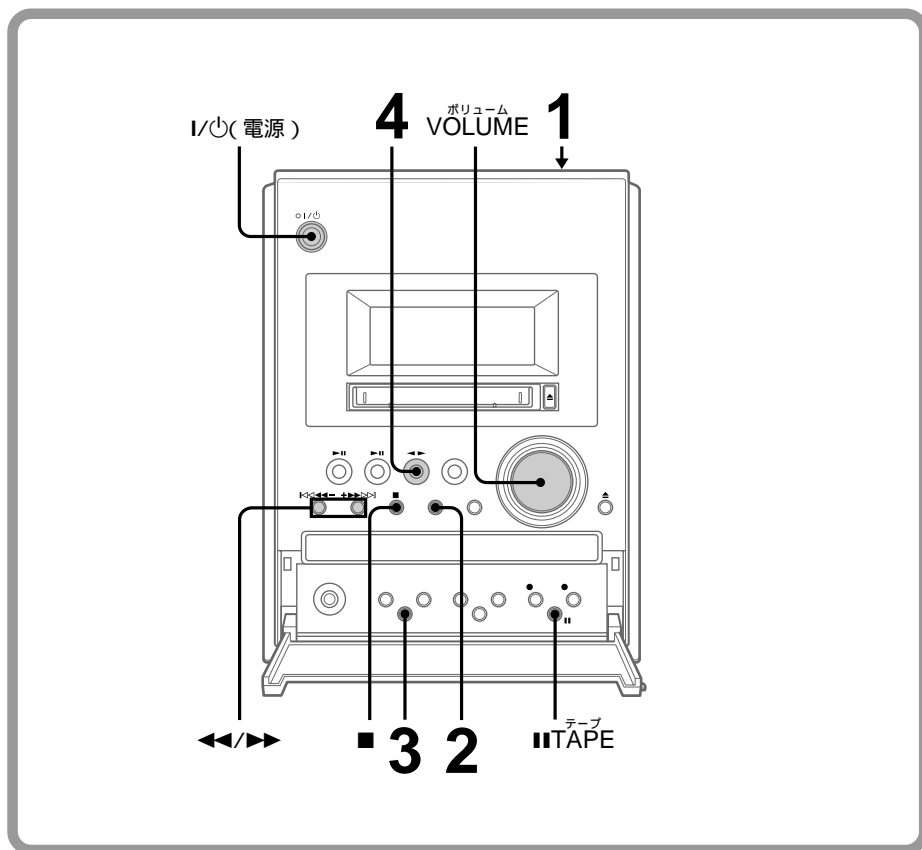
ご注意

ラベルがはみ出したり、正しい位置にラベルを貼っていないMDはお使いにならないでください。本機の故障の原因となることがあります。

テープを聞く

TYPE I（ノーマル）のテープが使えます。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源）
4
VOLUME
1
◀◀/▶▶
■ 3 2
❚❚TAPE

1 ≜PUSH OPEN/CLOSEを押して、テープを入れ、ふたを閉める

聞きたい面を上にする

2 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをTAPEに切り換える

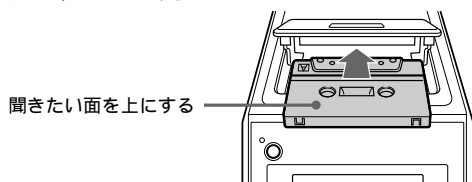
3 DIRECTIONをくり返し押して、演奏する面を選ぶ

片面だけ聞くときは⇄を、両面を聞くときは⇄を表示させます。両面をくり返し聞くときは⇄*を表示させます。

* 5回くり返して自動的に止まります。

4 TAPE◄►を押す

►が表示され、上の面から演奏が始まります。反対面を聞くには、TAPE ◄►をもう一度押します。◄が表示され、反対面の演奏が始まります。

こんなときは	操作
演奏を止める	■を押す。
一時停止する	❚❚TAPEを押す。 もう一度押すと演奏が再開されます。
早送りまたは 巻き戻しする	◄◄または►►を押す。
テープを取り出す	≜PUSH OPEN/CLOSEを押す。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

ちょっと一言

- テープがすでに入っているときは、TAPE◄►を押すだけで自動的に電源が入り、演奏が始まります（**ワンタッチプレイ**）。ただし、低消費電力待機モードのときは、TAPE◄►を押しても演奏は始まりません。
- 他の音源（ラジオなど）を聞いていても、テープがすでに入っているときは、TAPE◄►を押すとテープに切り換わり、演奏が始まります（**オートファンクション**）。

テープをMDにそのまま録音する

（TAPE-MDシンクロ録音）

テープをそのままMD（ミニディスク）にアナログ録音できます。

TYPE I（ノーマル）のテープが使えます。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源）

2

■ 5 3 4,6

≜MD

1 録音用のMDを入れる

文字の書いてある面を上に、
シャッターを右側にする

矢印の向きに差し込む

2 ≜PUSH OPEN/CLOSE（プッシュ オープン／クローズ）を押して、テープを入れ、ふたを閉める

録音したい面を上にする

3 SYNCHRO MODE（シンクロ モード）をくり返し押して、「TAPE→MD SYNC（テープ→MD シンクロ）」を表示させる

4 ENTER/START（エンター／スタート）を押す

「Press START」が点滅します。
MDが録音一時停止に、テープは演奏一時停止になります。

Press START
MD
TAPE
SYNC
SYNC REC

テープの演奏面*

* 上の面を演奏するときは►、反対面を演奏するときは◄が表示されます。表示と逆の面から演奏したいときは、■を押してテープの面を逆に入れ直し、手順3からやり直してください。

5 DIRECTION（ディレクション）をくり返し押して、演奏する面を選ぶ

片面だけ演奏するときは⇄を、両面を演奏するときは⇄（または⇄）を表示させます。

次のページへ続く

ちょっと一言

- 途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（70ページ）をご覧ください。
- スマートスペースをOnに設定すると、録音中に約3秒以上（30秒未満）の無音状態が続いたときに、無音部分を約3秒に短縮して録音します。ただし、雑音などにより短縮できない場合があります。詳しくは「曲間をそろえて録音する」（59ページ）をご覧ください。
- 長時間で録音することもできます。詳しくは「長時間録音する」（56ページ）をご覧ください。

ご注意

「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません（114ページ）。

録音途中でMDが終わってしまったときは

MD、テープとも自動的に停止します。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

6 「Press START」が点滅しているのを確認してからENTER/STARTを押す

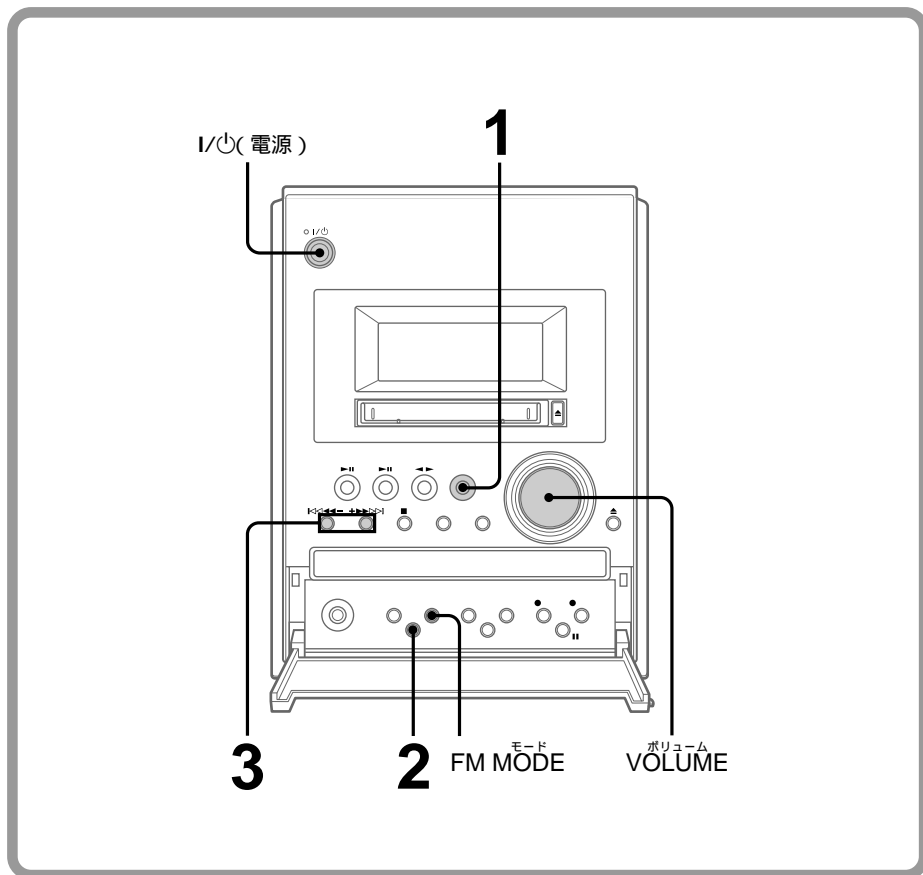
録音が始まります。
録音が終わると、テープ、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

ラジオを聞く（プリセット受信）

ここでは、あらかじめ本機に記憶させた（プリセット、11ページ）ラジオ局を聞くプリセット受信の方法をおもに説明しています。聞きたいラジオ局に周波数を合わせながら聞く方法（記憶させていないラジオ局を聞く）については説明の最後に紹介しています。

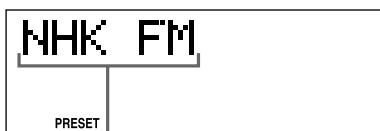
電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源）
1
2
3
FM MODE（モード）
VOLUME（ボリューム）

次のページへ続く

1 TUNER（チューナー）/BAND（バンド）をくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

2 TUNING（チューニング） MODE（モード）をくり返し押して、「PRESET（プリセット）」を表示させる

FM 76.0
PRESET

3 TUNING（チューニング）+または–をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

NHK FM
PRESET

周波数、またはラジオ局名＊

＊ 記憶させたラジオ局に名前を付けた（86ページ）ときのみ表示されます。

リモコンの数字ボタンでもプリセット番号が選べます。

こんなときは	操作
ラジオを消す	I/⏻を押して、電源を切る。
音量を調節する	VOLUMEを回す。

リモコンの数字ボタンを使ってプリセット番号を選ぶ

手順3でリモコンの数字ボタンを押す。

10以降を選ぶには、>10を押してからプリセット番号を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

ちょっと一言

- TUNER/BANDを押すだけで自動的に電源が入り、前に聞いていたラジオ放送が聞けます（**ワンタッチプレイ**）。ただし、低消費電力待機モードのときは、TUNER/BANDを押しても演奏は始まりません。
- 他の音源（CDなど）を聞いていても、TUNER/BANDを押すとラジオに切り換わり、前に聞いていたラジオ放送が聞けます（**オートファンクション**）。
- 受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、貼る位置を変えてみてください。それでも受信状態がよくならないときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（98ページ）。
- FMステレオ放送受信中に雑音が多いときは、FM MODEをくり返し押して、「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。

記憶させていないラジオ局を聞く

- 手順2で「AUTO」や「PRESET」を消し、◀◀または▶▶をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる（**マニュアル受信**）。
- 手順2で「AUTO」を表示させ、◀◀または▶▶を押す。
  周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります（**オート受信**）。

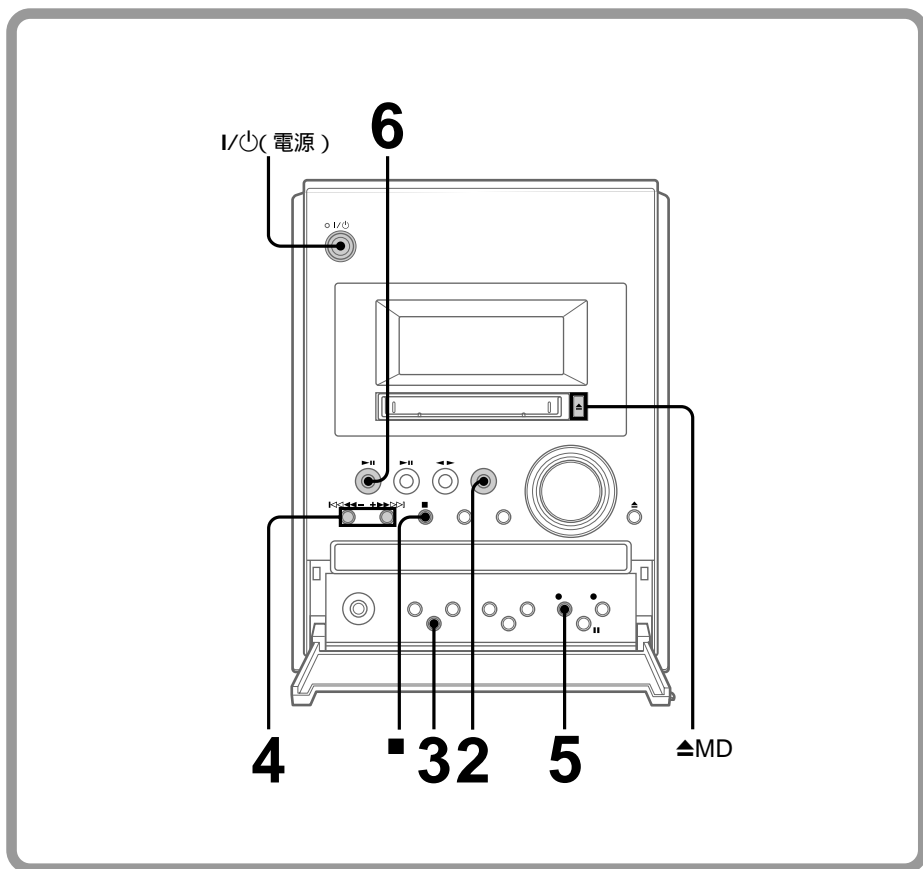
オート受信を途中でやめたいときは
TUNING MODEを押します。

ラジオを録音する（マニュアル録音）

MDやテープにアナログ録音します。

MDに録音する

途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは「曲を消す」（70ページ）をご覧ください。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源）
6
4
■
3
2
5
⏏MD

1　録音用のMDを入れる

文字の書いてある面を上に、
シャッターを右側にする

矢印の向きに差し込む

2　TUNER（チューナー）/BAND（バンド）をくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

3　TUNING（チューニング） MODE（モード）をくり返し押して、「PRESET（プリセット）」を表示させる

4　TUNING（チューニング）+または–をくり返し押して、録音したいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

NHK FM

PRESET

周波数、またはラジオ局名*

* 記憶させたラジオ局に名前を付けた（86ページ）ときのみ表示されます。

リモコンの数字ボタンでもプリセット番号が選べます（28ページ）。

5　●MDを押す

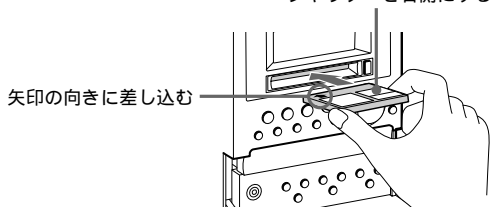
「REC」が表示され、MDが録音一時停止になります。

6　MD►IIを押す

録音が始まります。

録音を止める

■を押す。

次のページへ続く

ちょっと一言

- AM放送を録音中に雑音が出るときは、付属のAMループアンテナを雑音の消える位置に動かすか、ビニール電線（98ページ）をつないでください。
- 長時間で録音することもできます。詳しくは「長時間録音する」（56ページ）をご覧ください。
- 記憶させていないラジオ局を録音するには、手順3で「AUTO」や「PRESET」を消し、◄◄または►►をくり返し押して、録音したいラジオ局の周波数に合わせます。

ご注意

MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（46ページ）。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

テープに録音する

TYPE I（ノーマル）のテープが使えます。

電源が入っていないときは、I/⏻（電源）を押して電源を入れてください。

I/⏻（電源） TAPE◄► 2 1

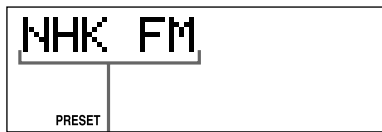
4 ■ 3,6 7 5

1 ≜PUSH OPEN/CLOSEを押して、録音用のテープを入れ、ふたを閉める

録音したい面を上にする

2 TUNER/BANDをくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ

3 TUNING MODEをくり返し押して、「PRESET」を表示させる

4 TUNING+または–をくり返し押して、録音したいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

NHK FM

PRESET

周波数、またはラジオ局名*

* 記憶させたラジオ局に名前を付けた（86ページ）ときのみ表示されます。

リモコンの数字ボタンでもプリセット番号が選べます（28ページ）。

5 ●TAPEを押す

「REC」が表示され、テープが録音一時停止になります。

6 DIRECTIONをくり返し押して、録音する面を選ぶ

片面録音するときは⇄を、両面録音するときは⇄（または⇄）を表示させます。

7 ❚❚TAPEを押す

録音が始まります。

録音を止める

■を押す。

ちょっと一言

- AM放送を録音中に雑音が出るときは、付属のAMループアンテナを雑音の消える位置に動かすか、ビニール電線（98ページ）をつないでください。
- 反対面から録音したいときは、手順6でTAPE◄►を押して、◄を表示させます。
- 両面録音のときは、上の面から録音を始めてください。反対面から始めると、反対面の終わりで録音が止まります。
- 記憶させていないラジオ局を録音するには、手順3で「AUTO」や「PRESET」を消し、◄◄または►►をくり返し押して、録音したいラジオ局の周波数に合わせます。

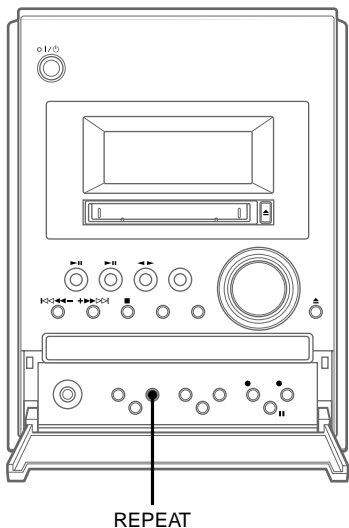
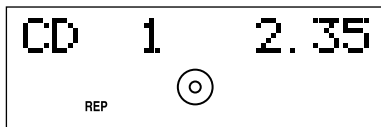
CDをくり返し聞く

（リピート）

1曲または全曲をくり返し演奏します。
シャッフル演奏やプログラム演奏をくり返すこともできます。

REPEAT

➡ **演奏中に**REPEAT（リピート）**をくり返し押して、「**REP（リピート）**」または「**REP1（リピート）**」を表示させる**

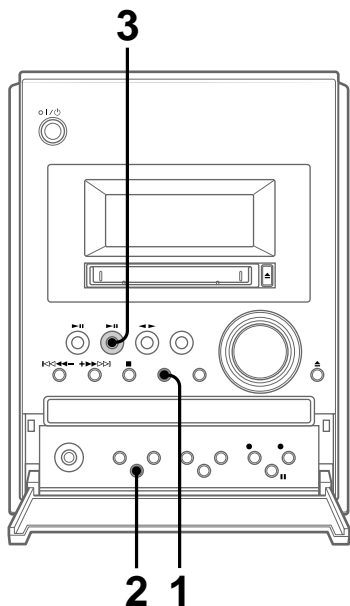
CD 1 2.35
REP

REP：演奏中のCDの全曲を5回くり返します。
REP1：演奏中の1曲だけをくり返します。

リピート演奏をやめる

REPEATをくり返し押して、「REP」または「REP1」を消す。

CDを順不同に聞く

（シャッフル）

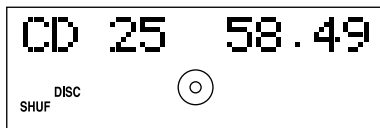
本機が曲順を自動的に選んで、ひと通り演奏します。

3

2 1

1 FUNCTION（ファンクション）**をくり返し押して、ファンクションを**CD**に切り換える**

2 CD**停止中に**PLAY MODE（プレイ モード）**をくり返し押して、「**SHUF（シャッフル）**」を表示させる**

CD 25 58.49
DISC
SHUF

3 CD►II **を押す**

シャッフル演奏が始まります。

ふつうの演奏に戻す
■を押してから、PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。

ちょっと一言
聞きたくない曲をとばすときは、 ▷▷Iを押します。

CDを好きな曲順で聞く（プログラム）

最大25曲まで選んでプログラムできます。プログラムした曲はMDやテープにシンクロ録音できます（50、81ページ）。

C
D

4
CLEAR
3
3
1
6
2

1 FUNCTION（ファンクション）**をくり返し押して、ファンクションを**CD**に切り換える**

2 CD**停止中に**PLAY MODE（プレイモード）**をくり返し押して、「**PGM（プログラム）**」を表示させる**

次のページへ続く

3 ⏮またはを⏭をくり返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ

CD 7 44.09
PGM
選んだ曲番　合計演奏時間

4 ENTER/YES（エンター イエス）を押す

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか（Step数）が表示され、次に最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計演奏時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと最後にプログラムした曲が消えます。

CD 7 44.09
DISC PGM
最後の曲番　合計演奏時間

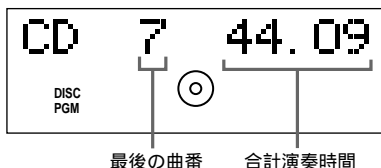
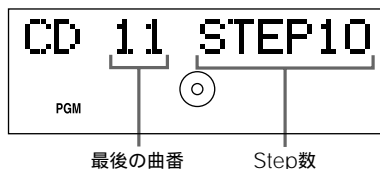
5 プログラムを続けるときは、手順3と4をくり返す

6 CD►IIを押す

プログラムした順に演奏が始まります。

プログラムした曲の総数を調べる

停止中にDISPLAYを押す。
プログラムした曲の合計数（Step数）が表示されます。

CD 11 STEP10
PGM
最後の曲番　Step数

プログラムした曲順を確認する

CD►IIを押して演奏を始め、演奏中に⏮または⏭を押す。

その他の操作

こんなときは	操作
ふつうの演奏に戻す	■を押してから、PLAY MODEをくり返し押して、「PGM」や「SHUF」を消す。
最後に追加する（停止中のみ）	手順3と4を行う。
プログラムを消す	プログラム演奏停止中にCLEARを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

手順3〜5のかわりに数字ボタンを押す。
10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、プログラムは残っています。CD►IIを押すと、同じプログラムを聞けます。ただし、CDを取り出すとプログラムは消えます。
- 26曲（Step）以上プログラムしようとしたときは「Step Full!」が表示されます。
- CDの合計演奏時間が100分を超えたときと、21曲以上入っているCDの21曲目以降を選んだときは、「−−.−−」と表示されます。

表示窓の使いかた

CDの総曲数や、総演奏時間、1曲またはCD全体の残り時間を調べたり、CDのディスク名や曲名を調べたりできます。また、CDテキスト（CDに記録されているCDのタイトル名や、曲名などの情報）が記録されているCDでは、曲名を表示させながら演奏が楽しめます。

DISPLAY

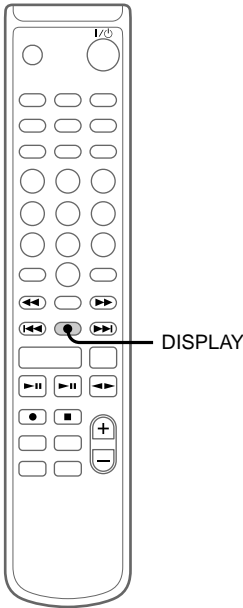
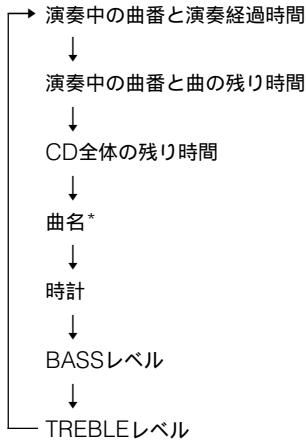
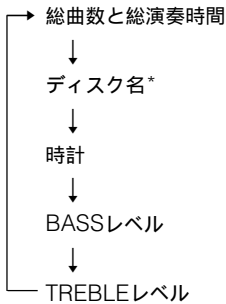
➡ **演奏中または停止中にDISPLAY（ディスプレイ）を押す**

押すたびに次のように変わります。

演奏中

演奏中の曲番と演奏経過時間
↓
演奏中の曲番と曲の残り時間
↓
CD全体の残り時間
↓
曲名*
↓
時計
↓
BASSレベル
↓
TREBLEレベル

停止中

総曲数と総演奏時間
↓
ディスク名*
↓
時計
↓
BASSレベル
↓
TREBLEレベル

* CDテキストやディスクメモが付いていないCDの場合は表示されません。また、21曲以上入っているCDの場合、21曲目以降のCDテキストは表示されません。

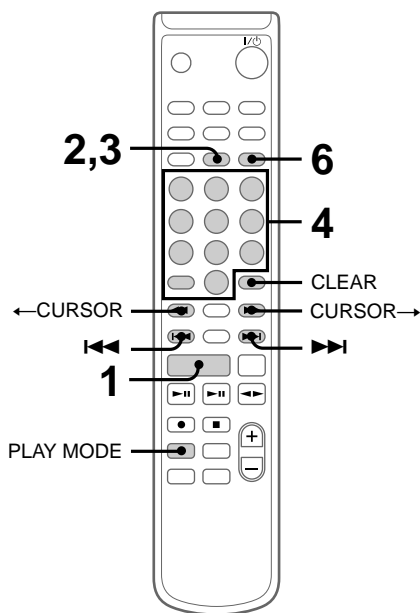
CD

CDにディスク名を付ける（ディスクメモ）

CD1枚1枚に、好きな文字や記号を最大20文字、50枚まで付けられます。付けた名前は本機に記憶され、CDを入れると表示されます。

ご注意

- 表示窓に「TEXT」が表示されるCDにはディスク名を付けられません。
- **初めてディスク名を付けるときは、ファンクションをCDに切り換えてから「本機に記憶させたすべてのディスク名を消す」**（40ページ）**の操作をあらかじめ行ってください。**

2,3
6
4
CLEAR
←CURSOR
CURSOR→
⏮
⏭
1
PLAY MODE

1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをCDに切り換える**

停止中に総曲数と総演奏時間が表示されることを確認してから、次の手順へ進んでください。「SHUF」や「PGM」が表示されているときは、PLAY MODEをくり返し押して、表示を消してください。

CD 17 72.31
総曲数
総演奏時間

2 **NAME EDIT/SELECTを押す**

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

DISC
カーソル

3 **NAME EDIT/SELECTを押して、文字の種類を選ぶ**

押すたびに次のように変わります。

「Selected AB」（アルファベット大文字）＊
→「Selected ab」（アルファベット小文字）＊
→「Selected ア」（カタカナ）＊＊
→「Selected 12」（数字）
→「Selected AB」（アルファベット大文字）＊

＊ 数字ボタンの1をくり返し押すと、以下の記号を表示できます。
´ –/,. ():!?
また、記号が表示されているときに⏮または⏭をくり返し押すと、さらに以下の記号を表示できます。
&+<>_=“;#$%@＊`

＊＊通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツを表示できます。また、>10ボタンをくり返し押すと、濁点や半濁点など（゛゜–, .）を表示できます。ただし、濁点（゛）は「ウ」、「カ／サ／タ／ハ行」、半濁点（゜）は「ハ行」の文字のあとにのみ入力できます。

4 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

アルファベット／カタカナを選んだとき

1 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
⏮または⏭をくり返し押しても、文字を切り換えることができます。

2 CURSOR→を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

数字を選んだとき

押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

スペース（空き）を入力するには

1 NAME EDIT/SELECTを押して、アルファベット（大文字または小文字）を選ぶ。

2 10/0を押す。
スペース（空き）が入力され、カーソルが次の位置で点滅します。

5 手順3と4をくり返して、ディスク名を付ける

文字を変更するには

←CURSORまたはCURSOR→をくり返し押して、変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順3と4をくり返す。

6 ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

ディスク名が本機に記憶され、しばらくすると手順1の表示に戻ります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

本機に記憶させたディスク名を確認する

1 停止中にMENU/NOを押す。

2 ⏮または⏭をくり返し押して、「Name Check?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

3 ⏮または⏭をくり返し押して、登録してあるディスク01～50を選ぶ。

ディスクトレイに入っているCDのディスク名を確認する

停止中にSCROLLを押す。

ディスク名を消す

1 停止中にMENU/NOを押す。

2 ⏮または⏭をくり返し押して、「Name Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

3 ⏮または⏭をくり返し押して、消したいディスク名を選ぶ。
ディスク名が表示されます。
ディスク名を付けていないときは、「No Name」が表示されます。

4 消してよいときは、もう一度ENTER/YESを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて、ディスク名が消えます。

ディスク名を消すのをやめる

手順1～3の途中でMENU/NOを押す。

次のページへ続く

本機に記憶させたすべてのディスク名を消す

1 停止中にMENU/NOを押す。

2 ⏮または⏭をくり返し押して、「All Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す。
「All Erase??」が表示されます。

3 消してよいときは、もう一度ENTER/YESを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて、すべてのディスク名が消えます。

ディスク名を消すのをやめる

手順1と2の途中でMENU/NOを押す。

ちょっと一言
停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたディスク名は約1日保持されます。

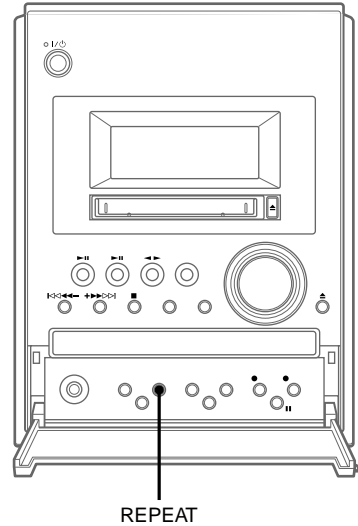
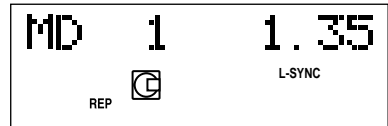
MDをくり返し聞く

（リピート）

1曲または全曲をくり返し演奏します。
シャッフル演奏やプログラム演奏をくり返すこともできます。

REPEAT

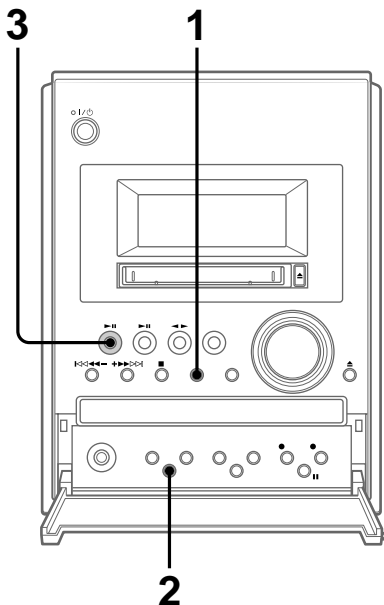
➡ **演奏中にREPEAT（リピート）をくり返し押して、「REP（リピート）」または「REP1（リピート）」を表示させる**

MD 1 1.35
REP
L-SYNC

REP：演奏中のMDの全曲を5回くり返します。
REP1：演奏中の1曲だけをくり返します。

リピート演奏をやめる

REPEATをくり返し押して、「REP」または「REP1」を消す。

MDを順不同に聞く
（シャッフル）

本機が曲順を自動的に選んで、ひと通り演奏します。

3　1

2

1　**FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2　**MD停止中にPLAY（プレイ） MODE（モード）をくり返し押して、「SHUF（シャッフル）」を表示させる**

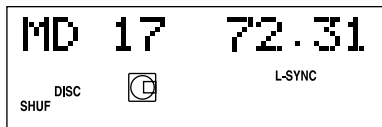
MD 17 72.31
SHUF DISC L-SYNC

3　**MD►IIを押す**

シャッフル演奏が始まります。

ふつうの演奏に戻す

■を押してから、PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。

ちょっと一言

聞きたくない曲をとばすときは、▷▷Iを押します。

MDを好きな曲順で聞く（プログラム）

最大25曲まで選んでプログラムできます。プログラムした曲はテープにシンクロ録音できます（84ページ）。

4
CLEAR
3
3
1
6
2

1 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MD停止中にPLAY MODE（プレイ モード）をくり返し押して、「PGM（プログラム）」を表示させる

3 ⏮またはスキップ⏭をくり返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ

選んだ曲番　合計演奏時間

MD 7 44.09
PGM

4 ENTER/YES（エンター　イエス）を押す

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか（Step数）が表示され、次に最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計演奏時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと最後にプログラムした曲が消えます。

最後の曲番　合計演奏時間

MD 7 44.09
DISC
PGM

5 プログラムを続けるときは、手順3と4をくり返す

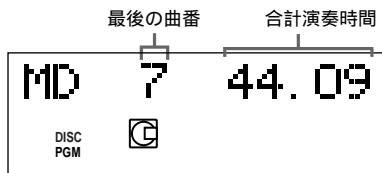
6 MD►IIを押す

プログラムした順に演奏が始まります。

プログラムした曲の総数を調べる

停止中にDISPLAYを押す。
プログラムした曲の合計数（Step数）が表示されます。

最後の曲番　Step数

MD 5 STEP10
DISC
PGM

プログラムした曲順を確認する

MD►IIを押して演奏を始め、演奏中に⏮または⏭を押す。

その他の操作

こんなときは	操作
ふつうの演奏に戻す	■を押してから、PLAY MODEをくり返し押して、「PGM」や「SHUF」を消す。
最後に追加する（停止中のみ）	手順3と4を行う。
プログラムを消す	プログラム演奏停止中にCLEARを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

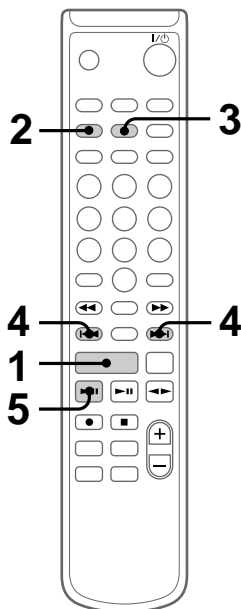
数字ボタンを使って曲番を選ぶ

手順3〜5のかわりに数字ボタンを押す。
10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、プログラムは残っています。MD►❚❚を押すと、同じプログラムを聞けます。ただし、MDを取り出す、またはGROUPを押すとプログラムは消えます。
- 26曲（Step）以上プログラムしようとしたときは「Step Full!」が表示されます。
- MDの合計演奏時間が1,000分を超えたときは、「−−−.−−」と表示されます。

グループ内の曲を聞く

グループに登録したお気に入りの曲だけを聞くことができます。
グループ機能について詳しくは、47ページをご覧ください。

1 **FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MD停止中にGROUP（グループ）をくり返し押して、「GROUP（グループ）」を点灯させる**

次のページへ続く

3 GROUP SKIP（グループ スキップ）をくり返し押して、聞きたい曲があるグループを選ぶ

4 グループ内の途中の曲から聞きたいときは、⏮または⏭をくり返し押して、曲を選ぶ

グループ内の1曲目から演奏を始めるときは、手順5に進んでください。

5 MD▶❚❚を押す

演奏が始まります。
グループ内の最後の曲の演奏が終わると、自動的に停止します。

ちょっと一言

40〜43ページの操作についても、グループ内の曲に限って同様にできます。

ご注意

曲を登録していないグループを選んでMD▶❚❚を押すと、MD内の最初のグループの1曲目から演奏が始まります。

表示窓の使いかた

MDの総曲数や、総演奏時間、1曲またはMD全体の残り時間を調べたり、MDのディスク名、曲名、グループ名を調べたりできます。

DISPLAY

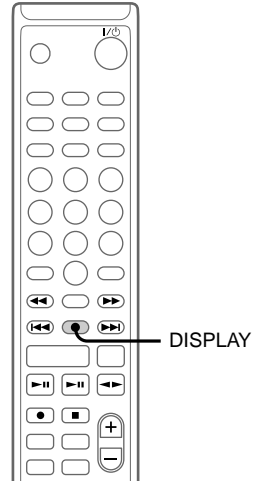
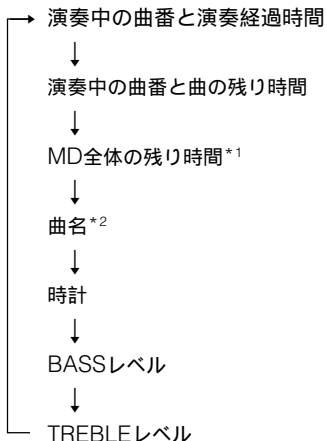
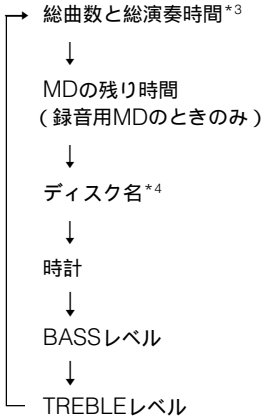
➡ **演奏中または停止中にDISPLAY（ディスプレイ）を押す**

押すたびに次のように変わります。

演奏中

演奏中の曲番と演奏経過時間
↓
演奏中の曲番と曲の残り時間
↓
MD全体の残り時間*1
↓
曲名*2
↓
時計
↓
BASSレベル
↓
TREBLEレベル

停止中

→ 総曲数と総演奏時間*3
↓
MDの残り時間
（録音用MDのときのみ）
↓
ディスク名*4
↓
時計
↓
BASSレベル
↓
TREBLEレベル

*1 グループ機能が働いているときは、グループ内の全曲の残り時間が表示されます。
*2 曲名が付いていないときは、表示されません。
*3 グループ機能が働いているときは、総グループ数（グループ未選択時）またはグループ内の総曲数および総演奏時間（グループ選択時）が表示されます。MDの合計演奏時間が1,000分を超えたときは、「ーーー.ーー」と表示されます。
*4 ディスク名が付いていないときは、表示されません。グループ機能が働いているときは、グループ名が表示されます。

ちょっと一言

- 演奏中にいつでも曲名を見ることができます。リモコンのSCROLLを押すと、曲名全体が表示窓にスクロールして表示されます。
  スクロール中にSCROLLを押すと、スクロールを止めることができます。もう一度SCROLLを押すと、再びスクロールします。
- ディスク名、曲名を付けるには、「MDにディスク名や曲名を付ける」（63ページ）、グループ名を付けるには、「グループ名を付ける」（66ページ）をご覧ください。

録音の前にお読みください

MD（ミニディスク）は、音質劣化の少ない「デジタル方式」で録音、再生を行います。また、CDにあるような曲番を付けることで、すばやい曲の頭出しや、録音した曲の編集を実現しています。
本機では音源によって、次のように録音を行い、曲番を付けます。

本機のCDプレーヤーから録音するとき

- デジタル録音をします*1。
- 曲番は自動的にCDと同じように付きます。ただし、曲によっては付かないことがあります（101ページ）。

デジタルオプチカル入力端子につないだ別売りのデジタル機器（CS/BSチューナーなど）から録音するとき

- デジタル録音をします*1。
- 曲番の付きかたは録音する音源によって異なります。

本機のラジオや、アナログ入力端子につないだ別売りの機器（ビデオなど）から録音するとき

- アナログ録音をします*2。
- 曲番は録音開始点にしか付きませんが、「T.Mark LSync」（58ページ）にすると、録音レベルを検出して自動的に付きます。

*1 デジタル録音には制約があります（101、102ページ）。
*2 デジタル機器をつないでいても、アナログ録音されます。

パソコンから録音するとき

- Net MD機能を使ったチェックアウト以外は、パソコンから録音できません。

次のページへ続く

MDの曲番について（TOC）

MDでは、曲番（曲順）や曲の開始／終了点などの情報を「TOC*3」と呼ばれる領域で、音楽とは別に管理しています。「TOC」の情報を書き換えるだけで曲の編集がすばやくできます。

*3 Table of Contents（テーブル オブ コンテンツ）の略（目次の意味）。

録音をした後は

➡ **⏏MDを押してMDを取り出す、またはI/⏻（電源）を押して電源を切る**

「TOC」または「STANDBY」が点滅し始め、録音の情報がMDへ書き込まれ、録音が完了します。

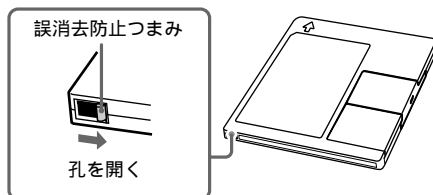
電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

MDの録音内容を消したくないときは

- 誤消去防止つまみをずらして孔を開きます。再び録音するときは、つまみを元の位置に戻します。

誤消去防止つまみ

孔を開く

- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。誤消去防止つまみを元の位置に戻して、孔をふさいでください。

シンクロ録音について

シンクロ録音と長時間録音を組み合わせて使うこともできます。
組み合わせて録音したときは、以下のようになります。

録音モード	CD-MD SYNC	
	NORMAL	HIGH
ステレオ	• 録音を中断した曲は：そのまま記録されます。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音源の音声が出ます。	• 4倍速で録音します。 • 録音を中断した曲は：記録されません。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音は出ません。
LP2／LP4	• 録音を中断した曲は：そのまま記録されます。 • S.F EDIT機能：使えません。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音源の音声が出ます。	• 4倍速で録音します。 • 録音を中断した曲は：記録されません。 • S.F EDIT機能：使えません。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音は出ません。
MONO	• 録音を中断した曲は：そのまま記録されます。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音源の音声が出ます。	• 4倍速で録音します。 • 録音を中断した曲は：記録されません。 • S.F EDIT機能：使えます。 • 録音中のスピーカー、PHONES出力：音は出ません。

曲をグループに分けて録音する（グループ機能）

グループ機能とは？

1枚のMDの中の曲をグループに分けて再生、録音、編集できる機能です。何枚かのCDアルバムをMDLP録音して、1枚のMDで管理するときなどに便利です。
GROUPでグループ機能のOn／Offを切り換えます。

グループ機能Off時

ディスク

曲番

1	2	3	4	5	6	7	8	9

グループ機能On時

ディスク

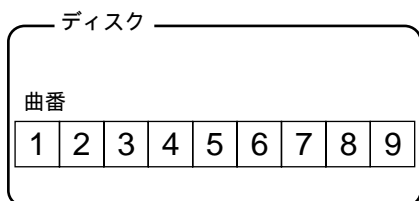
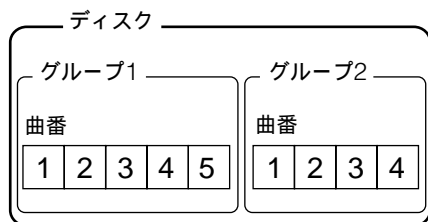
グループ1

曲番

1	2	3	4	5

グループ2

曲番

1	2	3	4

グループ機能を使った操作

- グループ内の曲を聞く（43ページ）。
- グループ名を付ける（66ページ）。
- 新しいグループを作って録音した曲を登録する（67ページ）。
- グループ登録を解除する（69ページ）。

ご注意

本機のグループ機能を使って録音したMDは、他のグループ機能対応機器でもお使いいただけます。ただし、機器によってはグループ機能の動作が本機とは異なる場合があります。

グループ情報はどのように記録されているの？

グループ機能を使って録音すると、グループ管理情報は、「ディスク名」として自動的にMDに記録されます。具体的には以下のような文字列がディスク名の記録領域に書き込まれています。

ディスク名の記録領域

0 ; Favorites // 1 – 5 ; Rock // 6 – 9 ; Pops // ...

① ② ③

① ディスク名を「Favorites」にする。
② 1曲目から5曲目を「Rock」という名のグループに入れる。
③ 6曲目から9曲目を「Pops」という名のグループに入れる。

そのため、グループ機能を使って録音したMDを、グループ機能未対応機器や、グループ機能を働かせていないときの本機で読み込むと、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。
もしNAME機能を使ってこの文字列を誤って書き換えてしまうと、そのMDではグループ機能が使えなくなる*場合がありますのでご注意ください。

* 「GROUP」が点滅します。再びグループ機能を使うには、「すべてのグループを一度に解除する」（70ページ）を行って、すべてのグループ登録を解除してください。

ご注意

- グループ機能の設定は、MDを取り出したり、本機の電源を切ったりしても記憶されています。
- グループ機能が働いているときは、グループに登録されていない曲は表示、演奏できません。
- グループの順番を変えることはできません。
- グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないMDを挿入すると、「GROUP」が点滅します。この場合、グループ機能を使うことはできません。

次のページへ続く

新しいグループを作って録音する

CDアルバム別やアーティスト別など、好みにあわせてグループを作ることができます。

1 録音用のMDを入れる

2 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、「CD」など録音したい音源を表示させる

- CD：本機のCDの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- TUNER：本機のラジオの音を録音する

別売りの機器から録音するときは、「つないだ機器の音を録音する」（97ページ）をご覧ください。

3 GROUP（グループ）をくり返し押して、「GROUP（グループ）」を点灯させる

4 MD●を押す

「New Group」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

5 MD►IIを押してから録音したい音源の演奏を始める

続けて別の新しいグループを作って録音するときは、録音後にファンクションをMDに切り換えてから■をくり返し押して、総グループ数を表示させたあと、手順2～5を行ってください。
本機のCDから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にMD●を押すと、押したところに曲番が付きます（**トラックマーク機能**）。
TUNERからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」（58ページ）をご覧ください。

手順4でMD●を押したときに「Group Full!」と表示されるときは

グループ管理に必要な文字数が不足しているため、録音ができません。
不要な文字（ディスク名または曲名）を消す（65ページ）ことによって、グループに録音できるようになります。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

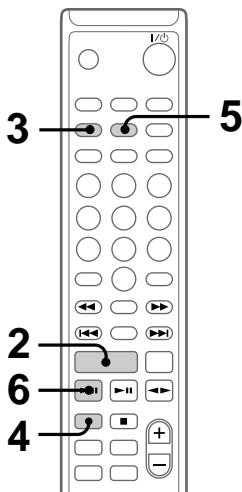
ちょっと一言

- 録音される音の大きさをお好みで調節できます（61ページ）。
- 録音中にDISPLAYを押すと、MDの残り時間を見ることができます。

ご注意

- すでに曲が記録されている別のグループがある場合、新しいグループはその後ろに追加されます。
- 1枚のMDの中には99グループまで登録できます。
- 録音中に「Group Full!」と表示されたときは、曲番は付きません。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（46ページ）。

既存のグループの中に録音する

既存のグループに、曲を追加することができます。

1 録音用のMDを入れる

2 FUNCTIONをくり返し押して、「CD」など録音したい音源を表示させる

- CD：本機のCDの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- TUNER：本機のラジオの音を録音する

別売りの機器から録音するときは、「つないだ機器の音を録音する」（97ページ）をご覧ください。

3 GROUPをくり返し押して、「GROUP」を点灯させる

4 MD●を押す

「New Group」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

5 GROUP SKIPをくり返し押して、曲を録音したいグループを選ぶ

6 MD►❚❚を押してから録音したい音源の演奏を始める

本機のCDから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にMD●を押すと、押したところに曲番が付きます（**トラックマーク機能**）。

TUNERからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」（58ページ）をご覧ください。

手順4でMD●を押したときに「Group Full!」と表示されるときは

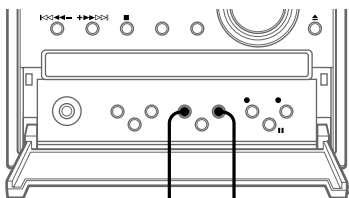
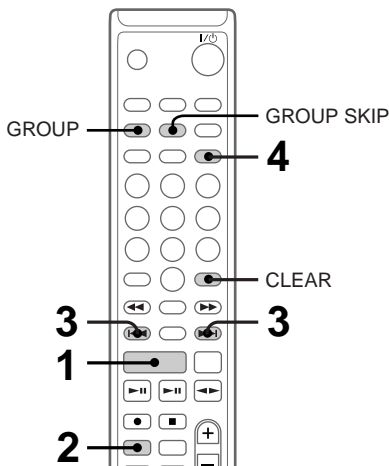
グループ管理に必要な文字数が不足しているため、録音ができません。

不要な文字（ディスク名または曲名）を消す（65ページ）ことによって、グループに録音できるようになります。

ご注意

- 録音した曲は、グループ内の最後の曲の後ろに追加されます。
- 既存のグループに曲を追加録音すると、グループ機能を解除したときに、追加録音した曲以降の曲番が変わることがあります。
- 録音中に「Group Full!」と表示されたときは、曲番は付きません。

CDの好きな曲だけを録音する（CD-MDシンクロ録音）

CDのプログラム演奏機能で好きな曲を選んでから、CDとのシンクロ録音機能を使って選んだ曲を録音します。
途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。

好きな曲を選ぶ

1 リモコンのFUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをCDに切り換える

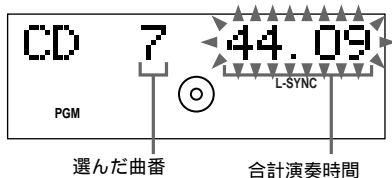
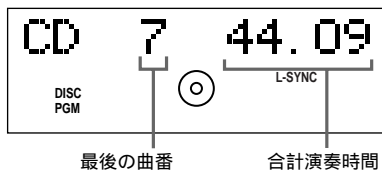
2 CD停止中にリモコンのPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」を表示させる

3 リモコンの⏮または⏭をくり返し押して、録音したい曲を選ぶ

選んだ曲番　合計演奏時間

4 リモコンのENTER/YESを押す

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか（Step数）が表示され、次に最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計演奏時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと最後にプログラムした曲が消えます。

最後の曲番　合計演奏時間

5 プログラムを続けるときは、手順3と4をくり返す

録音したい曲を選んだら、続けてMDに録音します。

MDに録音する

6 録音用のMDを入れる

7 グループ機能を使ってシンクロ録音するときは、リモコンのGROUPをくり返し押して、「GROUP」を点灯させる

グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順8に進んでください。

8 SYNCHRO MODE（シンクロ モード）をくり返し押して、「CD→MD SYNC（シンクロ）」を表示させる

9 ENTER/START（エンター／スタート）を押す

「NORMAL SPEED」が表示された後、「Press START」が点滅します。
MDが録音一時停止に、CDは演奏一時停止になります。

10 グループ機能を使ってシンクロ録音するときは、録音先（新しいグループまたは既存のグループ）によって、以下のように操作する

新しいグループを作ってシンクロ録音するには

手順11に進む。

既存のグループの中にシンクロ録音するには

リモコンのGROUP SKIPをくり返し押して、曲を録音したいグループを選ぶ。
グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順11に進んでください。

11 「Press START（プレス スタート）」が点滅しているのを確認してからENTER/START（エンター／スタート）を押す

録音が始まります。
選んだ曲すべての録音が終わると、CD、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

録音途中でMDが終わってしまったときは

MD、CDとも自動的に停止します。

同時にテープにも録音するには

録音用のテープを入れ、「MDに録音する」（このページ）の手順8で「DUAL SYNC」を表示させます。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意

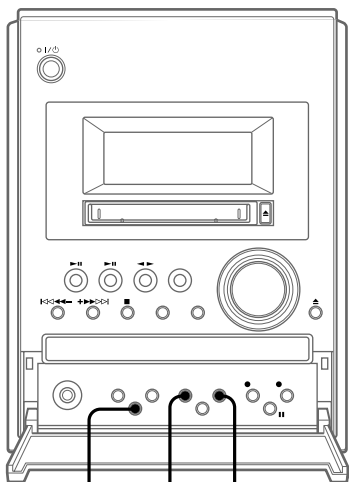
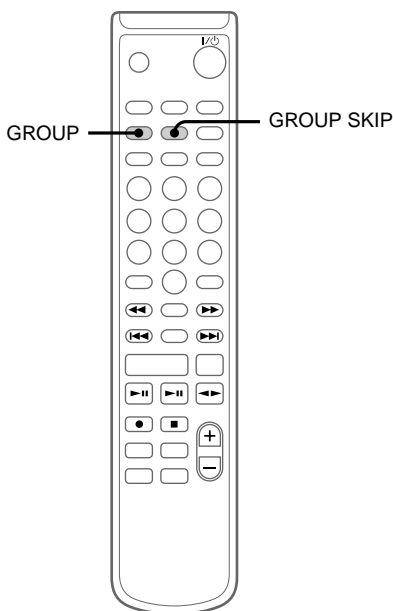
- 録音済みの曲を消しながら録音することはできません。録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（70ページ）をご覧ください。
- CDの全曲を録音するときは、CDの再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- 録音を一時停止することはできません。
- MDの演奏モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順4で自動的にふつうの演奏に切り換わります。
- CD-MDシンクロ録音中は、以下の機能が働きません。
  －オートカット機能
  －「Setup?」で設定した録音レベルの設定値（録音レベルは0.0dBで録音されます）
- 次のようなCDを使用すると、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。
  －シールなどが貼られている
  －円形以外の形をしている（ハート形など）
  －レーベルの印刷が一方向にかたよっている
  －傷がついている
  －汚れている
  －反っている
- 本機の状態が次のようなときも、読み取りエラーが起こって正しく録音されない場合があります。
  －CDトレイや本体を叩いた
  －水平でないところや、柔らかいものの上に設置されている
  －スピーカーやドアなど、振動源の近くに設置されている
- 上記の読み取りエラーが起こったときに、無音の曲が余分に作られることがあります。余分に作られた曲は、MD編集のERASE機能（70ページ）を使って消すことができます。
- 「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません（114ページ）。

CDを高速で録音する*（高速CD-MDシンクロ録音）*

CDをそのまま録音するときや、CDの好きな曲だけを録音するときに、通常よりも高速（約4倍）で録音することができます。

PLAY MODE　4　5,7

GROUP

GROUP SKIP

1 録音用のMDを入れる

2 CDを入れる

CDの好きな曲だけを録音したいときは、CD停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」を表示させます。

3 グループ機能を使ってシンクロ録音するときは、リモコンのGROUPをくり返し押して、「GROUP」を点灯させる

グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順4に進んでください。

4 SYNCHRO MODEをくり返し押して、「HISPEED SYNC」を表示させる

5 ENTER/STARTを押す

「HIGH SPEED」が表示され、「Press START」が点滅します。

MDが録音一時停止に、CDは演奏一時停止になります。

6 グループ機能を使ってシンクロ録音するときは、録音先（新しいグループまたは既存のグループ）によって、以下のように操作する

新しいグループを作ってシンクロ録音するには

手順7に進む。

既存のグループの中にシンクロ録音するには

リモコンのGROUP SKIPをくり返し押して、曲を録音したいグループを選ぶ。

グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順7に進んでください。

7 「Press START（プレス スタート）」が点滅しているのを確認してからENTER（エンター）/START（スタート）を押す

録音が始まります。

録音中は、録音されている音を聞くことはできません。録音が終わると、CD、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

曲の途中で録音を止めたり、録音途中でMDが終わってしまったときは

途中まで録音された曲はMDに記録されません。もう一度録音し直してください。

手順5でENTER（エンター）/START（スタート）を押したあとで「Retry（リトライ）」と表示されたときは

CDの読み取りエラーが起こり、本機はCDのデータを再度読み取っています。

- 読み取りに成功すると、高速シンクロ録音のままで録音を続けます。
- CDや本機の状態が悪く、再読み込みができないときは、高速シンクロ録音ができなくなります。この場合は、「Retry」と「NORM」が点滅し、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。なお、このとき、録音されている音を聞くことはできません。

高速CD-MDシンクロ録音の制限事項について

CDの同じ曲を、続けて高速シンクロ録音することはできません（HCMS：ハイスピードコピーマネージメントシステム、102ページ）。このとき、「Retry [HCMS]」と「NORM」が点滅し、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わります。

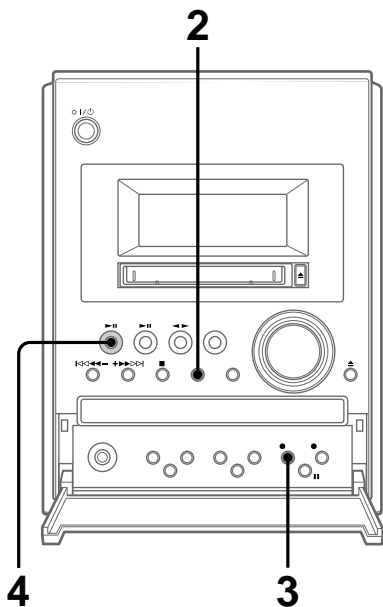
ただし、録音を始めた時点から74分が経過すると、再び高速録音が可能になります。

次のページへ続く

電源コンセントを抜く前に
MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意
- 録音済みの曲を消しながら録音することはできません。録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（70ページ）をご覧ください。
- CDの全曲を録音するときは、CDの再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- 録音を一時停止することはできません。
- MDの演奏モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順4で自動的にふつうの演奏に切り換わります。
- CD-MDシンクロ録音中は、以下の機能が働きません。
  －オートカット機能
  －「Setup?」で設定した録音レベルの設定値（録音レベルは0.0dBで録音されます）
- 次のようなCDを使用すると、読み取りエラーが起こり、ノイズなどが混入して正しく録音されない場合があります。
  －シールなどが貼られている
  －円形以外の形をしている（ハート形など）
  －レーベルの印刷が一方向にかたよっている
  －傷がついている
  －汚れている
  －反っている
- 本機の状態が次のようなときも、読み取りエラーが起こって正しく録音されない場合があります。
  －CDトレイや本体を叩いた
  －水平でないところや、柔らかいものの上に設置されている
  －スピーカーやドアなど、振動源の近くに設置されている
- 上記の読み取りエラーが起こったときに、無音の曲が余分に作られることがあります。余分に作られた曲は、MD編集のERASE機能（70ページ）を使って消すことができます。
- 「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクが入っていないか、またはそのMDには録音できません（114ページ）。

マニュアルで録音する（マニュアル録音）

CDやテープ、ラジオからお好みに応じて録音ができます。例えば、CDやテープの好きな部分だけを録音することができます。
途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（70ページ）をご覧ください。

2
4
3

1 録音用のMDを入れる

2 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、「TUNER（チューナー）」など録音したい音源を表示させる

- CD：本機のCDの音を録音する
- TAPE：本機のテープの音を録音する
- TUNER：本機のラジオの音を録音する

別売りの機器から録音するときは、「つないだ機器の音を録音する」（97ページ）をご覧ください。

3 ●MDを押す

MDが録音一時停止になります。

4 MD►IIを押してから録音したい音源の演奏を始める

本機のCDから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中に●MDを押すと、押したところに曲番が付きます（**トラックマーク機能**）。

TUNERからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」（58ページ）をご覧ください。

録音を止める

■を押す。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

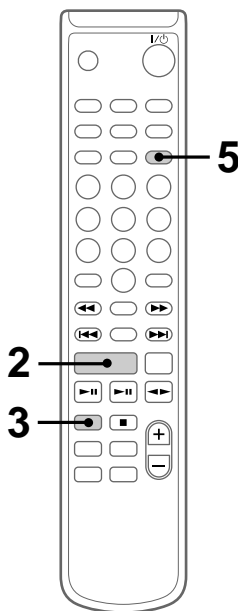
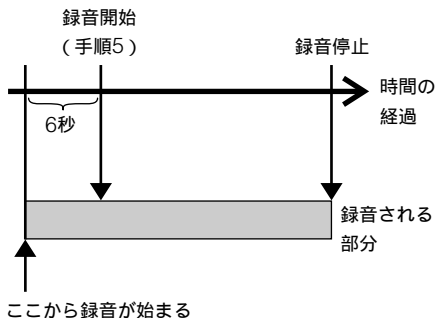
ちょっと一言

- 録音される音の大きさをお好みで調節できます（61ページ）。
- 録音中にリモコンのDISPLAYを押すと、MDの残り時間を見ることができます。

ご注意

- CDから録音するときに録音を一時停止すると、そこに曲番が付きます。また、同じCDの同じ曲を続けて録音すると、曲番が1つしか付かないことがあります。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（46ページ）。

6秒前の音から録音する（タイムマシン録音）

入力されている音を本機のメモリーに蓄えておくことにより、録音開始の6秒前の音から録音することができます。衛星放送やFM放送などのエアチェックで、録音を始めるタイミングが遅れて頭の部分を録音し損なうのを防ぐのに便利です。

録音開始
（手順5）
録音停止
時間の
経過
6秒
録音される
部分
ここから録音が始まる

5
2
3

次のページへ続く

1 録音用のMDを入れる

2 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、「TUNER（チューナー）」など録音したい音源を表示させる

別売りの機器から録音するときは、「つないだ機器の音を録音する」（97ページ）をご覧ください。

3 MD●を押す

MDが録音一時停止になります。

4 録音したい音源の演奏を始める

5 録音を始めたいところで、ENTER/YES（エンター イエス）を押す

この手順を行う6秒前にさかのぼって録音を始めます。
途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは、「曲を消す」（70ページ）をご覧ください。

タイムマシン録音を止める

■を押す。

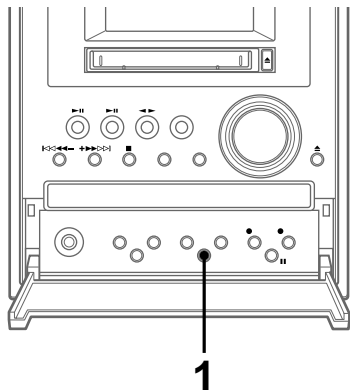
電源コンセントを抜く前に
MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意
- 本機は、手順3で録音一時停止になった時点から、入力されている音をメモリーに蓄え始めます。録音一時停止になってから6秒以上経過したあとで録音を始めないと、6秒前の音から録音できません。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（46ページ）。

長時間録音する

録音時間を2倍長または4倍長（60分のMDなら120分または240分）にしてステレオ録音できます（MDLP録音）。またモノラル録音では、ステレオ信号をモノラルに変換して録音します。録音時間は通常のステレオ録音の約2倍になります。
LP4モード（4倍長時間録音モード）は特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。音質を重視される場合はSP（ステレオ録音）またはLP2ステレオ録音（2倍長時間録音）を推奨いたします。

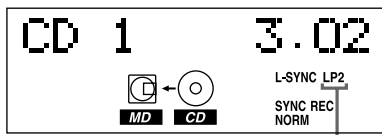
ご注意
MDLP録音した曲は、MDLP未対応機器で再生することができません。また、S.F EDITなど、使用できないMD編集機能が一部あります。

1

1 CD-MDシンクロ録音など、それぞれの録音を開始する前に、REC MODE（レコーディングモード）をくり返し押して、録音モードを選ぶ

押すたびに次のように変わります。

STEREO REC（ステレオ録音）
→ LP2 REC（LP2ステレオ録音）
→ LP4 REC（LP4ステレオ録音）
→ MONO REC（モノラル録音）
→ STEREO REC（ステレオ録音）

2 録音を始める

選んだ録音モードで録音されます。

選ばれている録音モード
（表示なしのときはステレオ録音）

録音モードを変更する

選んだ録音モードは、録音が終了しても保持されます。録音の前には必ず録音モードを確認してください。変更する場合は、ファンクションをMDに切り換えてからREC MODEをくり返し押して、録音モードを切り換えてください。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意

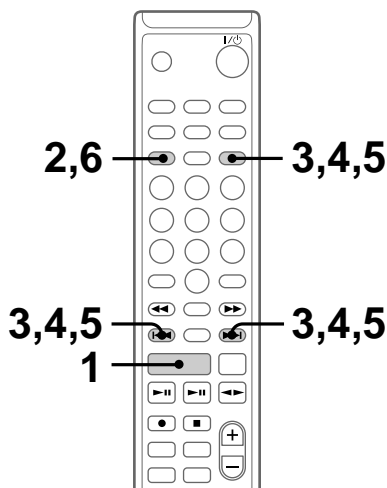
- MDLP録音したMDを演奏するときは、MDLP対応機器を使ってください。MDLP未対応機器で演奏することはできません。
- 録音中に録音モードを変えることはできません。
- 録音モードを「MONO」にしても、スピーカーからは音源のままの音声（ステレオ信号録音時はステレオ音声）が聞こえます。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください（46ページ）。
- MDLP録音したMDをMDLP未対応機器で再生しようとしたときに、「LP:」と表示して再生できないことがわかるように編集されたMDがあります。それらのMDを再生すると、本機はMDLPに対応しているため、「LP:」は表示されません。

曲番を付ける

曲番は次の方法で付けることができます。

- **録音中に自動的に付ける**
  本機のCDからの録音時は、音源にしたがって自動的に付きます。
  本機のラジオおよびアナログ入力端子につないだ機器からの音源を録音しているときは、レベルシンクロ録音を使うと、自動的に付けることができます。ただし、テープやラジオを録音するときは、雑音などにより自動的に付かないことがあります。
- **録音中に好きなところに付ける**
  マニュアル録音中、どの音源からでも付けることができます。
- **録音後に付ける**
  MD編集のDIVIDE機能（74ページ）を使います。

録音中に自動的に付ける
—レベルシンクロ録音

工場出荷時はレベルシンクロ録音機能が働くよう設定されていますので、自動的に曲番が付きます。録音時に表示窓に「L-SYNC」と表示されないときは、以下の手順でレベルシンクロ録音機能が働くよう設定してください。曲番は、音源からの入力信号が約2秒以上続けて一定レベル以下になり、再び、その レベルを越えたときに付きます。

2,6
3,4,5
3,4,5
3,4,5
1

1 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NO（メニュー/ノー）を押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して、「Setup?（セットアップ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して、「T.Mark Off（トラックマーキングオフ）（または T.Mark LSync（トラックマーキングレベルシンクロ））」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

5 ⏮または⏭をくり返し押して、「T.Mark LSync（トラックマーキングレベルシンクロ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

「L-SYNC」が点灯します。

6 MENU/NO（メニュー/ノー）を押す

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順にしたがって操作します。

自動的に曲番を付けるのをやめる

手順5で「T.Mark Off」を表示させ、ENTER/YESを押す。
「L-SYNC」が消えます。「L-SYNC」が消えているときは、録音開始点にのみ曲番が付きます。

入力信号の検出レベルを変更する

レベルシンクロ録音機能が働くように設定すると、ここで設定したレベル以下の信号入力が約2秒以上続いたあとで、再び設定レベル以上の信号が入力されたときに新しい曲番が付きます。出荷時は−50dBに設定されています。

テープやラジオなど、雑音が多く曲番が付きにくいときは、設定レベルを上げる（▶▶Iを押す）と曲番が付きやすくなります。

1 録音一時停止中にMENU/NOを押して、「Setup?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

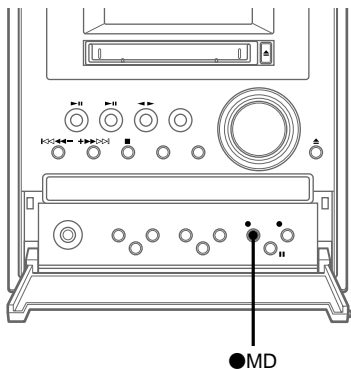
2 I◀◀または▶▶Iをくり返し押して、「LS（T)」を表示させ、ENTER/YESを押す。

3 I◀◀または▶▶Iをくり返し押して、入力信号のレベルを−72dBから0dB（2dB単位）の範囲で選び、ENTER/YESを押す。

4 MENU/NOを押す。

録音中に好きなところに付ける —トラックマーク

マニュアル録音中は、音源や接続方法にかかわらず、好きなところに曲番を付けられます。

●MD

➡ マニュアル録音中に、曲番を付けたいところで●MDを押す

押したところに曲番が付きます。

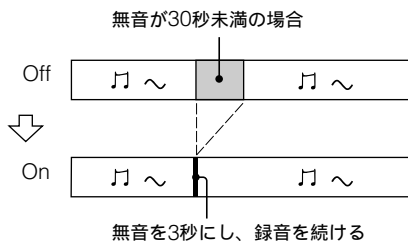
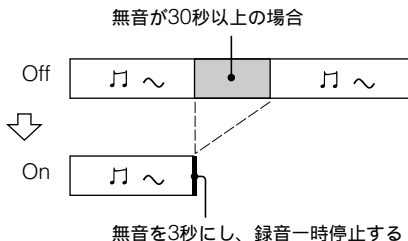
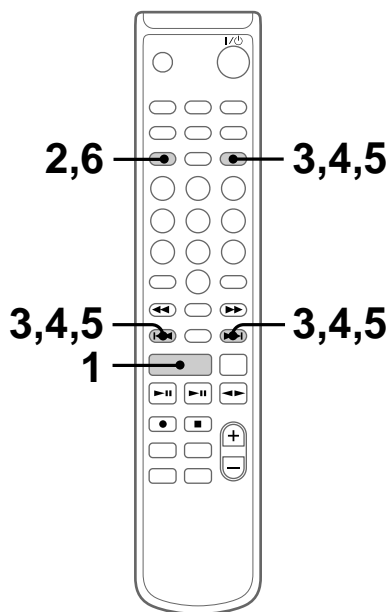
曲間をそろえて録音する（スマートスペース）

CDのデジタル録音中は、自動的に曲間がそろいます。その他の録音をしているときは、スマートスペースをOnに設定すると、録音中に約3秒以上（30秒未満）の無音状態が続いたときに、無音部分を約3秒に短縮して録音します。

無音が30秒未満の場合

Off

On

無音を3秒にし、録音を続ける

オートカット：スマートスペースをOnに設定すると、録音中に30秒以上の無音状態が続いたときに、無音部分を約3秒に短縮して、録音一時停止になります。

無音が30秒以上の場合

Off

On

無音を3秒にし、録音一時停止する

次のページへ続く

MD—録音

2,6
3,4,5
3,4,5
3,4,5
1

1 **FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MENU/NO（メニュー/ノー）を押す**

3 **⏮ または⏭をくり返し押して、「Setup?（セットアップ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

4 **⏮ または⏭をくり返し押して、「S.Space Off（スマートスペース オフ）（またはS.Space On（スマートスペース オン））」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

5 **⏮ または⏭をくり返し押して、「S.Space On（スマートスペース オン）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

6 **MENU/NO（メニュー/ノー）を押す**

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順にしたがって操作します。

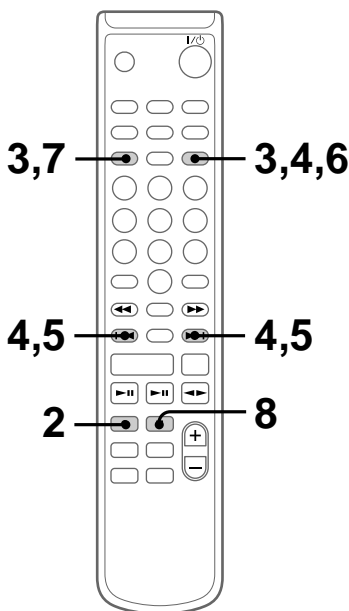
自動的に曲間をそろえるのをやめる

手順5で「S.Space Off」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ちょっと一言

工場出荷時はスマートスペースが設定されています。電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いても、最後に設定した状態（S.Space OnまたはOff）は記憶されています。

録音レベルを調節する

MDに録音するときに、お好みで録音される音の大きさが調節できます。アナログ録音だけでなく、CDなどのデジタル録音でも調節できます。

1　録音したい音源の演奏を始める

2　MD●を押して、録音一時停止にする

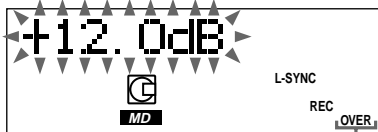
3　MENU/NO（メニュー/ノー）を押して、「Setup?（セットアップ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

4　⏮または⏭をくり返し押して、「LevelAdjust?（レベル アジャスト）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

5　⏮または⏭をくり返し押して、録音される音の大きさを調節する

一番大きい音のとき、表示窓に「OVER」が点灯しないようにします。

「OVER」が点灯しないように調節する

6　ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

7　MENU/NO（メニュー/ノー）を押す

8　■を押して、MDを停止させる

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順にしたがって操作します。

ちょっと一言

- 録音中にも、録音される音の大きさを調整できます。
- 調節した録音レベルは次に調節するまで保持されます。
- CD-MDシンクロ録音中は、この機能は働きません。

編集の前にお読みください

録音済みの1枚のMD上で、曲の移動や削除などの編集作業が行えます。編集を行うことで、MD間でのダビングをせずに、オリジナルMDアルバムの作成をお楽しみいただけます。

編集機能

- Name — **名前を付ける**（63、66ページ）
  ディスク名、曲名、グループ名を記録できます。
  入力できる文字はカタカナ、アルファベット（大文字、小文字）、数字、記号の一部です。
- Create — **グループを作る**（67ページ）
  新しいグループを作って、録音済みの曲を登録することができます。
  曲を登録せずに、グループだけを作ることもできます。
- Release — **グループ登録を解除する**（69ページ）
  グループ登録を簡単に解除することができます。すべてのグループの登録を一度に解除することもできます。
- Erase — **曲を削除する**（70ページ）
  不要な曲を削除できます。
- Move — **曲順を変える**（73ページ）
  曲順の入れ替えが自由にできます。
- Divide — **曲番を付ける**（74ページ）
  1つの曲を2つに分ける（Divide）と、分けたところに曲番が付きます。
  この機能を使って、曲の途中—例えば好きなフレーズのはじめに曲番を付けると、好きなフレーズの頭出しもできます。
- Combine — **曲をつなぐ**（76ページ）
  この機能を使うと2つの曲が1曲につながります。
  1曲目と4曲目のように離れている曲でもつなぐことができます。
- Undo — **編集作業を取り消す**（77ページ）
  誤って違う曲を消してしまったり、順番を間違えて入れ替えたときなど、その操作を取り消して、消してしまった曲や、曲順を元に戻すことができます。
- S.F EDIT — **録音レベルを変更する**（78ページ）
  録音後に1曲全体の録音レベルを変更したり、フェードイン・フェードアウトする曲を作ることができます。

編集をはじめる前に

MDの編集をするには、

- MDが書き込み可能な状態になっている
- MDの演奏モードがふつうの演奏になっている

ことが必要です。編集をはじめる前に、必ず次の確認操作を行ってください。

1 MDが誤消去防止状態になっていないか確認する

誤消去防止状態になっているときは、つまみを動かして孔をふさぎます。
MDが誤消去防止状態になっているときは、編集作業はできません。

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」または「PGM」を消し、ふつうの演奏にする

編集作業はふつうの演奏のときのみ行えます。シャッフル演奏またはプログラム演奏中は、編集作業はできません。

編集をした後は

➡ **≜MDを押してMDを取り出す、またはI/⏻（電源）を押して電源を切る**

「TOC」または「STANDBY」が点滅し始めます。編集の情報がMDへ書き込まれ、編集が完了します。

電源コンセントを抜く前に

MDの編集は編集情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。編集情報が正しく記録されません。

MDにディスク名や曲名を付ける *（NAME）*

ディスク名や曲名は、次の方法で付けることができます。

録音中に付ける

CD-MDシンクロ録音（50ページ）をすると、CD-TEXT情報を自動的に記録できます。お買い上げ時は「On」に設定されています。

自動的に曲名を付けるのをやめるときは、次のように設定を変更してください。

1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える。

2 リモコンのMENU/NOを押す。

3 リモコンの⏮または⏭をくり返し押して「Setup?」を表示させ、リモコンのENTER/YESを押す。

4 リモコンの⏮または⏭をくり返し押して「Txt Save」を表示させ、リモコンのENTER/YESを押す。

5 リモコンの⏮または⏭をくり返し押して「Txt Save Off」を表示させ、リモコンのENTER/YESを押す。

6 リモコンのMENU/NOを押す。

ご注意

- 「Txt Save Off」を選んでも、CDによってはCD-TEXT情報が自動的に記録される場合があります。
- CDによってはCD-TEXT情報が正しく記録されない場合があります。

次のページへ続く

MDにディスク名や曲名を付ける（つづき）

録音後に付ける

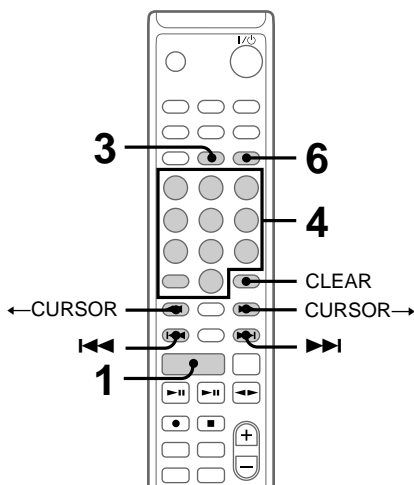
MD編集のNAME機能（このページ）を使います。

1枚のMDに、ディスク名、曲名、グループ名を計約1,700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。

以下はグループ機能が働いていないときの手順です。グループに名前を付けたいときは、「グループ名を付ける」（66ページ）をご覧ください。

ただし、グループ機能を使って録音したMDにディスク名を付けるときは、グループ管理情報を誤って書き換えてしまわないように、グループ機能を働かせた状態でディスク名を付けてください。

グループ管理情報について詳しくは、47ページをご覧ください。

3
6
4
CLEAR
←CURSOR
CURSOR→
⏮
⏭
1

1 FUNCTION（ファンクション）**をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **付けたい名前（曲名またはディスク名）によって、以下のように操作する**

曲名を付けるには

⏮または⏭をくり返し押して、名前を付けたい曲番を選び、NAME EDIT/SELECTを押す。

ディスク名を付けるには

総曲数（グループ機能が働いているときは、総グループ数）が表示されているときに、NAME EDIT/SELECTを押す。

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

TOC
カーソル

3 NAME（ネーム） EDIT（エディット）/SELECT（セレクト）**を押して、文字の種類を選ぶ**

押すたびに次のように変わります。

「Selected AB」（アルファベット大文字）＊

→「Selected ab」（アルファベット小文字）＊

→「Selected ア」（カタカナ）＊＊

→「Selected 12」（数字）

→「Selected AB」（アルファベット大文字）＊

＊ 数字ボタンの1をくり返し押すと、以下の記号を表示できます。
´ –/,. ():!?
また、記号が表示されているときに⏮または⏭をくり返し押すと、さらに以下の記号を表示できます。
&+<>_=“;#$%@＊`

＊＊ 通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツを表示できます。また、>10ボタンをくり返し押すと、濁点や半濁点など（゛ ゜ –,.）を表示できます。ただし、濁点（゛）は「ウ」、「カ／サ／タ／ハ行」、半濁点（゜）は「ハ行」の文字のあとにのみ入力できます。

4 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

アルファベット／カタカナを選んだとき

1 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
⏮または⏭をくり返し押しても、文字を切り換えることができます。

2 CURSOR→を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

数字を選んだとき

押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

スペース（空き）を入力するには

1 NAME EDIT/SELECTを押して、アルファベット（大文字または小文字）を選ぶ。

2 10/0を押す。
スペース（空き）が入力され、カーソルが次の位置で点滅します。

5 手順3と4をくり返して、名前を付ける

文字を変更するには

←CURSORまたはCURSOR→をくり返し押して、変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順3と4をくり返す。

6 ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

ディスク名または曲名が順に表示され、しばらくすると手順1の表示に戻ります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

付けた名前を確認する

ディスク名は停止中に、曲名は演奏中にSCROLLを押すと、表示窓に名前が横に流れます（**スクロール**）。スクロール中にSCROLLを押すと、流れている名前が止まります。もう一度押すと、再びスクロールします。

付けた名前を消す

1 停止中にMENU/NOを押す。

2 ⏮または⏭をくり返し押して、「Nm Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

3 ⏮または⏭をくり返し押して、ディスク名や曲名を消したい曲の曲番を選び、ENTER/YESを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて、付けた名前が消えます。

名前を消すのをやめる

MENU/NOを押す。

名前を付ける／消す前の状態に戻す

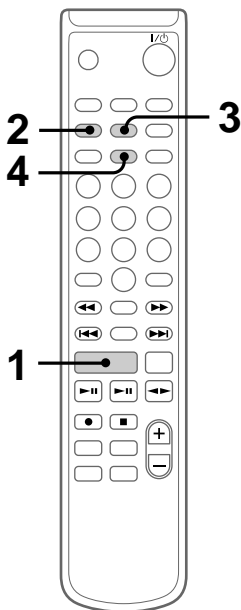
名前を付けたり、消したりしたすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

ご注意

- 曲名は演奏中でも付けられます。名前を付け終わるまで演奏がくり返されます。
- MDが誤消去防止状態になっているときは、ディスク名や曲名が付けられません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして孔をふさいでください（46ページ）。
- ディスク名に、「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

グループ名を付ける

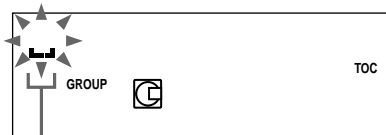
（NAME）

1枚のMDに、ディスク名、曲名、グループ名を計約1,700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。

1 FUNCTION**をくり返し押して、ファンクションを**MD**に切り換える**

2 GROUP**をくり返し押して、「**GROUP**」を点灯させる**

3 GROUP SKIP**をくり返し押して、名前を付けたいグループを選ぶ**

4 **名前を付けたいグループの総曲数が表示されているときに、**NAME EDIT/SELECT**を押す**

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

5 **「**MD**にディスク名や曲名を付ける」の手順**3〜6（64〜65**ページ）を行う**

途中でやめる

MENU/NOを押す。

付けた名前を確認する

1 停止中にGROUPをくり返し押して、「GROUP」を点灯させる。
2 GROUP SKIPをくり返し押して、名前を確認したいグループを選び、SCROLLを押す。
表示窓に名前が横に流れます（**スクロール**）。スクロール中にSCROLLを押すと、流れている名前が止まります。もう一度押すと、再びスクロールします。

付けた名前を消す

1 停止中にGROUPをくり返し押して、「GROUP」を点灯させる。
2 MENU/NOを押す。
3 ⏮または⏭をくり返し押して、「Nm Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

4 GROUP SKIPをくり返し押して、名前を消したいグループ番号を選び、ENTER/YESを押す。
「Complete!」が数秒間表示されて、付けた名前が消えます。

名前を消すのをやめる

MENU/NOを押す。

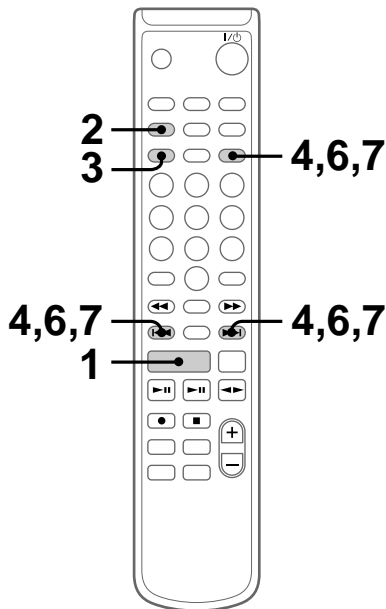
名前を付ける／消す前の状態に戻す

名前を付けたり、消したりしたすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

ご注意

- MDが誤消去防止状態になっているときは、ディスク名や曲名が付けられません。⏏MDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして孔をふさいでください（46ページ）。
- ディスク名に、「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 曲が登録されていないグループの名前は消すことができません。

新しいグループを作って録音した曲を登録する *(CREATE)*

曲の入っていないグループを作ったり、新しいグループを作って、録音済みの曲を登録したりすることができます。グループ登録されていない、連続した曲のみで登録できます。

1 FUNCTION（ファンクション）**をくり返し押して、ファンクションを**MD**に切り換える**

2 GROUP（グループ）**をくり返し押して、「**GROUP（グループ）**」を点灯させる**

次のページへ続く

MD－編集

新しいグループを作って録音した曲を登録する（つづき）

3 MENU/NO**を押す**

4 **⏮ または⏭をくり返し押して、「**Gp Create?**」を表示させ、**ENTER/YES**を押す**

5 **「**MD**にディスク名や曲名を付ける」**（63**ページ）の手順**3〜6**を行う**

6 **⏮ または⏭をくり返し押して、「**Assign None**」を表示させ、**ENTER/YES**を押す**

途中でやめる

MENU/NOを押す。

新しいグループを作る前の状態に戻す

新しいグループを作ったすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

グループに曲を登録するときは

手順6で⏮ または⏭をくり返し押して、登録したい最初の曲番を選び、ENTER/YESを押す。

1曲のみ登録するときは、もう一度ENTER/YESを押す。

2曲以上を登録するときは、⏮ または⏭をくり返し押して、登録したい最後の曲番を選び、ENTER/YESを押す。

ちょっと一言

グループ機能のない機器で録音した曲でもグループ登録することができます。

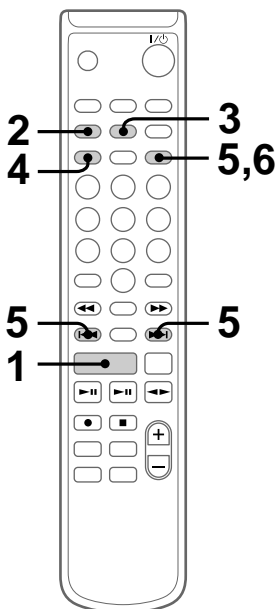
ご注意

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- すべての曲がグループ登録されているときは、手順5の後で「Assign None」と表示され、登録できません。
- 手順5でグループ名を入力しないと、グループ名は「Group＊＊（グループ番号）」と表示されます。ただし、曲の登録をしないでグループを作るときは、必ずグループ名が必要です。

グループ登録を解除する *（RELEASE）*

登録を解除したいグループを指定するだけで、グループ登録を簡単に解除することができます。また、すべてのグループの登録を一度に解除することもできます。

1グループずつ解除する

指定したグループ登録を解除し、グループを消すことができます（曲そのものは消せません）。

1 FUNCTION（ファンクション）**をくり返し押して、ファンクションを**MD**に切り換える**

2 GROUP（グループ）**をくり返し押して、「**GROUP（グループ）**」を点灯させる**

3 GROUP（グループ） SKIP（スキップ）**をくり返し押して、登録を解除したいグループを選ぶ**

4 MENU（メニュー）/NO（ノー）**を押す**

5 **⏮または⏭をくり返し押して、「**Gp Release?（グループリリース）**」を表示させ、**ENTER（エンター）/YES（イエス）**を押す**

「REL Gp＊＊（グループ番号）??」が表示されます。

6 ENTER（エンター）/YES（イエス）**を押す**

「Complete!」が数秒間表示されて、グループが削除されます。

途中でやめる

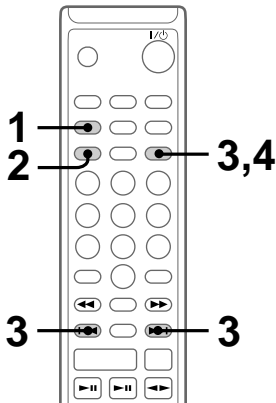
MENU/NOを押す。

グループ登録を解除する前の状態に戻す

グループ登録を解除したすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

次のページへ続く

すべてのグループを一度に解除する

MD内のすべてのグループ登録を一度に解除することができます。

1　停止中にGROUPをくり返し押して、「GROUP」を点灯させる

2　MENU/NOを押す

3　⏮または⏭をくり返し押して、「Gp All REL?」を表示させ、ENTER/YESを押す

「All REL??」が表示されます。

4　ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、MD内のすべてのグループ登録が解除されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

グループ登録を解除する前の状態に戻す

グループ登録を解除したすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

曲を消す *(ERASE)*

「Erase」は「消す」という意味です。

消したい曲番を選ぶだけで、録音した曲を簡単に消せます。消したすぐあとならUNDO機能を使ってもとに戻せますが、他の編集作業などをしたあとでは元に戻せないので、よく確認してから消してください。

消すには、次の3種類の方法があります。

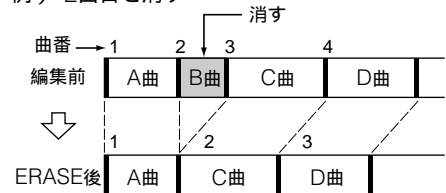
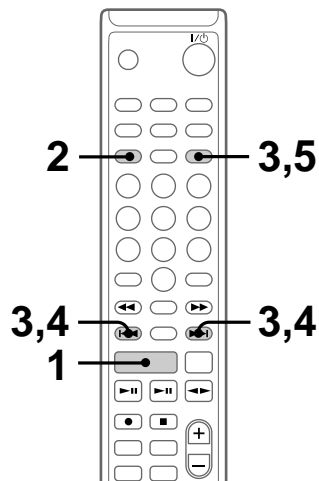
- 1曲を消す（Track Erase）
- 全曲を消す（All Erase）
- 曲の一部分を消す（A-B Erase）

1曲を消す（Track Erase）

1曲消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例）　2曲目を消す

消す

曲番	1	2	3	4
編集前	A曲	B曲	C曲	D曲
ERASE後	A曲	C曲	D曲	

このように曲番がくり上がっていきますので、2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをおすすめします。

1 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

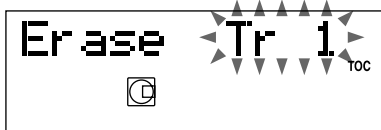
2 MENU/NO（メニュー／ノー）を押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して、「Tr Erase?（トラックイレース）」を表示させ、ENTER/YES（エンター／イエス）を押す

表示されている曲の演奏が始まります。

4 ⏮または⏭をくり返し押して、消したい曲を選ぶ

Erase Tr 1 TOC

5 ENTER/YES（エンター／イエス）を押す

「Complete!」が数秒間表示されて、手順4で選んだ曲が消え、次の曲の演奏が始まります（最後の曲を消したときは、消した前の曲の演奏が始まります）。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

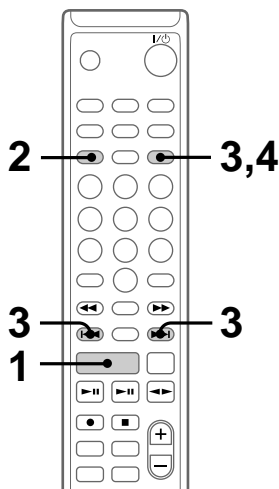
曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

ご注意

グループ内の全曲を消すと、グループ内のすべての曲と同時に、グループも消えます。

全曲を消す（All Erase）

一度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名（MDに記録しているすべての内容）を消せます。

2 3,4 3 3 1

1 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NO（メニュー／ノー）を押す

3 ⏮または⏭をくり返し押して、「All Erase?（オール イレース）」を表示させ、ENTER/YES（エンター／イエス）を押す

「All Erase??」が表示されます。

4 ENTER/YES（エンター／イエス）を押す

「Complete!」が数秒間表示されて、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名が消えます。

次のページへ続く

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

ご注意

グループ機能が働いているときに上の操作を行うと、グループ内の曲だけでなくMDのすべての曲が消えますのでご注意ください。

曲の一部分を消す（A-B Erase）

1曲中の消したい範囲を指定して、簡単にその部分を消すことができます。フレーム*、秒、分単位で消す位置をずらすことができます。衛星放送やFM放送などを録音したMDの不要な部分を消すのに便利です。

* 1フレームは1/86秒です。

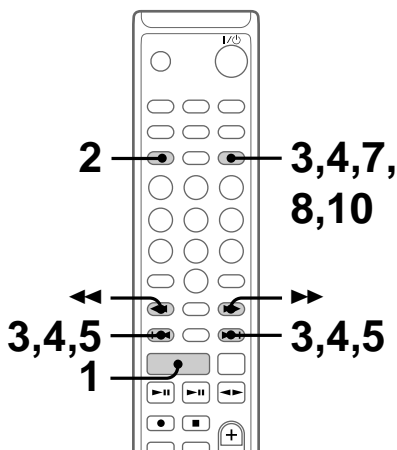
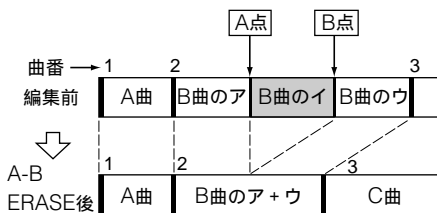
例） B曲の一部を消すとき

A点　B点

曲番 → 1　2　3

編集前　A曲　B曲のア　B曲のイ　B曲のウ

A-B ERASE後　1 A曲　2 B曲のア＋ウ　3 C曲

2　3,4,7,8,10　◀◀　▶▶　3,4,5　3,4,5　1

1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NOを押す

3 I◀◀ または▶▶Iをくり返し押して、「A-B Erase?」を表示させ、ENTER/YESを押す

4 I◀◀ または▶▶Iをくり返し押して、一部を消したい曲を選び、ENTER/YESを押す

「—Rehearsal—」と「Point A ok?」が交互に表示され、A点までの数秒間をくり返し演奏します。

5 くり返し演奏される音を聞きながら、I◀◀ または▶▶Iをくり返し押して、消したい部分の始点（A点）を選ぶ

1/86秒（1f）*ずつ位置がずらせます。秒、分単位でずらしたいときは、◀◀またはを▶▶押して、秒または分を点滅させてから、I◀◀ または▶▶Iを押します。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置をずらせます。

6 A点を正しく演奏していないときは、手順5をくり返す

7 A点を正しく演奏しているときは、ENTER/YESを押す

「Point B set」が表示され、B点を設定するための演奏が始まります。

8 演奏を続けて、消したい部分の終点（B点）まで行き、ENTER/YESを押す

「A-B Ers」と「Point B ok?」が交互に表示され、A-B間を消したつなぎ目の部分（A点までの数秒間とB点からの数秒間）をくり返し演奏します。

9 B点を正しく演奏するまで、手順5をくり返す

10 ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、A-B部分が消えます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

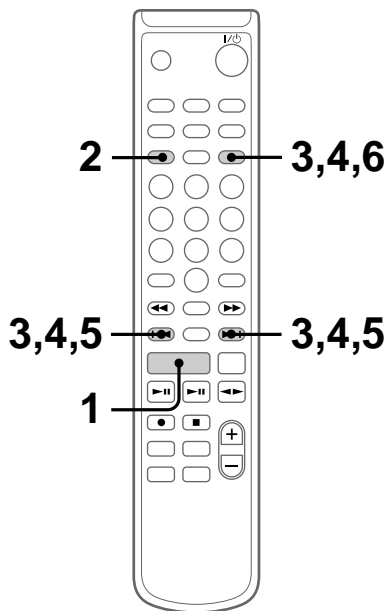
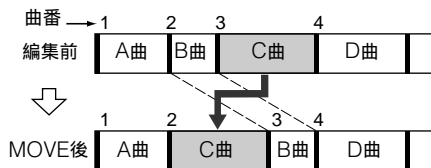
ご注意

何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲の一部分を消すことができなくなる場合があります。これはMDのシステム上の制約で、故障ではありません。

曲順を変える *(MOVE)*

「Move」は、「動かす」という意味です。

曲を好きな位置に移動させて、曲順を変えられます。曲順を変えると、曲番も頭から順に付け直されます。

例） 3曲目を2曲目に移動する

1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

次のページへ続く

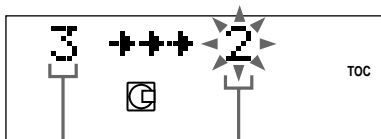
MD—編集

2 MENU/NO（メニュー/ノー）を押す

3 ⏮ または⏭をくり返し押して、「Move?（ムーブ）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

4 ⏮ または⏭をくり返し押して、移動したい曲を選び、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

5 ⏮ または⏭をくり返し押して、移動先の曲を選ぶ

6 ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

「Complete!」が数秒間表示されて、曲が移動します。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲順を変える前の状態に戻す

曲順を変えたすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。

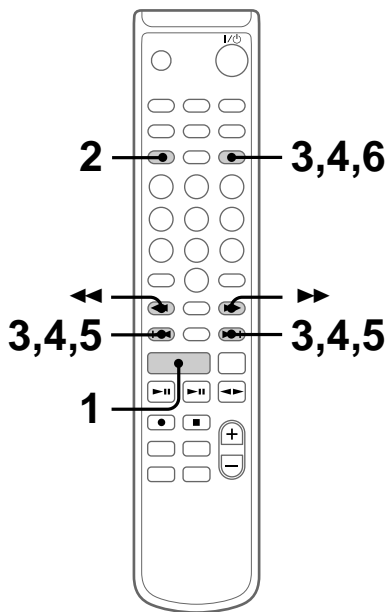
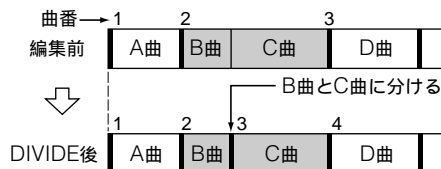
ご注意

移動先の曲番がグループに属する場合、移動先のグループに登録され直します。また、グループ登録された曲の移動先の曲番がグループ登録されていなかった場合、移動した曲のグループ登録は解除されます。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲の移動は行えません。

1つの曲を2つに分ける（DIVIDE）

「Divide」は「分ける」という意味です。

録音したあとで曲番を付けるときに使います。分けた曲以降の曲番は、頭から順に付け直されます。

例） 2曲目を2つに分ける

1 FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NOを押す

3 ⏮ または⏭をくり返し押して、「Divide?」を表示させ、ENTER/YESを押す

4 ⏮ または⏭をくり返し押して、分けたい曲を選び、ENTER/YESを押す

「—Rehearsal—」が表示され、分ける部分がくり返し演奏されます。

5 くり返し演奏される音を聞きながら、⏮ または⏭をくり返し押して、曲を分ける位置を調節する

1/86秒（1f）*ずつ位置がずらせます。
秒、分単位でずらしたいときは、◀◀または▶▶を押して、秒または分を点滅させてから、⏮ または⏭を押します。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずらせます。

6 分けるところを正しく演奏していたら、ENTER/YESを押す

「Complete!」が数秒間表示されて、曲が分かれ、分かれたところから演奏が始まります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を2つに分ける前の状態に戻す

曲を分けたすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。
また、COMBINE機能を使って元に戻すこともできます（76ページ）。

ご注意

- 曲名を付けた（63ページ）曲をDivideして2つの曲に分けると、前の方の曲にのみ、その曲名が付きます。
  例）

1	2	3	4
Andante	Adagio	Allegro	

1	2	3	4	5
Andante	Adagio	Allegro		

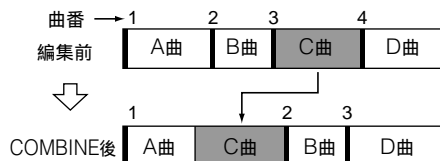
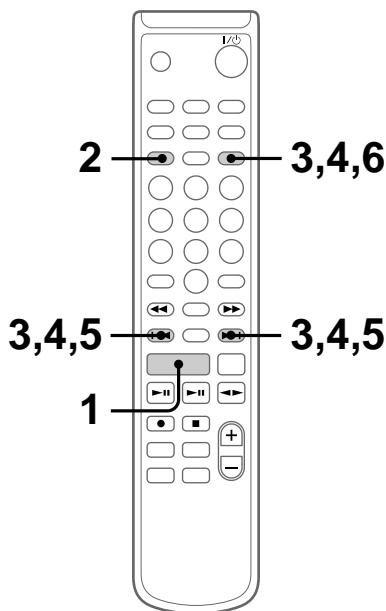
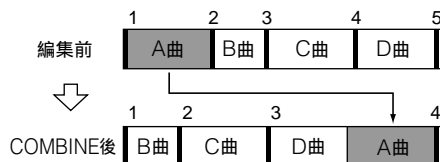
後には付かない

- 曲の先頭または最後では曲を分けることはできません。
- 曲を分ける位置（ポジション）に曲の先頭または最後が指定されたときは「Impossible」と表示されます。⏮ または⏭を押して、位置を変更してください。

MD－編集

2つの曲を1つにする
（COMBINE）

「Combine」は、「つなぐ」という意味です。2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭から順に付け直されます。
不要な曲番を消すときにもCOMBINE機能を使います。

例）1曲目に3曲目を合わせる

曲番 → 1 2 3 4
編集前: A曲 | B曲 | C曲 | D曲
COMBINE後: 1 A曲 | C曲 | 2 B曲 | 3 D曲

例）4曲目に1曲目を合わせる

編集前: 1 A曲 | 2 B曲 | 3 C曲 | 4 D曲 | 5
COMBINE後: 1 B曲 | 2 C曲 | 3 D曲 | A曲 | 4

2 / 3,4,6 / 3,4,5 / 3,4,5 / 1

1 FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NO（メニュー／ノー）を押す

3 ⏮ または⏭をくり返し押して、「Combine?（コンバイン）」を表示させ、ENTER/YES（エンター／イエス）を押す

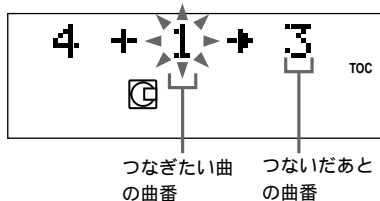
4 ⏮ または⏭をくり返し押して、つなぎたい曲のはじめの曲を選び、ENTER/YES（エンター／イエス）を押す

例）曲番4に1をつなぐときは、4を選びます。

CombineTr 4
TOC
はじめの曲の曲番

5 ⏮ または⏭をくり返し押して、つなぎたい曲を選ぶ

4 + 1 + 3
TOC
つなぎたい曲の曲番
つないだあとの曲番

6 ENTER/YES（エンター／イエス）を押す

「Complete!」が数秒間表示されて、曲がつながり、つながった曲の演奏が始まります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

2つの曲を1つにする前の状態に戻す

曲をつないだすぐあとなら、元の状態に戻せます（77ページ）。
また、DIVIDE機能を使って元に戻すこともできます（74ページ）。

ご注意

- 別々のグループに登録された2つの曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲が属するグループに登録され直します。また、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の属性と同じになります。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲をつなぐことはできません。
- 録音モード（ステレオ、LP2ステレオ、LP4ステレオ、モノラル）が同じ曲としかつなぐことができません。
- つないだ2曲の両方に曲名が付いているときは、後ろの曲名が消えます。
- 何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲をつなぐことができなくなる場合があります。これはMDのシステム上の制約で、故障ではありません。

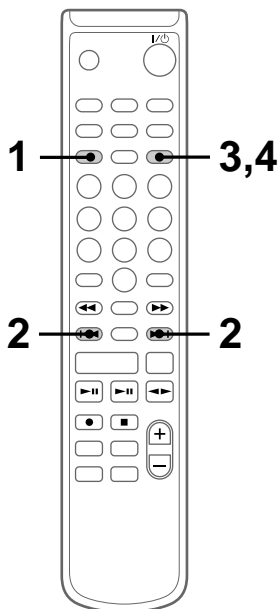
ひとつ前の操作を取り消す *(UNDO)*

最後に行った編集操作を取り消し、その前のMDの内容に戻します。
ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると取り消せません。

- 他の編集作業をする。
- 録音または録音一時停止にする。
- Net MD機能をオンにする。
- 電源を切ったり、MDを取り出したりして、編集した内容を記録する。
- 電源プラグをコンセントから抜く。

また、S.F EDIT機能を使った編集は、UNDO機能を使っても元の状態に戻すことはできません。

1　3,4
2　2

1 停止中にMENU/NO（メニュー/ノー）を押す

次のページへ続く

2 .◀◀または▶▶.を押して、「Undo?」を表示させる

取り消せる編集操作がないときは、「Undo?」は表示されません。

3 ENTER/YESを押す

最後に行った編集操作に応じて、次のメッセージが表示されます。

編集操作	メッセージ
ディスク名や曲名を付ける	「Name Undo?」
付けた名前を消す	
新しいグループを作る	「Group Undo?」
1グループずつ解除する	
すべてのグループを一度に解除する	
曲の一部分を消す	「Erase Undo?」
1曲を消す	
全曲を消す	
曲順を変える	「Move Undo?」
1つの曲を2つに分ける	「Divide Undo?」
2つの曲を1つにする	「Combine Undo?」

4 ENTER/YESを押す

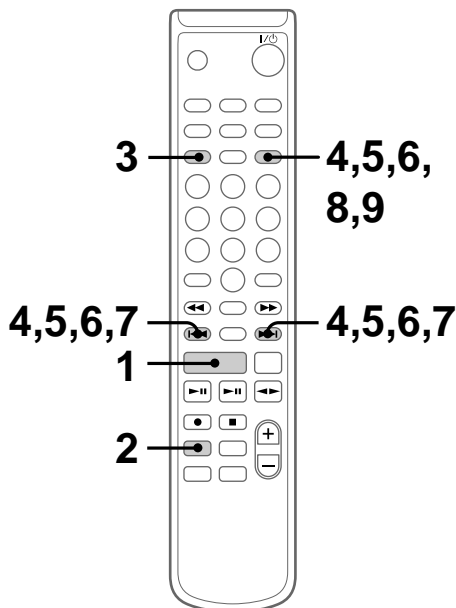
「Complete!」が数秒間表示されて、編集前のMDの内容に戻ります。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

録音後に録音レベルを変更する *(S.F EDIT)*

録音済みの曲の音声レベルを変更することができます。もとの曲は新しい録音レベルで上書きされます。また、フェードイン・フェードアウトを使うと、曲の頭が次第に大きく再生される曲や、曲の最後が次第に小さく再生される曲を作ることができます。

MDLP録音した曲の録音レベルを変更することはできません。

3
4,5,6,
8,9
4,5,6,7
4,5,6,7
1
2

1曲全体の録音レベルを変更する

1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す**

3 **MENU/NOを押す**

4 **⏮または⏭をくり返し押して、「S.F Edit?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

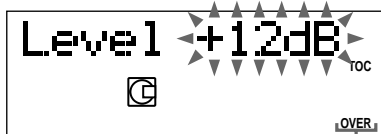
5 **⏮または⏭をくり返し押して、「Tr Level?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

6 **⏮または⏭をくり返し押して、録音レベルを変更したい曲を選び、ENTER/YESを押す**

「Level 0dB」が表示されます。

7 **演奏される音を聞きながら、⏮または⏭をくり返し押して、録音レベルを変更する**

–12dBから＋12dBの範囲内（2dB単位）で変更できます。一番大きい音のとき、表示窓に「OVER」が点灯しないようにします。

Level +12dB
TOC
OVER

「OVER」が点灯しないように調節する

8 **ENTER/YESを押す**

「S.F Edit OK?」が表示されます。

9 **ENTER/YESを押す**

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「S.F Edit: ＊＊%」が表示されます。
曲の書き換えには、その曲の演奏時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。書き換えが終わると、「Complete!」が数秒間表示されます。

フェードイン・フェードアウトする曲を作る

1 **FUNCTIONをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **PLAY MODEをくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す**

3 **MENU/NOを押す**

4 **⏮または⏭をくり返し押して、「S.F Edit?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

5 **⏮または⏭をくり返し押して、「Fade In?」または「Fade Out?」を表示させ、ENTER/YESを押す**

次のページへ続く

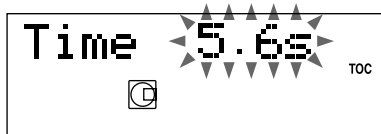
録音後に録音レベルを変更する（つづき）

6 ⏮またはをくり返し押して、フェードインまたはフェードアウトさせたい曲を選び、ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

「Time 5.0s」が 表示されます。

7 演奏される音を聞きながら、⏮または⏭をくり返し押して、フェードインまたはフェードアウトする時間を調節する

フェードインまたはフェードアウトされる部分がくり返し演奏されます。

Time 5.6s
TOC

1秒から15秒の間（0.1秒単位）で調節できます。その曲の演奏時間を超えた設定はできません。

8 ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

「S.F Edit OK?」が表示されます。

9 ENTER（エンター）/YES（イエス）を押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「SF Edit:＊＊%」が表示されます。書き換えが終わると、「Complete!」が数秒間表示されます。

途中でやめる

手順4～8の途中でMENU/NOを押す。手順9でENTER/YESを押して書き換えが始まると、操作を途中でやめることはできません。

ご注意

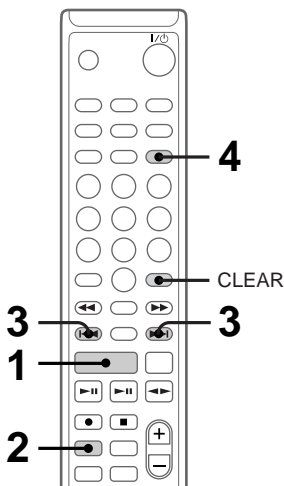
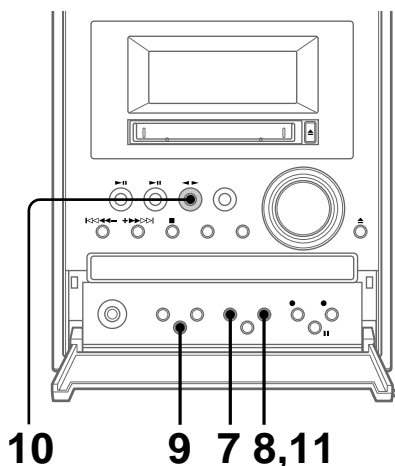
- 曲の書き換え中に本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が破損し、正しく記録されません。
- 傷や汚れのあるディスクは使用しないでください。録音情報が正しく記録されないことがあります。
- 録音レベルを何度も変更すると音質が劣化します。
- 録音レベルを変更した曲を再び元のレベルに戻しても、完全に元の録音レベルには戻りません。
- タイマーが働いているときは、録音レベルを変更できません。
- 録音レベルを変更した曲は、UNDO機能を使って元の状態に戻すことはできません。

CDの好きな曲だけを録音する

（CD-TAPEシンクロ録音）

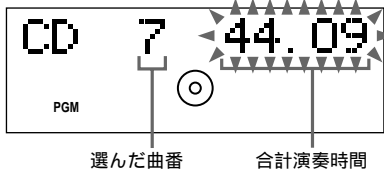
CDのプログラム演奏機能で好きな曲を選んでから、CDとのシンクロ録音機能を使って選んだ曲を録音します。テープの各面に収めるように演奏時間を確かめながら曲を並べていきます。

10 9 7 8,11

4
CLEAR
3 3
1
2

好きな曲を選ぶ

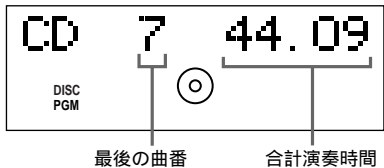
1 リモコンのFUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをCDに切り換える

2 CD停止中にリモコンのPLAY MODE（プレイモード）をくり返し押して、「PGM（プログラム）」を表示させる

3 リモコンの⏮または⏭をくり返し押して、録音したい曲を選ぶ

CD 7 44.09
PGM
選んだ曲番　合計演奏時間

4 リモコンのENTER/YES（エンター/イエス）を押す

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか（Step数）が表示され、次に最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計演奏時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと最後にプログラムした曲が消えます。

CD 7 44.09
DISC PGM
最後の曲番　合計演奏時間

5 プログラムを続けるときは、手順3と4をくり返す

録音したい曲を選んだら、続けてテープに録音します。

次のページへ続く

テープに録音する

6 録音用のテープを入れる

7 SYNCHRO MODEをくり返し押して、「CD→TAPE SYNC」を表示させる

8 ENTER/STARTを押す

「Press START」が点滅します。
テープが録音一時停止に、CDは演奏一時停止になります。

9 DIRECTIONをくり返し押して、片面録音（⇄）か両面録音（⇄⊃または⊂⇄⊃）を選ぶ

10 TAPE◄►をくり返し押して、録音を始める面を選ぶ

両面またはおもて面を録音するときは►を表示させます。うら面のみ録音するときは◄を表示させます。

11 「Press START」が点滅しているのを確認してからENTER/STARTを押す

録音が始まります。
選んだ曲すべての録音が終わると、CD、テープとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

録音途中でテープが終わってしまったときは

テープ、CDとも自動的に停止します。

同時にMDにも録音するには

録音用のMDを入れ、「テープに録音する」（このページ）の手順7で「DUAL SYNC」を選びます。

ちょっと一言

⇄⊃または⊂⇄⊃を選んで録音すると、曲の途中でおもて面が終わっても、うら面にその曲の頭から録音し直します。

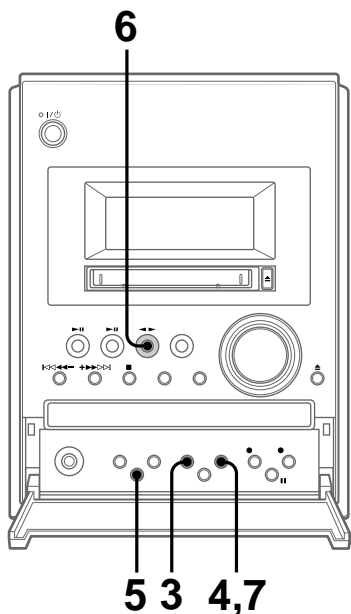
ご注意

「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクやテープが入っていないか、またはそのテープには録音できません（114、117ページ）。

MDを録音する

MDをそのまま録音する他に、MDの好きな曲だけを録音することもできます。

MDをそのまま録音する

MDをそのままテープにアナログ録音できます。

1 録音用のテープを入れる

2 MDを入れる

3 SYNCHRO MODEをくり返し押して、「MD→TAPE SYNC」を表示させる

4 ENTER/STARTを押す

「Press START」が点滅します。
テープが録音一時停止に、MDは演奏一時停止になります。

5 DIRECTIONをくり返し押して、片面録音（⇄）か両面録音（⥁または⟲⇄⟳）を選ぶ

6 TAPE◄►を押して、録音を始める面を選ぶ

両面またはおもて面を録音するときは►を表示させます。うら面のみ録音するときは◄を表示させます。

7 「Press START」が点滅しているのを確認してからENTER/STARTを押す

録音が始まります。
録音が終わると、テープ、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

■を押す。

録音途中でテープが終わってしまったときは

テープ、MDとも自動的に停止します。

ちょっと一言

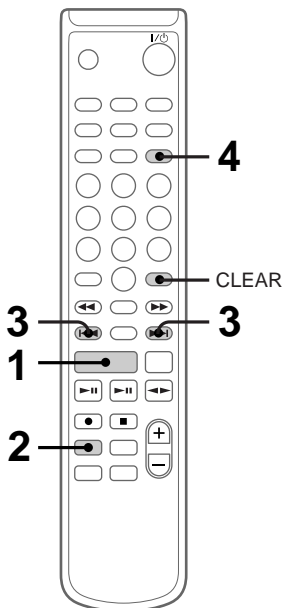
⥁または⟲⇄⟳を選んで録音すると、曲の途中でおもて面が終わっても、うら面にその曲の頭から録音し直します。

ご注意

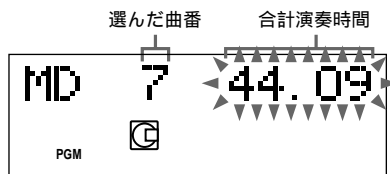
「Cannot SYNC!」が表示されたら、ディスクやテープが入っていないか、またはそのテープには録音できません（114、117ページ）。

次のページへ続く

MDの好きな曲だけを録音する（MD-TAPEシンクロ録音）

MDのプログラム演奏機能で好きな曲を選んでから、MDとのシンクロ録音機能を使って選んだ曲を録音します。

1 **FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える**

2 **MD停止中にPLAY MODE（プレイ モード）をくり返し押して、「PGM（プログラム）」を表示させる**

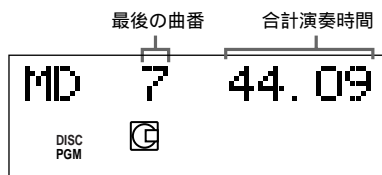
3 **⏮または⏭をくり返し押して、録音したい曲を選ぶ**

選んだ曲番　合計演奏時間

MD 7 44.09
PGM

4 **ENTER/YES（エンター/イエス）を押す**

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか（Step数）が表示され、次に最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計演奏時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと最後にプログラムした曲が消えます。

最後の曲番　合計演奏時間

MD 7 44.09
DISC PGM

5 **プログラムを続けるときは、手順3と4をくり返す**

6 **録音用のテープを入れる**

7 **「MDをそのまま録音する」（83ページ）の手順3〜7を行う**

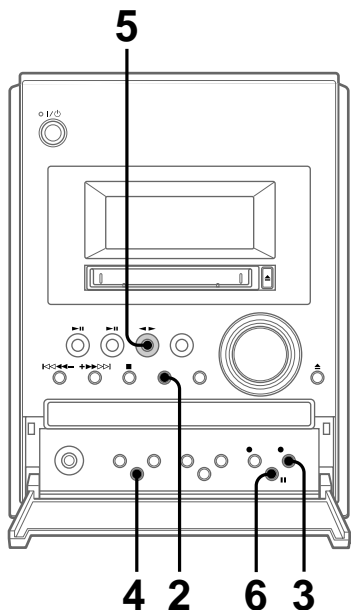
マニュアルで録音する*（マニュアル録音）*

CDやMD、ラジオからお好みに応じて録音ができます。例えば、CDやMDの好きな部分だけを録音することができます。

1 録音用のテープを入れる

2 FUNCTIONをくり返し押して、「TUNER」など録音したい音源を表示させる

- CD：本機のCDの音を録音する
- MD：本機のMDの音を録音する
- TUNER：本機のラジオの音を録音する

別売りの機器から録音するときは、「つないだ機器の音を録音する」（97ページ）をご覧ください。

3 ●TAPEを押す

テープが録音一時停止になります。

4 DIRECTIONをくり返し押して、片面録音（⇀）か両面録音（⇄または↻）を選ぶ

5 TAPE◄►を押して、録音を始める面を選ぶ

両面またはおもて面を録音するときは►を表示させます。うら面のみ録音するときは◄を表示させます。

6 ❚❚TAPEを押してから録音したい音源の演奏を始める

録音が始まります。

こんなときは	操作
録音を止める	■を押す。
録音を一時停止する	❚❚TAPEを押す。

ちょっと一言

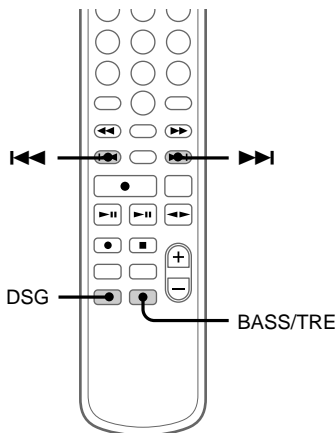
⇄または↻を選んで録音すると、曲の途中でおもて面が終わっても、うら面にその曲の頭から録音し直します。

好みの音にする

低音や高音を調節したり、迫力のある音にできます。

|◀◀ ▶▶| DSG BASS/TRE

音をダイナミックにする

➡ DSG*を押す

「DSG」が表示されます。
もう一度押すと、元に戻ります。

* DSGはDynamic Sound Generatorの略です。

低音または高音を調節する

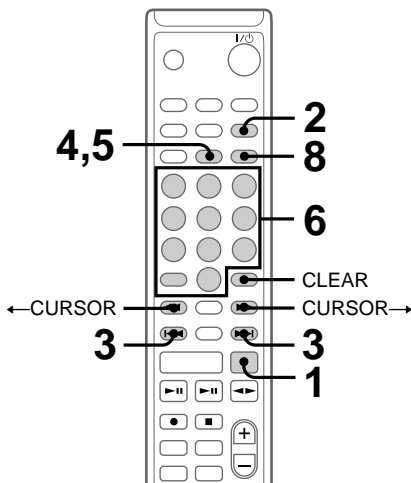
1 **BASS/TREをくり返し押して、「BASS（低音）」または「TREBLE（高音）」を選ぶ**

押すたびに次のように変わります。
BASS←→TREBLE

2 **「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、|◀◀ または ▶▶|をくり返し押して、好みのレベルを選ぶ**

記憶させたラジオ局に名前を付ける

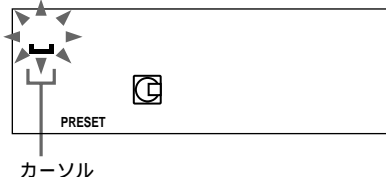
最大12文字まで名前を付けられます。名前はプリセット受信したときに表示されます。

4,5 2 8 6 CLEAR ←CURSOR CURSOR→ 3 3 1

1 **TUNER/BANDをくり返し押して、「FM」か「AM」を選ぶ**

2 **TUNING MODEをくり返し押して、「PRESET」を表示させる**

3 **+または–をくり返し押して、名前を付けたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ**

4 **NAME EDIT/SELECTを押す**

文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

PRESET
カーソル

5 NAME EDIT/SELECTを押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに次のように変わります。
「Selected AB」（アルファベット大文字）＊
→「Selected ab」（アルファベット小文字）＊
→「Selected ア」（カタカナ）＊＊
→「Selected 12」（数字）
→「Selected AB」（アルファベット大文字）＊

＊ 数字ボタンの1をくり返し押すと、以下の記号を表示できます。
´ –/,. ():!?
また、記号が表示されているときに⏮ または⏭をくり返し押すと、さらに以下の記号を表示できます。
&+<>_=“;#$%@∗`

＊＊通常の五十音に加え、小文字のアイウエオヤユヨツを表示できます。また、>10ボタンをくり返し押すと、濁点や半濁点など（゛ ゜ –,.）を表示できます。ただし、濁点（゛）は「ウ」、「カ／サ／タ／ハ行」、半濁点（゜）は「ハ行」の文字のあとにのみ入力できます。

6 入力したい文字に対応するアルファベット／数字／カタカナ入力ボタンを押す

アルファベット／カタカナを選んだとき

1 入力したい文字があるボタン（ABC、DEFまたはア（行）、カ（行）など）をくり返し押して、希望の文字を表示させる。
⏮ または⏭をくり返し押しても、文字を切り換えることができます。
2 CURSOR→を押す。
入力した文字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

数字を選んだとき

押したボタンの数字が表示され、カーソルが次の位置で点滅します。

スペース（空き）を入力するには

1 NAME EDIT/SELECTを押して、アルファベット（大文字または小文字）を選ぶ。
2 10/0を押す。
スペース（空き）が入力され、カーソルが次の位置で点滅します。

7 手順5と6をくり返して、名前を付ける

文字を変更するには

←CURSORまたはCURSOR→をくり返し押して、変更したい文字を点滅させ、CLEARを押して文字を消してから手順5と6をくり返す。

8 ENTER/YESを押す

局名が本機に記憶されます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

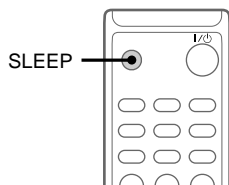
受信中にプリセット番号と周波数を確認する

名前を付けたラジオ局をプリセット受信すると付けた局名が表示されます。
プリセット番号と周波数を確認するには、DISPLAYを押します。プリセット番号と周波数が表示された後、局名が再び表示されます。

付けた局名を消す

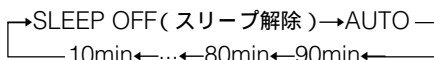
1 手順1〜4までやり直す。
2 CLEARをくり返し押して、名前を消す。
3 ENTER/YESを押す。

音楽を聞きながら眠る
（スリープタイマー）

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。

SLEEP

➡ **SLEEP（スリープ）を押す**

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。

→SLEEP OFF（スリープ解除）→AUTO→90min→80min→…→10min→

残り時間を確認する

SLEEPを1回押す。ただし、「AUTO」設定時は表示されません。

途中で時間を変える

SLEEPを押して、時間を選び直す。

スリープタイマーを解除する

SLEEPをくり返し押して、「SLEEP OFF」を表示させる。

「AUTO」を選んだときは

240分たつと電源が切れます。

また、演奏中のCDやMD、テープが終了すると、自動的に電源が切れます。

ちょっと一言

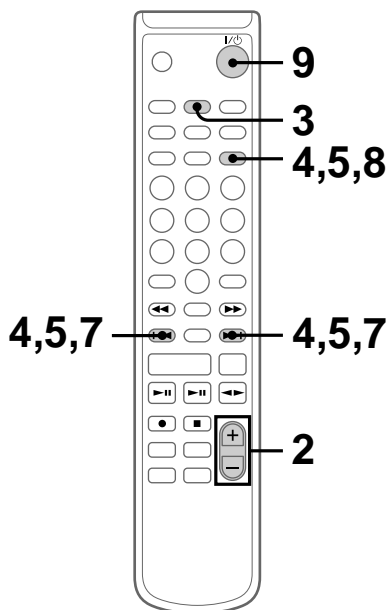
スリープタイマーは、時計合わせをしていなくても使用できます。

ご注意

MDやテープにシンクロ録音するときは「AUTO」に設定しないでください。

目覚ましとして使う
（デイリータイマー）

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。操作の前に、時計を合わせておきます（9ページ）。

9
3
4,5,8
4,5,7
4,5,7
2

1 CDなどの音源を準備する

- CD：CDを入れる。好きな曲から演奏したいときはプログラムする（35ページ）。
- MD：MDを入れる。好きな曲から演奏したいときはプログラムする（42ページ）。
- テープ：カセットテープを入れる。
- ラジオ：プリセット受信する（27ページ）。

2 VOL（ボリューム）＋または－を押して、音量を調節する

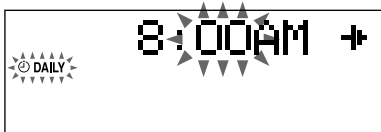
3 CLOCK/TIMER SET（クロック/タイマー セット）を押す

4 ⏮または⏭をくり返し押して、「DAILY SET（デイリー セット）」を表示させ、ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

「ON」が点灯し、「時」が点滅します。

5 開始時刻を合わせる

⏮または⏭をくり返し押して、「時」を合わせ、ENTER/YESを押す。「分」が点滅します。

8:00AM
DAILY

⏮または⏭をくり返し押して、「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。再び「時」が点滅します。

6 終了時刻を合わせる

手順5と同じ操作をして「時」、「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7 ⏮または⏭をくり返し押して、音源を選ぶ

押すたびに次のように変わります。

→TUNER↔CD PLAY↔MD PLAY←
→TAPE PLAY←

CD PLAY
DAILY

8 ENTER/YES（エンター/イエス）を押す

開始時刻、終了時刻、音源の順に表示され、元の表示に戻ります。

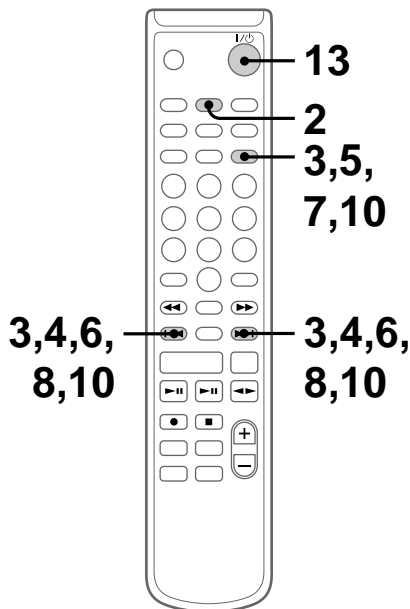
9 電源を切る

こんなときは	操作
設定を確認する／タイマーを働かせる／タイマーを解除する	**1** CLOCK/TIMER SELECTを押し、⏮または⏭をくり返し押して、「TIMER SEL?」を表示させ、ENTER/YESを押す。 **2** ⏮または⏭を押して、「DAILY ON?」（タイマーオン）または「DAILY OFF?」タイマーオフ）を表示させ、ENTER/YESを押す。
設定を変更する	手順1からやり直す。
タイマーを止める	CLOCK/TIMER SELECTを押し、⏮または⏭をくり返し押して、「TIMER OFF?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ご注意

- 録音タイマーと同時に使用した場合は、録音タイマーの設定が優先されます。
- スリープタイマーを同時に使用した場合は、スリープタイマーの設定が優先されます。
- 電源は開始時刻の約30秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 外部入力端子につないだ別売り機器はデイリータイマーの音源としては使用できません。

タイマーを使って録音する *（録音タイマー）*

本機のラジオからタイマー録音ができます。あらかじめラジオ局を記憶させ（11ページ）、時計を合わせておきます（9ページ）。

1 録音したいラジオ局をプリセット受信する（27ページ）

2 CLOCK/TIMER SETを押す

3 |◀◀ または▶▶|をくり返し押して、「REC SET」を選び、ENTER/YESを押す

4 |◀◀ または▶▶|をくり返し押して、「ONCE?」、「DAILY?」、「WEEKLY?」のいずれかを選ぶ

「ONCE?」は1回だけ、「DAILY?」は毎日同じ時刻に、「WEEKLY?」は毎週、設定した曜日の同じ時刻に働かせることができます。

5 ENTER/YESを押す

「ONCE?」、「WEEKLY?」のときは「曜日」が、「DAILY?」のときは「時」が点滅します。

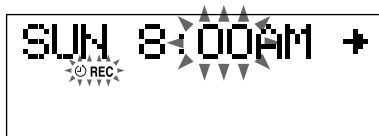
6 |◀◀ または▶▶|をくり返し押して、タイマーを働かせる曜日を選ぶ

手順4で「DAILY?」を選んだときは、手順8へすすみます。

7 ENTER/YESを押す

「時」が点滅します。
正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。

8 開始時刻を合わせる

|◀◀ または▶▶|をくり返し押して、「時」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「分」が点滅します。

|◀◀ または▶▶|をくり返し押して、「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。
再度「曜日」または「時」が点滅します。

9 終了時刻を合わせる

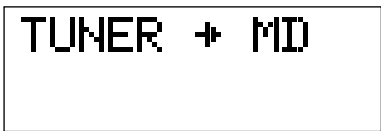
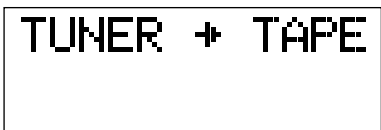
手順6〜8と同じ操作をして(「曜日」)「時」、「分」を合わせます。

10 I◀◀ または▶▶Iを押して、MDまたはテープを選び、ENTER/YESを押す

MDを選んだとき

TUNER → MD

テープを選んだとき

TUNER → TAPE

11 MDに録音するときはI◀◀ または▶▶Iをくり返し押して、録音モード(LP2など)を選び、ENTER/YESを押す

プリセットした内容が表示されて、元の表示に戻ります。

12 録音用のMDまたはテープを入れる

録音済みのMDの場合、録音済みの曲のあとに録音されます。
テープは上の面から録音されます。録音したい面を上にして入れてください。

13 電源を切る

こんなときは	操作
設定を確認する/タイマーを働かせる/タイマーを解除する	**1** CLOCK/TIMER SELECTを押し、I◀◀ または▶▶Iをくり返し押して、「TIMER SEL?」を表示させ、ENTER/YESを押す。 **2** I◀◀ または▶▶Iをくり返し押して、「REC ON?」(タイマーオン)または「REC OFF?」(タイマーオフ)を表示させ、ENTER/YESを押す。
設定を変更する	手順1からやり直す。
タイマー録音を止める	CLOCK/TIMER SELECTを押し、I◀◀ または▶▶Iを押して、「TIMER OFF?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ちょっと一言

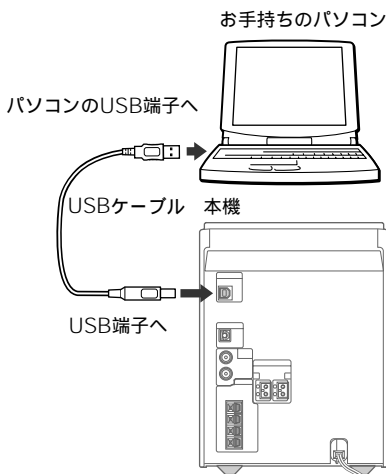
- ラジオから録音したときはラジオ局名(86ページ、局名を付けていないときは周波数)が、開始時刻、終了時刻と一緒にMDに記録されます。
- 両面録音のときは、上の面から録音を始めてください。反対面から始めると、反対面の終わりで録音が止まります。

ご注意

- スリープタイマーを同時に使用した場合は、スリープタイマーの設定が優先されます。
- 電源は開始時刻の約30秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約30秒前にすでに電源が入っていると、録音タイマーが働かず録音されません。
- 録音中、ボリュームは最小になります。
- MDに録音するときに、グループ機能を働かせてタイマー録音を設定した場合、グループを指定していなければ、新しいグループを作って録音します。
- デイリータイマーの音源をテープにしているとき、同時に録音タイマーを設定すると、テープに録音されることがありますのでご注意ください。

本機とパソコンをつなぐ

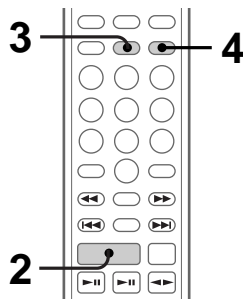
USBケーブル（付属）を使ってつなぎます。
USBケーブルでパソコンと接続すると、パソコンのハードディスクやCD-ROMドライブで再生した曲を、本機のスピーカーで聞くことができます。また、付属のソフトウェア（M-crew、Net MD対応Sonic Stage）をインストールして、パソコンで本機を操作することもできます。

お手持ちのパソコン
パソコンのUSB端子へ
USBケーブル　本機
USB端子へ

ご注意

- M-crewおよびNet MD対応Sonic Stageは必ず本機同梱の本機専用ソフトウェアを使用してください。
- USBケーブルをはじめにつないだときなどに、ドライバのインストールが始まることがあります。ドライバのファイルが見つからないというメッセージが表示されたときは、ドライバをインストールし直してください。
- 本機とパソコンをつないで操作するとき以外は、USBケーブルを外しておくことをおすすめします。
- パソコン側で音量を調節しても、本機の音量は調節できません。
- パソコンの音声入力端子に本機をつなぐと、パソコンの音声入力デバイスが自動的にUSBオーディオデバイスに切り換わります。元に戻すには、パソコンのコントロールパネルの「サウンドとマルチメディア」で設定し直してください。

つないだパソコンの音を聞く

付属のM-Crewを起動することにより、M-Crewに登録されたパソコン内の音楽データの再生や、インターネットラジオの選局などを本機のリモコンで操作できます（PC LIBRARY CONTROL）。パソコン内の音楽データのM-Crewへの登録は、パソコン側で操作します。また、パソコンのハードディスクやCD-ROMドライブの曲の再生は、本機のリモコンでは操作できません。パソコン側で操作してください。ただし、M-Crewでは、パソコンのCD-ROMは操作できません。
操作の前に本機とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

3
4
2

1　付属のCD-ROMからインストールしたM-Crewを起動する

M-crewのインストール、起動、設定などのしかたは、付属のCD-ROM内の「M-crew取扱説明書」をご覧ください。

2　FUNCTION（ファンクション）をくり返し押して、ファンクションをPCに切り替える

3　リモコンのNAME EDIT/SELECT（ネーム エディット セレクト）ボタンを押して、以下のモードを選ぶ。

- PC：パソコンで操作して音楽データを聞くときに選びます。また、M-cewのオーディオファイル再生時は、「PC」になります。

- MUSIC LIBRARY：M-crewに登録した音楽データを聞くときに選びます（M-crew起動時のみ選択可能）。
- WEB RADIO：インターネットラジオを聞くときに選びます（M-crew起動時のみ選択可能）。

ご注意
M-crew起動時にのみ、モード選択は有効です。M-crewが起動されていない場合はモードに関係なく、一般の音楽再生ソフトウェアを起動してパソコン操作で音楽を聞くことができます。

4 リモコンのENTER/YES（エンター/イエス）を押す

手順3で選んだモードの音楽やラジオの再生が始まります。

各モードについて

- PC：パソコンで操作します。Windows Media Playerなど、一般の音楽再生ソフトウェアで音楽を聞くことができます。本機の表示窓に「PC」と表示されます。

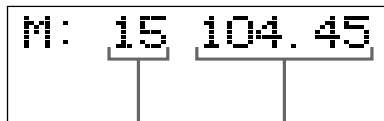
PC

- MUSIC LIBRARY：本機のリモコンで操作します。M-crewに登録している音楽データ（プレイリスト）を聞くことができます。DISPLAYを押してName表示に切り換えると、再生中の曲名が、本機の表示窓に表示されます。

M: 15 104.45

曲番　合計演奏時間

- WEB RADIO：本機のリモコンで操作します。M-crewに登録しているインターネットラジオを聞くことができます。DISPLAYを押してName表示に切り換えると、放送中のインターネットラジオの局名が、本機の表示窓に表示されます。

R: 10 104.45

ラジオ局の番号　合計演奏時間

ご注意
- WEB RADIOモードでは、あらかじめInternet Explorerの接続設定および、インターネットに接続している必要があります。本機およびM-crewには、ダイヤルアップなどのインターネットを接続/切断する機能はありません。インターネットの接続/切断はパソコン側で操作してください。
接続時間によって課金される接続契約を結ばれている場合は、WEB RADIO使用後のインターネット切断を忘れないように充分ご注意ください。

MUSIC LIBRARYとWEB RADIOモード時のリモコン操作

こんなときは	操作
演奏を止める	■を押す
一時停止する	演奏中に再度ENTER/YESを押す（インターネットラジオ局の送信形態によっては機能しない場合があります。）
曲またはインターネットラジオ局を選ぶ	⏮または⏭を押す
音量を調節する	VOL＋または–を押す
表示を切り換える	DISPLAYを押す

ちょっと一言
⏮または⏭の代わりに、プレイリスト曲番、またはラジオ局の番号を数字ボタンで選ぶこともできます。10以降の番号を選ぶには、>10ボタンを押してから数字ボタンを押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

パソコンにつないで使う

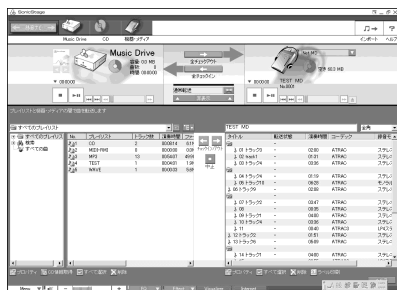
付属のM-crewについて

パソコンと本機をUSBケーブルで接続し、パソコンから本機を操作するためのソフトウェアです。CD/MD/チューナーの再生、録音、編集などができます。

インストール方法や簡単な使いかたについては、付属のCD-ROM内の『M-crew取扱説明書』をご覧ください。詳しい使いかたについては、オンラインヘルプをご覧ください。

ご注意
M-crewのインストールは、必ず本機とつなぐ前に行ってください。また、改めてインストールするときも、USBケーブルを外してから行ってください。

付属のNet MD対応Sonic Stageについて

「OpenMG」（ソニーの開発した著作権保護技術）を採用し、デジタル音楽コンテンツをコンピューターのハードディスクに保存してコンピューター上で楽しめるソフトウェアです。ハードディスクに保存した音楽はMDに転送（チェックアウト）して、持ち出して聞くことができます。

インストール方法や簡単な使いかたについては、付属のCD-ROM内の『Net MD対応Sonic Stage取扱説明書』をご覧ください。詳しい使いかたについては、オンラインヘルプをご覧ください。

ご注意
Net MD対応Sonic Stageのインストールは、必ず本機とつなぐ前に行ってください。また、改めてインストールするときも、USBケーブルを外してから行ってください。

Net MD対応Sonic Stageを使う

1,4

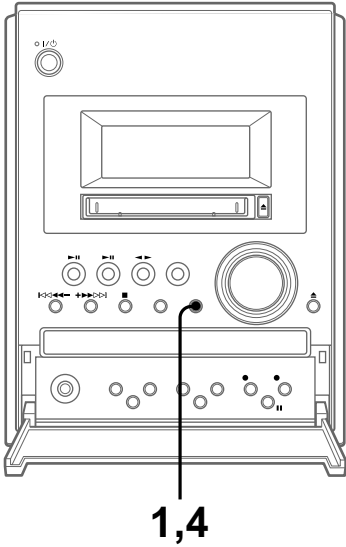
1 **NET MDを押す**

Net MD機能がオンになります。
「Net MD」が表示されます。

MD　Net MD

2 **パソコンでNet MD対応Sonic Stageを起動して操作する**

3 **（操作が終了したら）Net MD対応Sonic Stageを終了する**

4 **NET MDを押して、Net MD機能をオフにする**

ご注意

- NET MDを押してNet MD機能をオンにしているときは、音源の切り換えはできません。また、MD⏏（取り出し）以外の本体のMDの操作もできません。
- タイマーが働いているときは、Net MD機能は使えません。
- 「Check USB」が表示されたときは、USBケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- Net MD対応Sonic Stageでチェックイン／アウトしているときは、「CONNECT」が表示されます。表示が出ているときに、USBケーブルを抜かないでください。チェックイン／アウトについては、Net MDのオンラインヘルプをご覧ください。
- Net MD機能をオンにすると、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生およびグループ機能は解除されます。

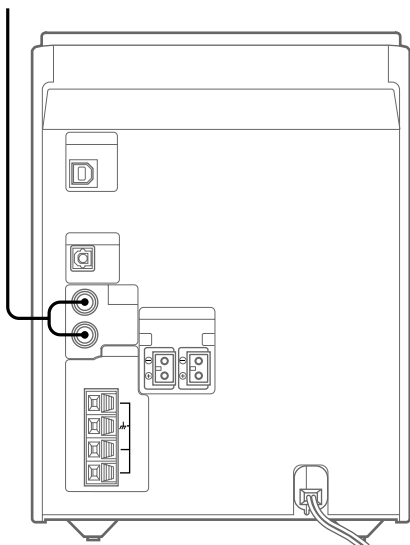
別売りの機器をつなぐ

別売りの機器をつなぐことで本機の楽しみかたを広げることができます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

音響機器をつなぐ

ビデオやレコードプレーヤーなどをつなぐ

市販のオーディオ接続コードを使ってつなぎます。同じ色のコードをつないでください。つないだビデオやレコードプレーヤーなどの音を聞くには、FUNCTIONをくり返し押して、「ANALOG IN」を表示させます。

音声出力端子へ

ちょっと一言

イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、MM型またはMC型に対応のカートリッジイコライザー（別売り）をつないでください。イコライザーアンプが内蔵されているかどうかや、MM型かMC型かについては、お使いになっているプレーヤーの製造元にお問い合せください。

CS/BSデジタルチューナーなどをつなぐ

デジタル接続ケーブル（角形、別売り）を使ってつなぎます。つないだ機器の音を聞いたり録音したりするには、FUNCTIONをくり返し押して、「OPTICAL IN」を表示させます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

デジタルオプチカル入力端子は、サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、48kHzのリニアPCMオーディオ信号にのみ対応しています。これ以外の信号を入力すると、大きなノイズが発生することがありますのでご注意ください。

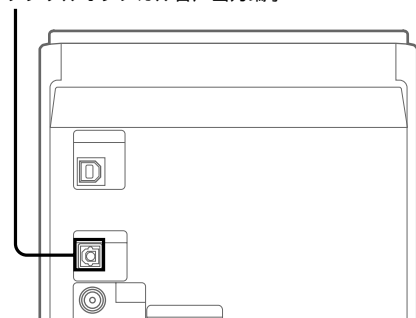
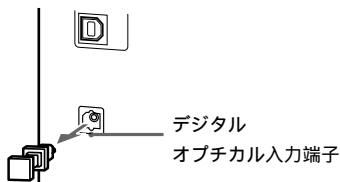
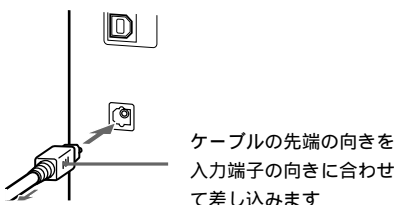
デジタルオプチカル音声出力端子へ

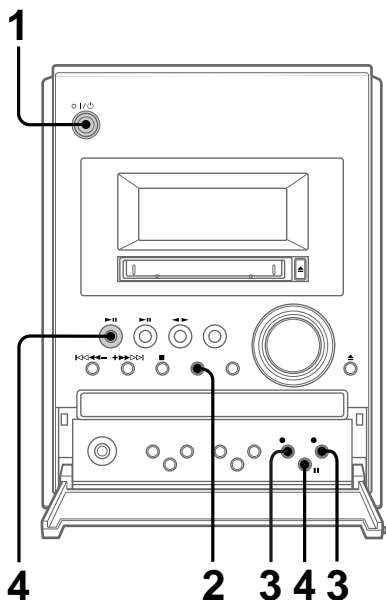
端子にフタがついているときは

❶フタをはずし、

デジタル
オプチカル入力端子

❷デジタル接続ケーブルをつなぐ

ケーブルの先端の向きを
入力端子の向きに合わせ
て差し込みます

❸別売りのデジタル機器の光デジタル出力端子へつなぐ

つないだ機器の音を録音する

1 電源を入れる

2 FUNCTIONをくり返し押して、「OPTICAL IN」または「ANALOG IN」を表示させる

3 ●MD（または●TAPE）を押す

本機のMD（またはテープ）は録音一時停止になります。

4 MD►II（またはIITAPE）を押す

5 つないだ機器の演奏を始める

録音が始まります。

録音を止める

■を押す。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中（「TOC」または「STANDBY」が点滅）は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

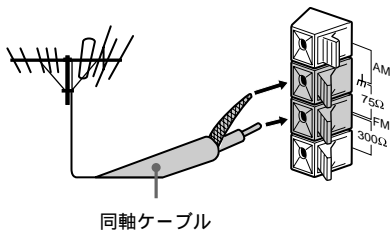
- MDへの録音中に、曲番を付けたいところで●MDを押すと、押したところに曲番が付きます。
- MDへ録音される音の大きさをお好みで調節できます（61ページ）。
- TAPEに録音するときは、手順2で「PC」も選ぶことができます。

市販の外部アンテナをつなぐ

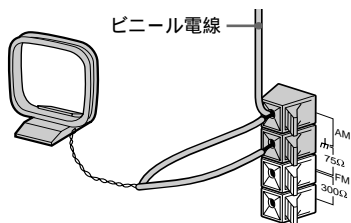
付属のアンテナでうまく受信できないときにつなぎます。

FMアンテナをつなぐ

市販のFM屋外アンテナつなぎます。

AM
75Ω
FM
300Ω
同軸ケーブル

AMアンテナをつなぐ

市販の6〜15mのビニール電線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMループアンテナはつないだままにしておきます。

ビニール電線
AM
75Ω
FM
300Ω

アースをつなぐ

⚠危険 **ガス管には絶対につながないでください。**

屋外アンテナを立てたときは、落雷時の感電防止のため、必ずアースをつないでください。市販のビニール電線をアンテナ端子のアース（⏚）につなぎ、一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めるか、鋼管製の水道管につなぎます。

使用上のご注意

設置時のご注意

- オーディオ機器は、密閉した場所に置いて使用しないで、温度上昇を防ぐために風通しの良い所でお使いください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。

使用時の放熱について

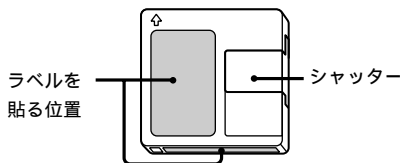
- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このような時は、キャビネットなどに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
  また動作中の温度上昇を避ける為に空冷ファンを搭載している機器では、ファンの通風孔付近を塞いで使用すると、機内の温度が上昇して故障の原因になります。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板があたたかくなることがありますが故障ではありません。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れています。それらは、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

移動時のご注意

- 必ずCDやMDを取り出してください。中に入れたまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- 移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了していることを必ず確認してください。

MDの取り扱いかた

- シャッターを無理に開けようとすると、壊れることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。

ラベルを貼る位置
シャッター

- 定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。

CDの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機ではCD（円形ディスク）のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 中古CDやレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、付着しているCDは使用しないでください。プレーヤー内部にCDが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

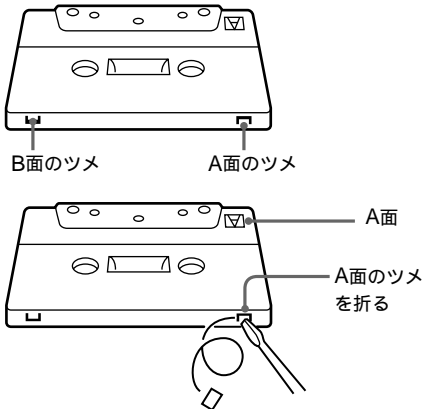
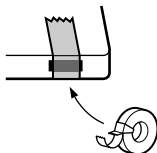
CD-R/CD-RW再生時のご注意

CD-R/CD-RWドライブで録音されたディスクには、傷や汚れ、また録音状態や録音機の特性等が原因で、再生できないものがあります。また、すべての録音終了時に録音の終わりを記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。

お手入れのしかた
キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

カセットテープを入れる前に
テープのたるみをとってください。たるんでいるとテープが巻き込まれて使えなくなることがあります。

長時間テープの使用は避けてください
90分を超える長時間テープは、テープ自体が薄く伸びやすい性質となっています。
そのため機械に巻き込まれ、本機の故障の原因となる場合があります。ご使用をお避けください。

テープの録音内容を消したくないときは
消したくない面の誤消去防止ツメを折ります。

ツメを折っても、折ったツメの部分だけ穴をふさげば再び録音できます。

ヘッドのお手入れ
ヘッドはおよそ10時間使うごとにクリーニングしてください。
汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ます。
また、特に大切な録音をする前や古いテープを使用した後には、かならずクリーニングしてください。
別売りのクリーニングカセット（乾式）C-1KN、または、クリーニングカセット（湿式）CHK-1をお使いください。詳しくはそれぞれのクリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ヘッドを消磁する
ヘッドやテープのあたる金属部分は、20〜30時間使うごとに別売りのカセットタイプのヘッド消磁器で消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の取扱説明書をご覧ください。

MDのシステム上の制約

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full!」が表示される

255曲録音されると、それ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音するか、別のMDを使ってください。

曲数（最大255曲まで）にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full!」が表示される

曲中にエンファシス情報などの入り切りが多く行われたり、録音や編集をくり返し行うと、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full!」が表示されます。

編集時に「Group Full!」が表示される

- グループ機能が働いているときに編集操作を行うと、「Group Full!」と表示されることがあります。この場合、グループ管理に必要な文字数が不足しています。ディスク名やグループ名などの不要な文字を削除してください。
- グループ機能が働いていないときでも、MOVE、DIVIDEなどの編集操作を行うと、グループ管理情報が更新されるため、「Group Full!」と表示されることがあります。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒*以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても、録音できる残り時間が増えないことがあります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約24秒、LP4ステレオ録音時は約48秒）

曲をつなげない

編集を行ってできた曲はつなぐことができない場合があります。

ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間と一致しない

通常、録音は約2秒*を最小単位としてディスクに記録します。2秒*に満たない場合でも、実際には2秒*分のスペースを使います。このため、実際に録音できる時間は少なくなります。また、MDに傷があるとその部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約4秒、LP4ステレオ録音時は約8秒）

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、巻戻しするときは通常より高速で再生します。このため、短い曲がディスクの上に分散していると探すのに時間がかかり、音が途切れることがあります。

曲番が曲の頭に付かない

レベルシンクロ録音中でも、次のときは曲番が曲の頭に付かないことがあります。

- 曲の間が短くて一定レベル以下になるのが2秒未満のとき
- 曲の途中でも2秒以上一定レベル以下になるとき
- 4秒*以下の曲を録音したとき

* ステレオ、モノラル、LP2ステレオ録音時。（LP4ステレオ録音時は8秒以下）

余分な曲が作られる

CDの曲間が長い場合、余分な曲が作られることがあります。

録音したトラック数が異なる

CDに短い曲が含まれる場合、CDとMDで曲数が異なることがあります。

デジタルオーディオをコピーするときのルール — シリアルコピーマネージメントシステム

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たります。これらは音楽を手軽に、劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。それが「シリアルコピーマネージメントシステム」です。本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

原則1

デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器（MDやDATデッキなど）へのデジタル録音はできない。

原則2

アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できる。

ご注意

- CS/BSチューナーからはデジタル録音できないことがあります。これは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を、禁止または制約する場合があるためです。
- 機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
- 著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）について

ある曲を高速CD-MDシンクロ録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。

録音しようとしている曲が74分以内に録音されていると、以下のように表示されます。

Retry[HCMS]

すでに高速CD-MDシンクロ録音された曲を再び高速録音した場合、自動的に通常速度のCD-MDシンクロ録音に切り換わり、録音を継続します。

時間の経過

74分（HCMSが働いている時間）

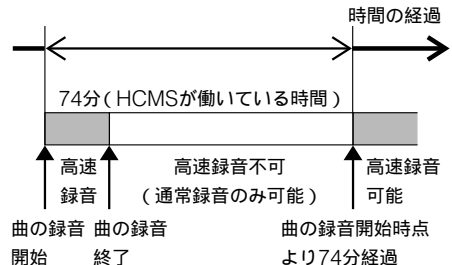
高速録音

高速録音不可（通常録音のみ可能）

高速録音可能

曲の録音開始

曲の録音終了

曲の録音開始時点より74分経過

高速シンクロ録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなると

その曲はMDに記録されません。この場合、HCMSによって録音は禁止されないので、すぐに高速シンクロ録音で録音し直すことができます。

高速シンクロ録音中に本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると

その曲はMDに記録されません。この場合、HCMSによって録音は禁止されないので、すぐに高速シンクロ録音で録音し直すことができます。

高速シンクロ録音中に本機の電源コードを抜くと

電源が切れるまでに録音された部分がMDに記録されます。この場合、HCMSによってその曲は録音されたものと見なされ、録音開始時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。

本機のCDプレーヤーで作ったプログラムを高速録音するときは

HCMSは曲の録音の可否を1曲ごとに判定するため、同一の曲が74分以内にプログラムされていると、その曲は通常速度のCD-MDシンクロ録音で録音されます。
たとえば、CDの1→2→3→2曲目の順番でプログラムされている場合は、プログラムの3曲目まで正常に録音されたあと、このページの左のようなメッセージが表示され、プログラムの4曲目（CDの2曲目）は通常速度のCD-MDシンクロ録音で録音されます。

ご注意
通常速度のCD-MDシンクロ録音時には、HCMSは働きません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、以下の手順にしたがって点検してください。

表示窓に3桁の表示とメッセージが交互に出ている

はい ➡ 自己診断表示機能（112ページ）へ

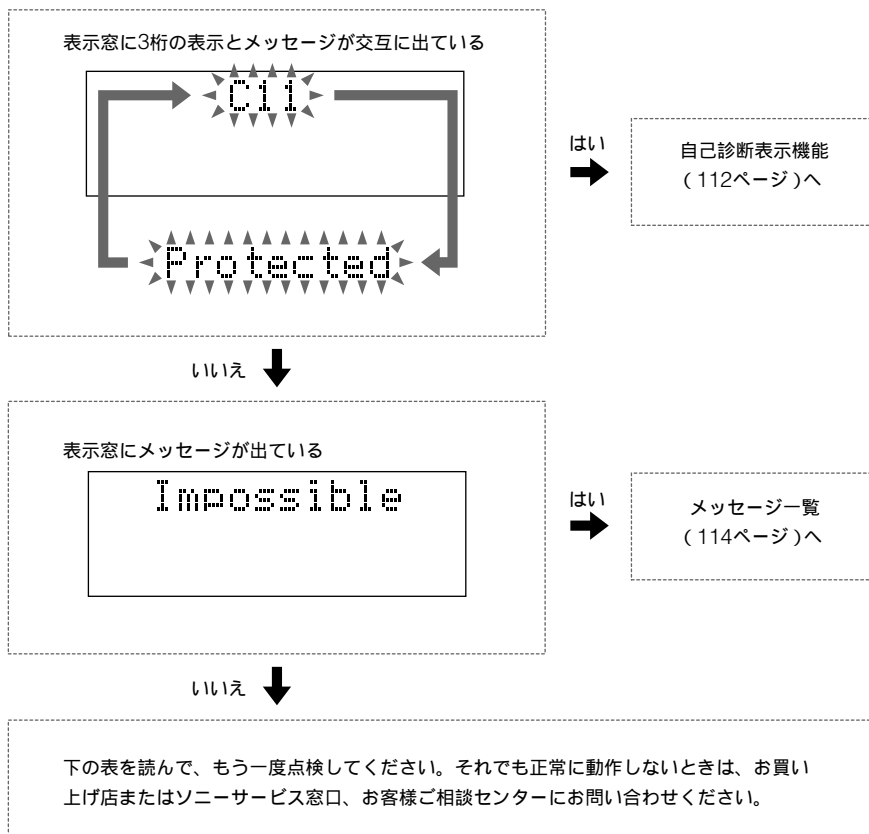
いいえ ⬇

表示窓にメッセージが出ている

はい ➡ メッセージ一覧（114ページ）へ

いいえ ⬇

下の表を読んで、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

共通

症状	原因と対応のしかた
「ーー：ーー」が点灯している	電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。 ➔ 時計を設定し直す（9ページ）。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	ボリュームが小さい。 ➔ VOLUMEを右へ回して大きくする。
	ヘッドフォンを差したままになっている。 ➔ ヘッドフォンを抜く。
	スピーカーが正しく接続されていない。 ➔ スピーカーコードを正しく接続し直す（7ページ）。
	高速シンクロ録音中である。 ➔ 高速シンクロ録音中は音が出ない。
音がおかしい	左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。 ➔ 高さ、距離をできるだけ対称にする。
	付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。 ➔ 付属のスピーカーをつなぐ。
雑音が多い	テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。 ➔ 離れたところに設置する。
	冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。 ➔ 別の電源コンセントにつなぐ。 ➔ 電源ラインのノイズフィルター（市販）を使用する。
タイマーが設定できない	•時計が設定されていない。 •停電などにより、時計の設定が解除された。 ➔ 時計を設定し直す（9ページ）。
タイマーが働かない	電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。 ➔ リモコンのCLOCK/TIMER SELECTを押して、表示窓に「◴DAILY」または「◴REC」を点灯させる（89、91ページ）。
	誤った時間が設定されている。 ➔ 設定内容を確認し、正しい時間を設定する（88〜91ページ）。
	スリープタイマーが働いている。 ➔ スリープタイマーを解除する（88ページ）。
リモコンで操作できない	リモコンと本機の間に障害物がある。 ➔ 障害物を取り除く。
	リモコンと本機の距離が離れすぎている。 ➔ 近寄って操作する。
	リモコンの発光部が本機の方を向いていない。 ➔ リモコンを本機に向ける。
	リモコンの乾電池が消耗している。 ➔ 乾電池（単3）を交換する。
	本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。 ➔ 本機と蛍光灯を離して設置する。

次のページへ続く

CD

症状	原因と対応のしかた
ディスクトレイが閉まらない	ディスクがトレイの中央に入っていない。 ➔ トレイの中央にディスクを入れ直す。
	ディスクトレイを無理に押し込もうとした。 ➔ ディスクトレイは必ず⏏CDを押して閉める。手で押し込もうとすると、故障の原因になります。
ディスクが出てこない	レンタルCDや中古CDなどで、シールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼り付いたディスクが内部に落ちて挟まっている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
	ディスクを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクが内部に挟まった。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
演奏が始まらない	ディスクが入っていない。 ➔ ディスクトレイを開けて、ディスクが入っているか確認する。
	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 ➔ 汚れを拭き取る（99ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	演奏しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 ➔ ディスクを交換する。
	ディスクがずれて入っている。 ➔ ディスクを正しく入れ直す。
	ディスクが裏返しに入っている。 ➔ 印刷面を上にして、ディスクトレイに入れ直す。
	本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 ➔ ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	CDが再生状態になっていない。 ➔ CD►❚❚を押し、再生状態にする。

症状	原因と対応のしかた
音とびがする	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。 ➔ 汚れを拭き取る（99ページ）。
	ディスクの傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	演奏しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 ➔ ディスクを交換する。
	本機に振動が加わっている。 ➔ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。 ➔ スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。 低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
演奏が1曲目から始まらない	プログラム演奏、またはシャッフル演奏になっている。 ➔ PLAY MODEをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ふつうの演奏に戻す。
「OVER」が表示される	演奏または一時停止中に▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 ➔ ◀◀を押し続けるか、または⏮を押して演奏位置を戻す。

チューナー（ラジオ）

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る（「TUNED」または「STEREO」が点滅する）	放送局のバンド（FM/AM）、周波数が合っていない。 ➔ バンドと周波数を正しく設定する（12ページ）。
	アンテナが正しく接続されていない。 ➔ アンテナを正しく接続し直す（7、8ページ）。
	●アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 ●電波が弱い。 ➔ 受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置し直す（8ページ）。 鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のFM簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくならない場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします（98ページ）。
	アンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。 ➔ 付属のFM簡易アンテナは全体で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく（8ページ）。 ➔ 付属のFM簡易アンテナの先は、テープなどで壁にとめる（8ページ）。

次のページへ続く

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る（「TUNED」または「STEREO」が点滅する）	アンテナの一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。 ➔ スピーカーコードからできるだけ離す。
	付属のAMループアンテナのアンテナ線がプラスチックスタンドからはずれている。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
	電気器具の影響を受けている。 ➔ 電気器具の電源を切ってみる。
ステレオにならない	モノラル受信の設定になっている。 ➔ FM MODEをくり返し押して、表示窓に「STEREO」を表示させる。
	受信状態が悪い。 ➔ 症状「雑音が入る（「TUNED」または「STEREO」が点滅する）」を参照し、アンテナの状態を確認する。
MDに録音中、ザーザーという雑音が周期的に入る	アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 ➔ 受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置し直す（8ページ）。

MD

症状	原因と対応のしかた
ディスクが入らない	ディスクの向きが違う。 ➔ 文字の書いてある面を上にして、矢印の向きに挿入する。
操作を受け付けない	ディスクが汚れている、または破損している。 ➔ 新しいディスクと交換する。
	「TOC」または「STANDBY」が点滅し、TOCを書き込み中である。 ➔ 「TOC」や「STANDBY」が消灯してから操作し直す。
	M-crewが起動中か、画面の右下のタスクトレイに入っている。 ➔ M-crewを終了させてから操作する。
演奏が始まらない	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）、傷がひどい。 ➔ ディスクを交換する。
	ディスクに何も記録されていない。 ➔ 録音されているディスクと交換する。
	本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 ➔ ディスクを本機に入れ、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
	MDが再生状態になっていない。 ➔ MD►IIを押し、再生状態にする。
	グループ登録された曲がないときに、グループ機能を働かせている。 ➔ リモコンのGROUPを押して、「GROUP」を消灯させ、グループ機能を解除する。

症状	原因と対応のしかた
音とびがする	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）、傷がひどい。 → ディスクを交換する。
	本機に振動が加わっている。 → 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。 → スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。 低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
	本機内部とディスクの温度差がはげしい。 → ディスクを本機に入れ、電源を入れたまま10～20分待つ。
演奏が1曲目から始まらない	プログラム演奏、またはシャッフル演奏になっている。 → PLAY MODEをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ふつうの演奏に戻す。
「OVER」が表示される	一時停止中に▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 → ◀◀を押し続けるか、または⏮を押して演奏位置を戻す。
録音中に「OVER」が点灯する	録音される音の大きさが大きく設定されている。 → 録音レベルを調節し直す（61ページ）。
MDに録音したり編集を行ったのに、その情報が記録されていない	MDの録音や編集後、MDを取り出さないで電源コードを抜いた。 → MDの録音や編集情報は、MDを取り出すときに記録されるため、録音や編集後は必ずMDを取り出してください（46、63ページ）。
録音できない	MDが誤消去防止状態になっている（「C11」と「Protected」が交互に表示されている）。 → ディスクを取り出し、録音可能状態にする（46ページ）。
	別売りの機器が正しく接続されていない。 → 別売りの機器を正しく接続し直す（96ページ）。
	ファンクションがMDまたはPCになっている。 → FUNCTIONをくり返し押して、録音したい音源に切り換える。
	市販の再生専用MDが入っている。 → 録音用MDと交換する。
	MDの残り時間が足りない。 → MD編集のERASE機能を使っていらない曲を消す（70ページ）か、ディスクを交換する。
	録音中に停電があった、または電源コードが抜かれた。 → 初めから録音し直す。
高速CD-MDシンクロ録音ができず通常速度の録音に切り換わってしまう	CDの読み取りエラーが起こっている（53ページ）。 → ディスクを交換する。 → 設置場所を変える。
	同じ曲を続けて高速CD-MDシンクロ録音しようとしている。 → 75分経過後に高速CD-MDシンクロ録音し直す（53ページ）。

次のページへ続く

症状	原因と対応のしかた
録音したMDを再生すると音が小さい（または大きい）	録音された音の大きさが小さく（または大きく）設定されている。 ➔ 録音レベルを調節し直す（78ページ）。
LP4ステレオで録音すると音がもれる	片方のチャンネルだけに音楽や音声が録音されているCD、テープ、または別売り機器の音をLP4ステレオ録音したときは、音が録音されていないチャンネルにも音がもれることがある。 ➔ ステレオ録音またはLP2ステレオ録音する。

テープ

症状	原因と対応のしかた
演奏音や録音した音が小さい	ヘッドが汚れている。 ➔ ヘッドのお手入れをする（100ページ）。
	ヘッドが磁化している。 ➔ ヘッドを消磁する（100ページ）。
前の録音が完全に消えない	ヘッドが磁化している。 ➔ ヘッドを消磁する（100ページ）。
音がとぎれる	内部のピンチローラーなどが汚れている。 ➔ 市販のクリーニングカセットを使って、お手入れする。
雑音が多い	ヘッドが磁化している。 ➔ ヘッドを消磁する（100ページ）。
録音できない	テープが入っていない。 ➔ テープを入れる。
	テープのツメが折れている。 ➔ ツメの部分だけ穴をふさぐ（100ページ）。
	テープが最後まで巻きとられている。 ➔ テープを巻き戻す。

パソコン接続

症状	原因と対応のしかた
音が途切れたり、動作が不安定になる	USBハブを使っている。 ➔ USBケーブル（付属）を本機とパソコンのUSB端子に直接つなぐ。
ボタンが働かない	Net MD機能がオンになっている。 ➔ Net MDを使わないときは、NET MDを押してオフにする。
ドライバが見つからないというメッセージが出る	パソコンにUSBドライバがインストールされていない。 ➔ ドライバをインストールしなおす。

別売りの機器

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因と対応のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="4">音が出ない</td><td>本機が正しい状態になっていない。
➔ 共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。</td></tr>
<tr><td>別売りの機器が正しく接続されていない。
➔ 以下の点を確認しながら正しく接続し直す（96ページ）。
• 接続コードが正しい位置に接続されているか。
• 接続コードのプラグがしっかり奥まで差し込まれているか。</td></tr>
<tr><td>つないだ機器の電源が入っていない。
➔ 電源を入れる。</td></tr>
<tr><td>つないだ機器での演奏が始まっていない。
➔ つないだ機器の取扱説明書を見て、演奏を始める。</td></tr>
<tr><td>音が歪む</td><td>アナログ入力端子につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入ってきた。
➔ 本機へ入力される音を小さくする。</td></tr>
<tr><td>MDプレーヤーから音がでない</td><td>長時間録音（MDLP録音）したMDをMDLPに対応していないMDプレーヤーで再生しようとしている。
➔ MDLPに対応しているMDプレーヤーで再生する。
➔ 録音モードを通常の長さのステレオ録音またはモノラル録音にして録音し直す。</td></tr>
</table>

これらの処置をしても正常に動作しないときは—リセット

1 電源コードを抜く。

2 電源コードを入れる。

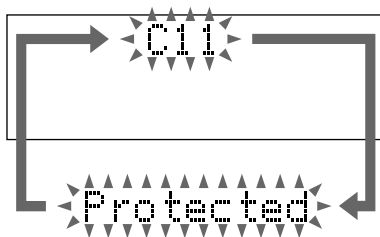
3 **I**/⏻を押して電源を入れる。

4 ■、ENTER/START、**I**/⏻を同時に押す。

お買い上げの時の状態に戻ります（リセット）。

ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマー設定をやり直してください。

自己診断表示機能 *(3桁または5桁の表示とメッセージが交互に出たら)*

本機には自己診断表示機能がついています。これは、本機が正しく動作していないとき、表示窓に3桁または5桁の表示とメッセージを交互に表示してお知らせする機能です。
表示によって、本機の状態がわかるようになっています。以下の表をご覧になり、表示に合った対応をしてください。2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

表示番号/メッセージ	原因と対応のしかた
C11 / Protected	ディスクが誤消去防止状態になっている。 ➔ ディスクを取り出し、録音可能状態にする（46ページ）。
C12 / Cannot Copy	CD-ROM、ビデオCDなど本機で再生できないフォーマットのCDを録音しようとしている。 ➔ ディスクを取り出し、電源を入れなおす。
C13 / REC Error	正しく録音できなかった。 ➔ 振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す（「故障かな？と思ったら」のMDの項目にある「音とびがする」（109ページ）参照）。
	ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）、傷がひどい、またはディスクが規格外である。 ➔ ディスクを交換して、録音をし直す。
C13 / Read Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ➔ ディスクを入れ直す。
C14 / TOC Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ➔ 他のディスクを入れてみる。 ➔ ディスク上の内容をすべて消してよいときは、MD編集のAll Erase機能を使って記録されている内容をすべて消す（71ページ）。
C41 / Cannot Copy	録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。 ➔ シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピーできない（102ページ）。

C71 / Check OPT-IN	一瞬表示されて消えるときは、録音中のデジタル放送の信号によるものです。録音内容に影響はありません。
	デジタルオプチカル入力端子に何も接続されていない、または正しく接続されていない状態で、別売りのデジタル機器から録音しようとした。 ➔ デジタル接続ケーブル（別売り）を使って、デジタルオプチカル入力端子にデジタル機器を正しく接続する（96ページ）。
	接続されているデジタル機器側の電源が入っていない。 ➔ 接続したデジタル機器の取扱説明書を見て、電源が入っているか確認する。
	デジタルオプチカル入力端子につないだ機器からのデジタル録音中に、デジタル接続ケーブルが抜かれた、またはつながっているデジタル機器の電源が切られた。 ➔ ケーブルをつなぐ、またはデジタル機器の電源を入れる。
E0001 / MEMORY NG	本機を動作させるために必要な内部情報に問題が生じた。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0101 / LASER NG	光ピックアップに問題が生じた。 ➔ 故障の可能性があります。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0201 / LOADING NG	ローディングに問題が生じた。 ➔ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

MD

メッセージ	原因と対応のしかた
Assign None	すべての曲がグループ登録されている。 → ー
Auto Cut	録音中に30秒以上の無音状態が続いたため、オートカット機能が働き、無音部分（曲間）を約3秒に短縮したあと、録音一時停止になった。 → 録音を始めたいところでMD►IIを押し、録音を再開する。 曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除して録音し直す（60ページ）。
Blank Disc	挿入されたMDには何も録音されていない、またはMD編集のERASE機能を使って録音内容がすべて消されている。 → ー
Cannot Edit	市販の再生専用MDが入っている。 → 再生専用MDは編集できない。
	プログラム演奏、またはシャッフル演奏になっている。 → PLAY MODEをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ふつうの演奏に戻す。
	MDLP録音されている。 → MDLP録音した曲の録音レベルは変更できない。
Cannot REC	市販の再生専用MDが入っている。 → 再生専用MDへは録音できない。
	ファンクションがMDまたはPCになっている。 → FUNCTIONをくり返し押して、録音したい音源に切り換える。
Cannot SYNC!	ディスクが入っていない、または誤消去防止状態になっているため、シンクロ録音できない。 → 録音可能状態にし（46ページ）、ディスクを入れる。
	録音可能時間が残り少なく、シンクロ録音できない。 → 新しいディスクと交換する。
Complete!	MD編集作業が、正常に終了した。 → ー
Disc Full!	録音可能時間が残り少なく、録音できない。 → 新しいディスクと交換する。
Eject	ディスクを排出中。 → ー
Group Full!	グループ数の上限を越えて新たにグループを作成しようとした。または、グループ管理情報の更新に必要な文字数が不足している。 → 不要な文字（ディスク名または曲名）を消す。

メッセージ	原因と対応のしかた
Impossible	MD編集操作で、不可能な編集内容が指定された。 → 編集操作をやり直す。
	タイマー再生中にNet MDの操作をしようとした。 → タイマー再生中はNet MDの操作ができません。
	つなごうとした（Combineしようとした）曲が、MDのシステム上の制約で、つなげない状態になっている。 → 指定のとおりに編集することはできません。 MDでは、ひとつの曲が連続で録音されるわけではありません。ディスク上の空いている場所を探しながら、効率よく録音されていきます。この録音方式により、MDは手軽に録音、編集がくり返せるのです。 しかし、録音や編集を何度もくり返したMDでは、ひとつの曲がディスクのあちらこちらに、少しづつ記録されている状態ができてしまうことがあります。そのような状態で記録されてしまった曲は、MDのシステム上の制約により、他の曲とつなぐことができません。
Incomplete!	本機の振動やディスクの傷、汚れなどにより、録音後の録音レベルの変更やフェードイン・フェードアウトの操作が正しく行われなかった。 → 本機を振動のない場所に置く、または傷や汚れのないディスクを使用する。
Initialize	長い間電源を入れていなかったため、初期化を行っている。 → ー
Name Full!	入力可能な文字数（約1,700文字、カナ文字のみで約800文字）がすでに記録されている。 → 不要な曲名などを消してから、入力し直す。
No Change	録音後に録音レベルを変更するときに、録音レベルを変更しないでENTER/YESを押したため、書き換えをせずに終了した。 → ー
No Disc	ディスクが挿入されていない。 → ー
OVER	一時停止中に▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 → ◀◀を押し続けるか、または⏮ を押して演奏位置を戻す。
Push STOP!	MD動作中に無効なキーが押された。 → ■を押してMDを停止させてから、再度操作する。
—Rehearsal—	MD編集、A-B EraseまたはDivideの操作中に曲を分ける位置の指定終了後、確認のために演奏中。 → 演奏される内容を聞き、分ける部分を確認する（72、74ページ）。
Retry	CDの読み取りエラーが起こり、CDのデータを再度読み取っている。 → ー
Retry [HCMS]	同じ曲を続けて高速CD-MDシンクロ録音しようとしている。 → 75分経過後に高速CD-MDシンクロ録音し直す（52ページ）。 → 通常速度のシンクロ録音で録音し直す（50ページ）。
S.F Edit!	S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）を実行中に他の操作をしようとした。 → S.F EDITの実行中は他の操作はできない。

次のページへ続く

メッセージ	原因と対応のしかた
S.F Edit NOW	S.F EDIT（録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト）の実行中にI/⏻（電源）を押した。 → S.F EDITの実行中に電源を切ると、書き換えが正常に終了しない。書き換え終了後に電源を切る。 それでも書き換え中に電源を切るときは、メッセージ表示中に再びI/⏻（電源）を押す。
Smart Space	録音中に約3秒以上（30秒未満）の無音状態が続いたため、スマートスペース機能が働き、無音部分（曲間）が約3秒に短縮された。 → 曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除する（60ページ）。
Step Full!	26曲（ステップ）以上プログラムしようとした。 → 26曲以上はプログラムできない。
TOC Reading	ディスクの情報を読み取っている。 → 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が読み取れなくなります。
TOC Writing	録音、編集された情報を、ディスクに書き込んでいる。 → 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が書き込めなくなります。
Track End	MD編集、Divideの操作中に曲を分ける位置の調整中、曲の最後に達した。 → ⏮ または◀◀を押して、位置を変える（74ページ）。
Tr Protected	Net MD機器でチェックアウトした曲などは、曲が保護されているため、一部のMD編集機能は使用できません。 → —

CD

メッセージ	原因と対応のしかた
Cannot Edit	CDテキスト付きのCDにディスク名を付けようとした。 → CDテキスト付きのCDにディスク名は付けられません。
CD No Disc	ディスクが入っていない。 → —
Name Full!	ディスクメモが入力可能な数（50枚分）まですでに記憶されている。 → 不要なディスク名を消してから、入力し直す（39ページ）。
OVER	演奏または一時停止中に▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 → ◀◀を押し続けるか、または⏮ を押して演奏位置を戻す。
Step Full!	26曲（ステップ）以上プログラムしようとした。 → 26曲以上はプログラムできない。

テープ

メッセージ	原因と対応のしかた
Cannot SYNC!	テープが入っていない、または誤消去防止ツメが折れているため、シンクロ録音できない。 ➔ A、B両面のツメの部分だけ穴をふさぎ（100ページ）、テープを入れる。
No Tab	誤消去防止ツメが折れているため、録音できない。 ➔ A、B両面のツメの部分だけ穴をふさぐ（100ページ）。
No Tape	テープが入っていない。 ➔ —

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
OFF TIME NG!	デイリータイマー設定で、終了時刻と開始時刻を同じに設定した。 ➔ 終了時刻を設定し直す。
OVERLAP!	デイリータイマー設定またはタイマー録音設定が、他のタイマーの設定時刻の一部分または全体と重なっている。 ➔ タイマーを設定し直す。

パソコン接続

メッセージ	原因と対応のしかた
Busy NOW!	Net MD機能を使用中に、チェックイン／アウトの途中でNET MDを押した。 ➔ 接続が完了してからNet MD機能をオフにする。
Check USB	USBケーブルが正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認する。
CONNECT	チェックイン／アウトしている。
Net MD	Net MD機能がオンになっている。

共通

メッセージ	原因と対応のしかた
PUSH POWERとPROTECTが交互に表示される	過大な信号が入力された。 ➔ I/⏻（電源）を押して電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直す。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CMT-M333NT
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

主な仕様

本体（HCD-M333）

アンプ部

実用最大出力	25W + 25W（JEITA* 6Ω負荷）
入力端子	アナログ入力：250mV、47kΩ デジタルオプチカル入力（対応サンプリング周波数　32KHZ、44.1KHZ、48KHZ）
出力端子	PHONES端子： ステレオミニジャック、16Ω以上

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性	2Hz～20kHz

MDデッキ部

サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	5Hz～20kHz

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
周波数特性	ソニーTYPE Iカセット 60～10,000Hz ±3dB

チューナー部

受信周波数	FM：76～90MHz AM：531～1,602kHz
アンテナ端子	FM：75Ω不平衡型/300Ω平衡型 AM：外部アンテナ端子

スピーカーシステム（SS-CM333）

型式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	ウーファー（低音用）10cmコーン型 トゥイーター（高音用）2.5cmドーム型 インピーダンス：6Ω
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）	140×217×247mm
質量	2.3kg（1台）

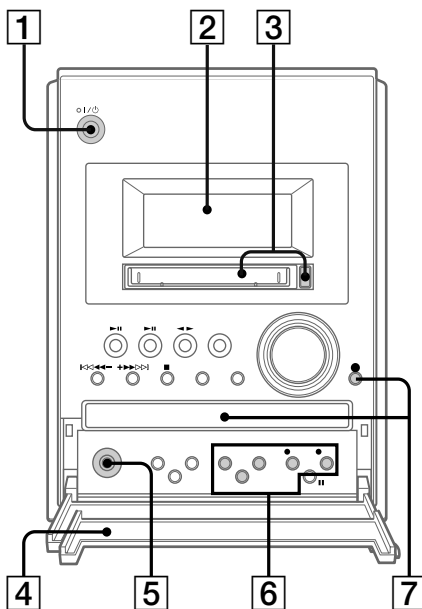
その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	55W　通常動作時（JEITA*） 0.3W以下　低消費電力待機モード時
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）	アンプ/CDプレーヤー/MDデッキ/カセットデッキ/チューナー部： 160×217×345mm
質量	アンプ/CDプレーヤー/MDデッキ/カセットデッキ/チューナー部： 5.6kg
付属品	リモートコマンダー（1） 単3形乾電池（2） FM用簡易アンテナ（1） AMループアンテナ（1） USB接続ケーブル（1） 取扱説明書（1） M-crew/Net MD対応Sonic Stage CD-ROM（1） 安全のために（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1） テクニカルインフォメーションセンターのご案内（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

各部のなまえ

本機前面

1 **I/⏻（電源）スイッチ**

2 **表示窓**

CD/MD/テープの演奏や録音の状態、ディスク名、曲名、グループ名などが表示されます。ラジオ受信中は、ラジオ局名や周波数などが表示されます。

3 **MDスロット**

⏏MD（取り出し）ボタン

4 **ふた**

5 **PHONES（ホーンズ）端子**

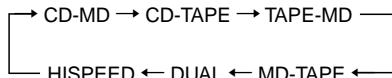
ヘッドホン（別売り）はここへつなぎます。

次のページへ続く

6 **録音用ボタン**

SYNCHRO MODE**ボタン**

シンクロ録音の種類を選ぶときに使います。押すたびに次のようにシンクロ録音の種類が切り換わります。

→ CD-MD → CD-TAPE → TAPE-MD →
HISPEED ← DUAL ← MD-TAPE ←

ENTER/START**ボタン**

各種のシンクロ録音に使います。

REC MODE**ボタン**

録音モード（ステレオ録音／ステレオ2倍長録音／ステレオ4倍長録音／モノラル録音）の切り換えに使います。

●MD**（録音）ボタン**

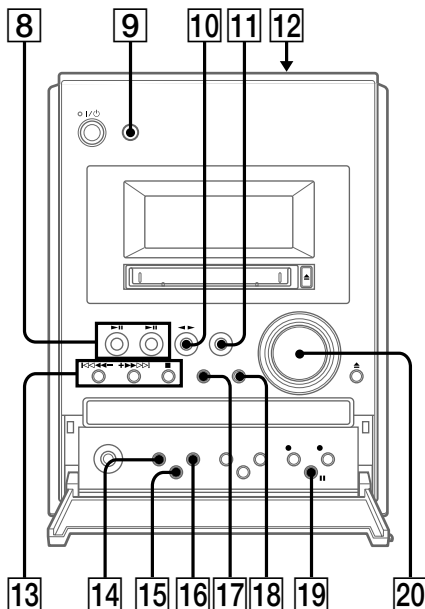
録音中に手動で曲番を付けるときにも使います（59ページ）。

●TAPE**（録音）ボタン**

7 **ディスクトレイ**

≜CDボタン

ディスクトレイの開閉をします。

8 MD►II**（演奏／一時停止）ボタン**

CD►II**（演奏／一時停止）ボタン**

9 **リモコン受光部**

リモコンを使うときは、ここに向けて操作します。

10 TAPE◄► **（演奏）ボタン**

11 TUNER BAND**ボタン**

FM/AM切り換えに使います。
他の音源を聞いているときに押すと、音源がラジオに切り換わってラジオ放送を聞けます。

12 ≜PUSH OPEN/CLOSE**ボタン**

テープの取り出しに使います。

13 **共通操作用ボタン**

⧏◁◁/▷▷⧐（頭出し）ボタン

CD、MDの演奏中は、次の曲、前の曲の頭出しボタンとして働きます。

◀◀/▶▶（早送り）ボタン

CD、MDの演奏中は、曲中の好きなところを探すボタンとして働きます。
テープの演奏中は、早送り／巻き戻しボタンとして働きます。
ラジオ受信中は、周波数を合わせるボタンとして働きます。

TUNING（チューニング） +/–ボタン

ラジオ受信中は、ラジオ局のプリセット番号を選ぶボタンとして働きます。

■（停止）ボタン

14 DISPLAY（ディスプレイ）

15 **TUNING（チューニング） MODE（モード）/PLAY（プレイ） MODE（モード）ボタン**

CD、MDの演奏中は、PLAY MODEボタンとして働きます。演奏のしかたをふつう、SHUF、PGMから選べます。
ラジオ受信中は、TUNING MODEボタンとして働きます。ラジオ局の合わせかたをマニュアル、AUTO、PRESETから選べます。

DIRECTION（ディレクション）ボタン

テープの演奏中は、DIRECTIONボタンとして働きます。演奏のしかたを片面、両面、両面くり返しから選べます。録音時は録音面を選ぶためのボタン（片面／両面）として働きます。

16 **FM MODE（モード）/REPEAT（リピート）ボタン**

CD、MDの演奏中は、REPEATボタンとして働きます。演奏のしかたを1曲くり返し、全曲くり返しから選べます。
ラジオ受信中は、FM MODEボタンとして働きます。ステレオ放送などの受信中にステレオ／モノラルを切り換えます。

17 **FUNCTION（ファンクション）ボタン**

音源の切り換えに使います。押すたびに次のように音源が切り換わります。

TUNER → MD → CD → PC → OPTICAL IN → ANALOG IN → TAPE → TUNER

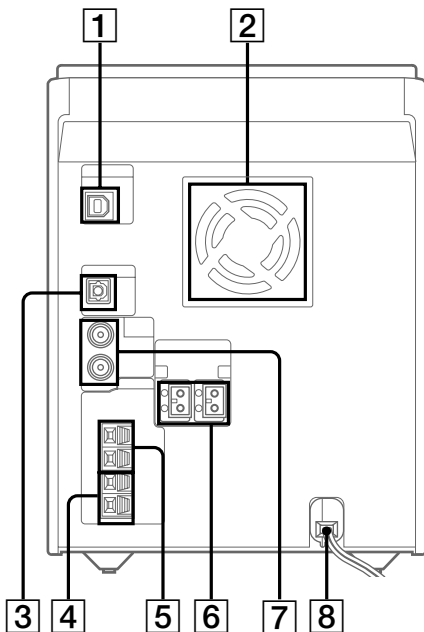
18 **NET（ネット） MDボタン**

USB接続したパソコンのNET MD対応アプリケーションソフトで、パソコンの音楽データをMD転送するときに使います。

19 **❚❚TAPE（テープ）（一時停止）ボタン**

20 **VOLUME（ボリューム）つまみ**

音量調節に使います。

本機後面

1 **USB（ユーエスビー）端子**

付属のUSBケーブルを使ってパソコンを接続します。

2 **空冷ファン**

MD録音中または音量をあげたときなどに、効率よく放熱するために回転します。

その他

次のページへ続く

3 **デジタルオプチカル入力端子**
他のCS/BSデジタルチューナーなどの別売りのデジタル機器につなぎます。

4 FM**アンテナ端子**
付属のFM簡易アンテナをつなぎます（8ページ）。
付属のアンテナではうまく受信できないときは、市販の外部アンテナをつないでください（98ページ）。

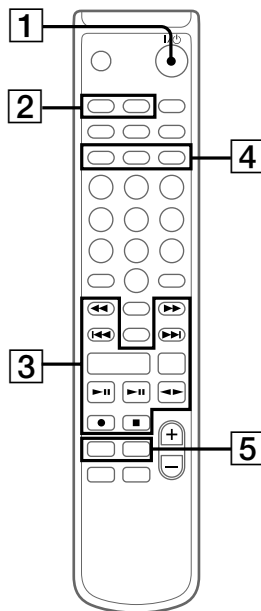
5 AM**アンテナ端子**
付属のAMループアンテナをつなぎます（7ページ）。
付属のアンテナではうまく受信できないときは、市販のビニール電線もつないでください（98ページ）。

6 **スピーカー端子**
付属のスピーカーをつなぎます（7ページ）。

7 **アナログ入力端子**
別売りのオーディオ接続コードを使ってビデオデッキをつなぎます。

8 **電源コード**
壁の電源コンセントにつなぎます。

リモコン

付属のリモコンで、本体と同様に操作できます。

1 **I/⏻（電源）スイッチ**

2 CLOCK/TIMER**用ボタン**

CLOCK/TIMER SELECT**ボタン**
設定したタイマーの確認やOn/Offに使います（89、91ページ）。

CLOCK/TIMER SET**ボタン**
時計合わせや、タイマー機能の設定に使います（9、89、90ページ）。

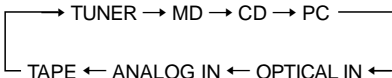
3 CURSOR←/→ボタン
CD、MDまたはラジオ局に名前を付けるとき、時刻設定のときに使います（10、39、65、87ページ）。

◀◀/▶▶（早送り）ボタン
MD演奏または一時停止中、またはCD演奏または一時停止中に、曲中の希望の場所を探すのに使います。テープでは、早送りまたは巻き戻しをします。
ラジオ受信中は、周波数を合わせるのに使います。

–/+ボタン
ラジオ受信中は、ラジオ局のプリセット番号を選ぶのに使います。

|◀◀/▶▶|（頭出し）ボタン
CD、MDの演奏中は、次の曲、前の曲の頭出しボタンとして働きます。
また、時刻合わせや、プログラム演奏の設定、録音レベルの調節、入力する文字を選ぶときなどにも使います。

FUNCTIONボタン
音源の切り換えに使います。押すたびに次のように音源が切り換わります。

→ TUNER → MD → CD → PC
TAPE ← ANALOG IN ← OPTICAL IN ←

TUNER BANDボタン
FM/AMの切り換えに使います。
他の音源を聞いているときに押すと、音源がラジオに切り換わってラジオ放送を聞けます。

MD▶II（演奏／一時停止）ボタン

CD▶II（演奏／一時停止）ボタン

TAPE◀▶（演奏）ボタン

MD●（録音）ボタン
録音中に手動で曲番を付けるときにも使います。

■（停止）ボタン

4 MENU/NOボタン
「Edit Menu」や「Setup?」を表示させたり消したりするときに使います。また、編集内容を取り消すときにも使います。

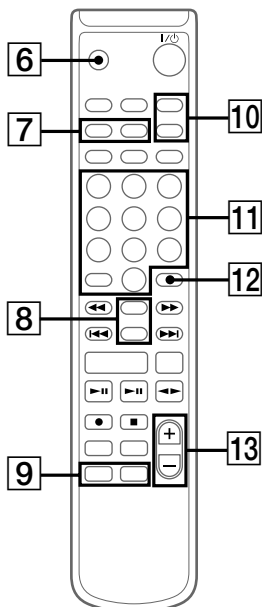
NAME EDIT/SELECTボタン
CD、MD、ラジオ局に名前を付けるときに押すと文字入力画面になります。
文字入力画面では、SELECTボタンとして働き、入力する文字の種類を選べます（38、64、66、86ページ）。

ENTER/YESボタン
選んだ項目や編集内容を確定するときに使います。

5 PLAY MODEボタン
CD、MDの演奏のしかたをふつう、SHUF、PGMから選べます（34、35、41、43、81ページ）。

REPEATボタン
CD、MDの演奏のしかたを1曲くり返し、全曲くり返しから選べます（34、40ページ）。

次のページへ続く

各部のなまえ（つづき）

6 SLEEP（スリープ）**ボタン**

音楽を聞きながら眠るときに使います（88ページ）。

7 GROUP（グループ）**ボタン**

好きな曲を集めてグループ登録したり、グループ内で録音や編集をするときに使います（43、48、66、67、69ページ）。

GROUP（グループ） SKIP（スキップ）**ボタン**

グループ機能が働いているときに、グループを選びます（44、49、66、69ページ）。

8 SCROLL（スクロール）**ボタン**

CD、MDのディスク名や曲名、ラジオ局名をスクロール表示するときに使います（39、45、65ページ）。

DISPLAY（ディスプレイ）**ボタン**

表示窓に表示される内容を切り換えるときに使います（10、37、44ページ）。

9 DSG（ディーエスジー）**ボタン**

迫力のある音にしたいときに使います（86ページ）。

BASS（バス）/TRE（トレブル）**ボタン**

低音、高音の調節に使います（86ページ）。

10 FM MODE（モード）**ボタン**

ステレオ放送などの受信中にステレオ／モノラルを切り換えます。

TUNING（チューニング） MODE（モード）**ボタン**

ラジオ局の合わせかたをマニュアル、AUTO、PRESETから選べます。

11 **アルファベット／数字／カタカナ入力ボタン**

CDやMDの曲番を選んだりラジオ局のプリセット番号が選べます。
文字入力画面では対応する文字/数字が入力されます（39、65、87ページ）。

12 CLEAR（クリアー）**ボタン**

CD、MDまたはラジオ局に名前を付けるとき、間違えた文字を消したり、プログラム設定中に曲を消すときに使います（36、39、42、65、87ページ）。

13 VOL（ボリューム） +/–**ボタン**

音量調節に使います。

索引

五十音順

ア行

アナログ録音　17、24、30、81
演奏する（テープ）22
演奏する（CD）13、34
演奏する（MD）20、40
オートカット　59
オート受信　29
オートファンクション　14、21、23、28
音量／音質の調節　14、21、23、28、86

カ行

外部アンテナを接続する　98
曲間をそろえる　59
曲順を変える　73
曲番を消す　70
曲番を付ける　58
曲を選ぶ　14、21
曲を消す　70
曲をつなぐ　76
曲を分ける　74
グループ
　新しいグループを作る　67
　グループごとに聞く　43
　グループに分けて録音する　47
　グループ名を付ける　66
　登録を解除する　69
高音を調節する　86
高速CD-MDシンクロ録音　52
故障かな？と思ったら　104
誤消去防止つまみ　46
誤消去防止ツメ　100

サ行

サーチ（テープ）23
サーチ（CD）14
サーチ（MD）21
自己診断表示機能　111
シャッフル演奏（CD）34
シャッフル演奏（MD）41
スピーカー　7
スマートスペース　59
スリープタイマー　88
接続する　6、92、96

タ行

タイマー　88～91
タイムマシン録音　55
長時間録音　56
低音を調節する　86
低消費電力待機モード　10
ディスク名や曲名を付ける（MD）63
ディスク名を付ける（CD）38
ディスクメモ　38
デイリータイマー　88
時計合わせ　9
トラックマーク　48、49、55、59

ナ行

残り時間を調べる（CD）37
残り時間を調べる（MD）44

ハ行

ハイスピードコピーマネージメントシステム　102
表示窓の使いかた（CD）37
表示窓の使いかた（MD）44
フェードアウト　79
フェードイン　79
プリセット受信　27
プログラム演奏（CD）35
プログラム演奏（MD）42
別売りの機器を使う　96

マ、ヤ行

マニュアル受信　29
マニュアル録音（テープ）85
マニュアル録音（ラジオ）30
マニュアル録音（MD）54
メッセージ一覧　114～117
モノラル録音　56

ラ行

ラジオ局に名前を付ける　86
ラジオ局を記憶させる　11
ラジオを聞く　27
ラジオを録音する（テープ）32
ラジオを録音する（MD）30
リセットする　111
リピート演奏（CD）34
リピート演奏（MD）40
レベルシンクロ録音　58
録音タイマー　90
録音レベルを調節する
　録音後に調節する　78
　録音前に調節する　61

ワ行

ワンタッチプレイ　14、21、23、28

アルファベット順

A-Bイレース　72
AMループアンテナ　7、98
CDテキスト　37
CDにディスク名を付ける　38
CDを聞く　13
CDを録音する（テープ）17
CDを録音する（MD）15
CDを録音する（MDとテープ）19
CD-MDシンクロ録音　50
CD-TAPEシンクロ録音　81
COMBINE（コンバイン）76
DIVIDE（ディバイド）74
DSG　86
ERASE（イレース）70
FM簡易アンテナ　8、98
MDに名前を付ける　63
MDに録音した後は　46
MDに録音する前に　45
MDのシステム上の制約　101
MDを聞く　20
MDを編集した後は　63
MDを編集する前に　62
MDを録音する　83
MD-TAPEシンクロ録音　84
MOVE（ムーブ）73
NAME（ネーム）63、66
NET MD 95
S.F EDIT（スケールファクターエディット）78
TAPE-MDシンクロ録音　24
UNDO（アンドゥー）77
USB端子 92

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*‥‥‥‥ 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in China